

廣島市報

號十六第

國印日八月四年十和昭
行發日十月四年十和昭
錢部金部一價定
錢拾七金部一

所投市島廣 所行發
人行發
所版活弟兄田地社株式
所刷印
地番一目丁七町手大市島廣
雄計田増者刷印
地番一目丁七町手大市島廣

草沿の町

西新町 は明治十五年一月廣
瀬村の一部と船入村の一部を
合せて此の町を新設し東に中
島新町あるに對し此の名を附
したものである。

大芝公園の櫻

廣島の史蹟と名勝(其六)

櫻! 櫻!! 櫻!!!

太田川の清流を取圍んで雲か
まがふ花の豪華な饗宴に、廣島市
民を心ゆくまで陶醉せしむる大芝
公園一帯の櫻、比治山、二葉の里
附近と共に花の廣島を代表する三
大名所である。

大芝公園は大芝町、太田川に沿
ふ堤防敷町の一帯にして、面積三
萬二千七百餘平方米、清らかな流
れを隔て、長壽園、水源池公園と
相鼎立し、陽春花の四月の股賑な
ること形容の言葉を知らぬ。

花から青葉——葉櫻の候ともな
れば、陽炎ゆらぐ深緑の芝生の上
に、爽快なる戸外の團樂を満喫す
る廣島市民の生命の洗濯場でもあ
る。

【目次】

- ◇ 大芝公園の櫻 九五
 - ◇ 條 例 六六
 - ◇ 告 示 六六
 - ◇ 彙 報 六六
 - ◇ 見本市を通じて山東貿易の梗概を述ぶ 六七
 - ◇ 牛田町土地區劃整理組合起工式 六八
 - ◇ 仁保町消防出初式 六八
 - ◇ 兒童作品展覽會 六九
 - ◇ 高小兒童の選職指導 七〇
 - ◇ 赤十字病院の建設と委員會 七一
 - ◇ 發明獎勵費京付申請に就て 七二
 - ◇ 社會事業助成會評議員會 七三
 - ◇ 各種統計 七三
- △都市地區經濟更生協議會△地方財政の窮乏△都市と農村との人口△日本の豪奢な電車△赤字を蹴飛ばして増収△市立淺野圖書館増加圖書



園公芝大の花

第十五款 水道修繕費	金貳百圓
第十五款 水道修繕費	金貳拾九萬五千貳拾七圓
第十五款 水道修繕費	金六萬五千五百六拾七圓
第十五款 水道修繕費	金八千九百六拾貳圓
第十五款 水道修繕費	金貳拾萬九千九百參拾七圓
第十五款 水道修繕費	金五萬五千八百四拾七圓
第十五款 水道修繕費	金壹萬五千八百四拾七圓
第十五款 水道修繕費	金七千六百六拾參圓
第十五款 水道修繕費	金參千四百拾九圓
第十五款 水道修繕費	金貳千四百拾六圓
第十五款 水道修繕費	金參百壹圓
第十五款 水道修繕費	金六百九拾五圓
第十五款 水道修繕費	金七萬六千四百參拾五圓
第十五款 水道修繕費	金七萬參千參百九拾參圓
第十五款 水道修繕費	金貳千六百四圓
第十五款 水道修繕費	金貳萬八千八百拾八圓
第十五款 水道修繕費	金貳萬八千八百拾八圓
第十五款 水道修繕費	金七百九拾九圓
第十五款 水道修繕費	金七百九拾九圓
第十五款 水道修繕費	金八百八拾四圓
第十五款 水道修繕費	金千八百八拾四圓
第十五款 水道修繕費	金千六百貳拾四圓
第十五款 水道修繕費	金貳百參拾圓
第十五款 水道修繕費	金壹圓
第十五款 水道修繕費	金壹圓
第十五款 水道修繕費	金壹萬四千四百五拾九圓
第十五款 水道修繕費	金七千七拾圓
第十五款 水道修繕費	金貳千八百六拾壹圓
第十五款 水道修繕費	金四千五百貳拾八圓

第十六款 灌溉所費	金四千拾六圓
第十六款 灌溉所費	金貳千八百八拾圓
第十六款 灌溉所費	金貳千四百參拾四圓
第十六款 灌溉所費	金四百貳圓
第十六款 灌溉所費	金七萬參千四百六拾七圓
第十六款 灌溉所費	金五萬八千五百八拾九圓
第十六款 灌溉所費	金壹萬四千四百八拾八圓
第十六款 灌溉所費	金參百九拾圓
第十六款 灌溉所費	金壹萬四千九圓
第十六款 灌溉所費	金九千參百四拾九圓
第十六款 灌溉所費	金九千貳百貳拾九圓
第十六款 灌溉所費	金貳千四百壹圓
第十六款 灌溉所費	金千參拾圓
第十六款 灌溉所費	金五千四百九拾六圓
第十六款 灌溉所費	金參千八百九拾壹圓
第十六款 灌溉所費	金九百四拾九圓
第十六款 灌溉所費	金六百五拾六圓
第十六款 灌溉所費	金千七百七拾八圓
第十六款 灌溉所費	金參百參拾圓
第十六款 灌溉所費	金千六百六拾參圓
第十六款 灌溉所費	金貳百八拾五圓
第十六款 灌溉所費	金壹萬六千八百貳拾七圓
第十六款 灌溉所費	金壹萬參千貳百貳拾壹圓
第十六款 灌溉所費	金貳千貳百四拾五圓
第十六款 灌溉所費	金千四百六拾壹圓
第十六款 灌溉所費	金八千六百圓
第十六款 灌溉所費	金七千八百四拾四圓
第十六款 灌溉所費	金六百五拾貳圓
第十六款 灌溉所費	金八百八圓
第十六款 灌溉所費	金九百八拾七圓
第十六款 灌溉所費	金壹圓
第十六款 灌溉所費	金七百六拾圓
第十六款 灌溉所費	金貳百貳拾六圓
第十六款 灌溉所費	金百五拾壹圓
第十六款 灌溉所費	金百五拾壹圓
第十六款 灌溉所費	金五萬八千五百參圓
第十六款 灌溉所費	金貳萬九千四百拾九圓
第十六款 灌溉所費	金參千五百七拾七圓
第十六款 灌溉所費	金四千六百壹圓
第十六款 灌溉所費	金四百六拾圓

○歳入總額一、八五、八五一
内譯は稅收入が五億九千三百萬圓、稅外收入十二億二千二百萬圓となつて居り稅の一戸當は四十六圓、一人當九圓である。しかして地方稅課率(地租附加稅)について見れば道府縣では最高神繩の一戸當一圓七拾二錢あり、町村では岐阜の二圓四十錢に對し岡山は三十錢となつてゐる。その他營業收益稅並に所得稅の附加稅などについて見ても府縣市町村の間に非常な懸隔があることを表明し庶民階級に最も密接な關係を持つ特別戸數割においては實に神奈川縣の一戸平均九十圓に對し千葉縣の八十四圓と約百割の差額である。

○稅の賦課率
まづ道府縣について見れば大正三年には地租附加稅宅地十六錢五厘、その他四十三錢七厘、營業收益稅附加稅十三錢、所得稅附加稅五錢であつたものが昭和二年には特別地稅昭和七年には家庭稅が創設されて負擔を加重した外に累増率において昭和八年年度には地租稅附加稅一圓三十三錢五厘、特別地稅五十五錢五厘、營業收益稅附加稅六十九錢八厘、所得稅附加稅三十六錢、家庭稅四十二錢二厘と數十割に達する増加振りであり、府縣に於ける差は前記の通りである。市稅、町村稅についても同様の數字を示してゐるが特に町村稅において著しく制限外課稅も道府縣市町村を通じて益々増加してゐる。

○地方債總額
二、九五七、四七二
内譯は道府縣七億七千七百萬圓、市十八億千八百萬圓、町村三億千六百萬圓、水利組合五千餘萬圓で道府縣並に市にあつてはその大部分は土木費、電氣事業費等に注入され町村にあつては勸業費を第一に社會事業費、土木費に充當されてゐる。また地方債總額の累増率も物議大正二年に三億千六百萬圓であつたものが九年年度には三十億に達するに至り毎年二千餘萬圓の増加振りである。

○地方財政の膨脹率
明治三十一年において國家財政の歳出總額二億九千九百餘萬圓に對し地方財政は九千八百餘萬圓であつたが昭和二年には前者の十七億六千五百萬圓に對し後者は十八億千五百萬圓となつてゐる、赤字公債に補填された國家財政の膨脹が問題とな

第三項 修繕費	金貳百圓
第三項 修繕費	金貳拾九萬五千貳拾七圓
第三項 修繕費	金六萬五千五百六拾七圓
第三項 修繕費	金八千九百六拾貳圓
第三項 修繕費	金貳拾萬九千九百參拾七圓
第三項 修繕費	金五萬五千八百四拾七圓
第三項 修繕費	金壹萬五千八百四拾七圓
第三項 修繕費	金七千六百六拾參圓
第三項 修繕費	金參千四百拾九圓
第三項 修繕費	金貳千四百拾六圓
第三項 修繕費	金參百壹圓
第三項 修繕費	金六百九拾五圓
第三項 修繕費	金七萬六千四百參拾五圓
第三項 修繕費	金七萬參千參百九拾參圓
第三項 修繕費	金貳千六百四圓
第三項 修繕費	金貳萬八千八百拾八圓
第三項 修繕費	金貳萬八千八百拾八圓
第三項 修繕費	金七百九拾九圓
第三項 修繕費	金七百九拾九圓
第三項 修繕費	金八百八拾四圓
第三項 修繕費	金千八百八拾四圓
第三項 修繕費	金千六百貳拾四圓
第三項 修繕費	金貳百參拾圓
第三項 修繕費	金壹圓
第三項 修繕費	金壹圓
第三項 修繕費	金壹萬四千四百五拾九圓
第三項 修繕費	金七千七拾圓
第三項 修繕費	金貳千八百六拾壹圓
第三項 修繕費	金四千五百貳拾八圓

第三十六款 灌溉所費	金四千拾六圓
第三十六款 灌溉所費	金貳千八百八拾圓
第三十六款 灌溉所費	金貳千四百參拾四圓
第三十六款 灌溉所費	金四百貳圓
第三十六款 灌溉所費	金七萬參千四百六拾七圓
第三十六款 灌溉所費	金五萬八千五百八拾九圓
第三十六款 灌溉所費	金壹萬四千四百八拾八圓
第三十六款 灌溉所費	金參百九拾圓
第三十六款 灌溉所費	金壹萬四千九圓
第三十六款 灌溉所費	金九千參百四拾九圓
第三十六款 灌溉所費	金九千貳百貳拾九圓
第三十六款 灌溉所費	金貳千四百壹圓
第三十六款 灌溉所費	金千參拾圓
第三十六款 灌溉所費	金五千四百九拾六圓
第三十六款 灌溉所費	金參千八百九拾壹圓
第三十六款 灌溉所費	金九百四拾九圓
第三十六款 灌溉所費	金六百五拾六圓
第三十六款 灌溉所費	金千七百七拾八圓
第三十六款 灌溉所費	金參百參拾圓
第三十六款 灌溉所費	金千六百六拾參圓
第三十六款 灌溉所費	金貳百八拾五圓
第三十六款 灌溉所費	金壹萬六千八百貳拾七圓
第三十六款 灌溉所費	金壹萬參千貳百貳拾壹圓
第三十六款 灌溉所費	金貳千貳百四拾五圓
第三十六款 灌溉所費	金千四百六拾壹圓
第三十六款 灌溉所費	金八千六百圓
第三十六款 灌溉所費	金七千八百四拾四圓
第三十六款 灌溉所費	金六百五拾貳圓
第三十六款 灌溉所費	金八百八圓
第三十六款 灌溉所費	金九百八拾七圓
第三十六款 灌溉所費	金壹圓
第三十六款 灌溉所費	金七百六拾圓
第三十六款 灌溉所費	金貳百貳拾六圓
第三十六款 灌溉所費	金百五拾壹圓
第三十六款 灌溉所費	金百五拾壹圓
第三十六款 灌溉所費	金五萬八千五百參圓
第三十六款 灌溉所費	金貳萬九千四百拾九圓
第三十六款 灌溉所費	金參千五百七拾七圓
第三十六款 灌溉所費	金四千六百壹圓
第三十六款 灌溉所費	金四百六拾圓

し都市に於ては公債費が歳出の最高位を占め断然多く教育費、電氣事業費がこれに次であるが町村においては教育費が特に多く次で役場費、公債費の順となつてゐる。

○歳入總額一、八五、八五一
内譯は稅收入が五億九千三百萬圓、稅外收入十二億二千二百萬圓となつて居り稅の一戸當は四十六圓、一人當九圓である。しかして地方稅課率(地租附加稅)について見れば道府縣では最高神繩の一戸當一圓七拾二錢あり、町村では岐阜の二圓四十錢に對し岡山は三十錢となつてゐる。その他營業收益稅並に所得稅の附加稅などについて見ても府縣市町村の間に非常な懸隔があることを表明し庶民階級に最も密接な關係を持つ特別戸數割においては實に神奈川縣の一戸平均九十圓に對し千葉縣の八十四圓と約百割の差額である。

○稅の賦課率
まづ道府縣について見れば大正三年には地租附加稅宅地十六錢五厘、その他四十三錢七厘、營業收益稅附加稅十三錢、所得稅附加稅五錢であつたものが昭和二年には特別地稅昭和七年には家庭稅が創設されて負擔を加重した外に累増率において昭和八年年度には地租稅附加稅一圓三十三錢五厘、特別地稅五十五錢五厘、營業收益稅附加稅六十九錢八厘、所得稅附加稅三十六錢、家庭稅四十二錢二厘と數十割に達する増加振りであり、府縣に於ける差は前記の通りである。市稅、町村稅についても同様の數字を示してゐるが特に町村稅において著しく制限外課稅も道府縣市町村を通じて益々増加してゐる。

○地方債總額
二、九五七、四七二
内譯は道府縣七億七千七百萬圓、市十八億千八百萬圓、町村三億千六百萬圓、水利組合五千餘萬圓で道府縣並に市にあつてはその大部分は土木費、電氣事業費等に注入され町村にあつては勸業費を第一に社會事業費、土木費に充當されてゐる。また地方債總額の累増率も物議大正二年に三億千六百萬圓であつたものが九年年度には三十億に達するに至り毎年二千餘萬圓の増加振りである。

○地方財政の膨脹率
明治三十一年において國家財政の歳出總額二億九千九百餘萬圓に對し地方財政は九千八百餘萬圓であつたが昭和二年には前者の十七億六千五百萬圓に對し後者は十八億千五百萬圓となつてゐる、赤字公債に補填された國家財政の膨脹が問題とな

第十四款 補助費	金壹圓
第十五款 補助費	金六萬五千貳拾圓
第十六款 補助費	金八百拾圓
第十七款 補助費	金參千九百參拾壹圓
第十八款 補助費	金五千五百圓
第十九款 補助費	金五千五百圓
第二十款 補助費	金千八百四拾八圓
第二十一款 補助費	金參千參百六拾八圓
第二十二款 補助費	金參千參百六拾八圓
第二十三款 補助費	金參千參百六拾八圓
第二十四款 補助費	金參千參百六拾八圓
第二十五款 補助費	金參千參百六拾八圓
第二十六款 補助費	金參千參百六拾八圓
第二十七款 補助費	金參千參百六拾八圓
第二十八款 補助費	金參千參百六拾八圓
第二十九款 補助費	金參千參百六拾八圓
第三十款 補助費	金參千參百六拾八圓
第三十一款 補助費	金參千參百六拾八圓
第三十二款 補助費	金參千參百六拾八圓
第三十三款 補助費	金參千參百六拾八圓
第三十四款 補助費	金參千參百六拾八圓
第三十五款 補助費	金參千參百六拾八圓
第三十六款 補助費	金參千參百六拾八圓
第三十七款 補助費	金參千參百六拾八圓
第三十八款 補助費	金參千參百六拾八圓
第三十九款 補助費	金參千參百六拾八圓
第四十款 補助費	金參千參百六拾八圓

●廣島市告示第三二號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市特別會計都市計畫事業費歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

昭十年度廣島市特別會計都市計畫事業費歳入出豫算

第一款 國庫補助金 金參萬圓

●廣島市告示第三三號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市特別會計公益質屋費歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

昭十年度廣島市特別會計公益質屋費歳入出豫算

第一款 財產ヨリ生スル收入 金四百六拾參圓

●廣島市告示第三四號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市香川獎學資金歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

昭十年度廣島市香川獎學資金歳入出豫算

第一款 資金ヨリ生スル收入 金參拾七圓

●廣島市告示第三五號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市坂本獎學資金歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

昭十年度廣島市坂本獎學資金歳入出豫算

第一款 資金ヨリ生スル收入 金參拾七圓

第一項 雜收	金百拾壹圓
第二項 貸付金戻入	金九萬壹圓
第三項 過年度貸付金戻入	金壹圓
第四項 繰入金	金參千九百參拾圓
第五項 前年度繰越金	金壹圓
第六項 前年度繰越金	金壹圓
第七項 前年度繰越金	金壹圓
第八項 前年度繰越金	金壹圓
第九項 前年度繰越金	金壹圓
第十項 前年度繰越金	金壹圓
第十一項 前年度繰越金	金壹圓
第十二項 前年度繰越金	金壹圓
第十三項 前年度繰越金	金壹圓
第十四項 前年度繰越金	金壹圓
第十五項 前年度繰越金	金壹圓
第十六項 前年度繰越金	金壹圓
第十七項 前年度繰越金	金壹圓
第十八項 前年度繰越金	金壹圓
第十九項 前年度繰越金	金壹圓
第二十項 前年度繰越金	金壹圓
第二十一項 前年度繰越金	金壹圓
第二十二項 前年度繰越金	金壹圓
第二十三項 前年度繰越金	金壹圓
第二十四項 前年度繰越金	金壹圓
第二十五項 前年度繰越金	金壹圓
第二十六項 前年度繰越金	金壹圓
第二十七項 前年度繰越金	金壹圓
第二十八項 前年度繰越金	金壹圓
第二十九項 前年度繰越金	金壹圓
第三十項 前年度繰越金	金壹圓
第三十一項 前年度繰越金	金壹圓
第三十二項 前年度繰越金	金壹圓
第三十三項 前年度繰越金	金壹圓
第三十四項 前年度繰越金	金壹圓
第三十五項 前年度繰越金	金壹圓
第三十六項 前年度繰越金	金壹圓
第三十七項 前年度繰越金	金壹圓
第三十八項 前年度繰越金	金壹圓
第三十九項 前年度繰越金	金壹圓
第四十項 前年度繰越金	金壹圓

●廣島市告示第三三號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市香川獎學資金歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

昭十年度廣島市香川獎學資金歳入出豫算

第一款 資金ヨリ生スル收入 金參拾七圓

●廣島市告示第三四號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市坂本獎學資金歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

昭十年度廣島市坂本獎學資金歳入出豫算

第一款 資金ヨリ生スル收入 金參拾七圓

●廣島市告示第三五號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市香川獎學資金歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

昭十年度廣島市香川獎學資金歳入出豫算

第一款 資金ヨリ生スル收入 金參拾七圓

つてゐる時地方財政は膨脹率において約二倍に達してゐる。即ち九年度と明治三十一年を比較せば國家財政は九倍の膨脹なるに對し地方財政は十八倍になつてゐる。しかも收入においては前記の如く道府縣市町村により非常な不均衡を暴露して居る。

○都市と農村との人口割合數字は指數による）明治五年における商工都市の人口一〇六に對し農村は七七一を示してゐたものが九年度には都市は三一六の増加に對し農村は五一八の減少を來たしてゐる。また農村所得の割合は明治三十二年に二四五であつたものが昭和八年には一五四に過ぎない。

◆大東京市の人口五百六十一萬突破 (東京市) 警視廳調査による昭和九年十二月末の大東京の總人口は五六一七、八四二人のうち男二、九三四、〇八三人、女二、六八三、七二九人で前年度より約十八萬人の増加であるといふ。これを各區別にすると荒川区三七六、八九四人が筆頭で、次ま本所區、淺草區の順、通學或勤めのため家を出かけるのが總人口の三分の一、數年前までは女子の勤人は男の五分の一ぐらゐであつたのが近年その進出が目ざましく遂に二分の一を越すに至つた。

また名家は五三九五棟で一番多いのが世田ヶ谷管內の二、〇六一棟、次は中野署、王子、瀧野川、板橋、尾久等も空家が多い。

◆米子市の美化運動 (米子市) 大山國立公園の登山口を扼して輝かしい躍進の途上にある商都米子市を美化する公園計畫のうち昭和十年度中に實施することにしたものは城山公園で陽春四月、田村林學博士の實地視察をうけたのち公園調査會を開催し、細目を決定した上三萬圓(うち一萬五千圓は一般の寄附)により他は市債による)の工事費をもつてドライブ・ウェイの新設および樹木の手入れを行ふことになつた。なほ他の南湊山錦北各公園は漸次施行することになつてゐる。

◆十和田觀光ホテル (秋田縣) 舊十和田湖畔の和井内ホテル焼失以來和井内氏は野化場及びホテル建設に奔走中であるが毛馬内十和田湖への遊客殺到するを控へて宿泊所として秋田會館一つしかないのを地元七瀨村有力者が愛へて上野村長は三年前村會で決議した農林、鐵道の兩省からの補助借入金で二十五萬圓の豫算で十和田湖畔に洋館十和田觀光ホテルを建設する計畫を具體化すべく協議をすすめて居る。

第一款 獎學費 金參拾七圓
 第一款 獎學費 金參拾七圓
 歳入合計金參拾七圓
 歳入出引残金アレハ資金ニ組入ルモノトス

●廣島市告示甲第三七號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市罹災救助基金歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山金太郎

昭和十年度廣島市罹災救助基金歳入出豫算

歳入
 第一款 資金ヨリ生スル收入 金千八百四拾貳圓
 第二款 繰入金 金千八百四拾貳圓
 第三款 雑収入 金壹圓
 第四款 繰越金 金壹圓
 歳入合計金千八百四拾五圓

歳出
 第一款 救助費 金九拾四圓
 第二款 罹災救助費 金九拾四圓
 第三款 積立金 金千貳百四拾貳圓
 第四款 財産費 金八圓
 第五款 雑支費 金壹圓
 第六款 雑備費 金五百圓
 歳出合計金千八百四拾五圓
 歳入出引残金アレハ資金ニ組入ルモノトス

●廣島市告示甲第三八號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市公會堂改築資金歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山金太郎

昭和十年度廣島市公會堂改築資金歳入出豫算

歳入
 第一款 寄附金 金八千圓
 第二款 寄附金 金八千圓
 第三款 資金收入 金四百八拾參圓
 第四款 資金收入 金四百八拾參圓
 歳入合計金八千四百八拾參圓
 歳入出引残金ナシ

●廣島市告示甲第三九號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市歳入出豫算追加ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山金太郎

昭和十年度廣島市歳入出豫算追加

歳入
 第一款 繰越金 金五百七拾參圓
 第二款 前年度繰越金 金五百七拾參圓
 第三款 市債 金拾九萬圓
 第四款 市債 金拾九萬圓
 歳入合計金拾九萬五千五百七拾參圓

歳出
 第一款 下水道費 金拾九萬五千五百七拾參圓
 第二款 下水道費 金拾九萬五千五百七拾參圓
 第三款 市債 金拾九萬圓
 第四款 市債 金拾九萬圓
 歳出合計金拾九萬五千五百七拾參圓
 歳入出引残金ナシ

●廣島市告示甲第四〇號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市歳入出豫算追加ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山金太郎

昭和十年度廣島市歳入出豫算追加

歳入
 第十二款 繰越金 金五百四拾圓
 第一款 前年度繰越金 金五百四拾圓
 歳入合計金五百四拾圓

歳出
 第十五款 寄附費 金五百四拾圓
 第一款 寄附費 金五百四拾圓
 臨時部計金五百四拾圓
 歳出合計金五百四拾圓
 歳入出引残金ナシ

●廣島市告示甲第四一號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市歳入出豫算追加ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山金太郎

昭和十年度廣島市歳入出豫算追加

歳入
 第十二款 繰越金 金拾七萬九千八百六圓
 第一款 前年度繰越金 金拾七萬九千八百六圓
 第十五款 負擔金 金貳萬四千四百拾九圓
 第一款 受益者負擔金 金貳萬四千四百拾九圓
 歳入合計金貳拾萬四千貳百貳拾五圓

歳出
 第卅一款 道路改築費 金貳拾萬四千貳百貳拾五圓
 第一款 道路改築費 金九萬七千貳百貳拾五圓
 第二款 道路改築費 金九萬七千貳百貳拾五圓
 臨時部計金貳拾萬四千貳百貳拾五圓
 歳出合計金貳拾萬四千貳百貳拾五圓
 歳入出引残金ナシ

●廣島市告示甲第四二號

廣島市參事會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市歳入出豫算追加ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山金太郎

昭和十年度廣島市歳入出豫算追加

歳入
 第十款 財産賣拂代 金拾壹萬貳百九圓
 第一款 土地賣拂代 金拾壹萬貳百九圓
 第二款 雜收入 金七百五拾六圓
 第三款 繰越金 金七百五拾六圓
 第一款 前年度繰越金 金貳拾六萬七千七百六拾六圓
 第三款 市債 金五萬七千圓
 歳入合計金四拾貳萬九千七百參拾壹圓

歳出
 第三款 土木費 金壹萬貳百拾四圓
 第一款 道路費 金壹萬貳百拾四圓
 第二款 教育費 金參拾七萬四千四百五拾六圓
 第一款 小學校費 金參拾七萬四千四百五拾六圓
 第八款 公園費 金五千參百七拾圓
 第一款 公園費 金五千參百七拾圓
 第六款 舊御便殿保存費 金四千七百七拾貳圓
 第一款 舊御便殿保存費 金四千七百七拾貳圓
 第七款 灌漑所費 金千九百八拾五圓
 第一款 灌漑所費 金千九百八拾五圓
 第八款 米穀倉庫敷地費 金參萬五千九百參拾四圓
 第一款 米穀倉庫敷地費 金參萬五千九百參拾四圓
 臨時部計金四拾貳萬九千七百參拾壹圓
 歳出合計金四拾貳萬九千七百參拾壹圓
 歳入出引残金ナシ

●廣島市告示乙第一號

廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市天滿町外七箇町歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山金太郎

昭和十年度廣島市天滿町外七箇町歳入出豫算

歳入
 第十款 財産賣拂代 金拾壹萬貳百九圓
 第一款 土地賣拂代 金拾壹萬貳百九圓
 第二款 雜收入 金七百五拾六圓
 第三款 繰越金 金七百五拾六圓
 第一款 前年度繰越金 金貳拾六萬七千七百六拾六圓
 第三款 市債 金五萬七千圓
 歳入合計金四拾貳萬九千七百參拾壹圓

歳出
 第三款 土木費 金壹萬貳百拾四圓
 第一款 道路費 金壹萬貳百拾四圓
 第二款 教育費 金參拾七萬四千四百五拾六圓
 第一款 小學校費 金參拾七萬四千四百五拾六圓
 第八款 公園費 金五千參百七拾圓
 第一款 公園費 金五千參百七拾圓
 第六款 舊御便殿保存費 金四千七百七拾貳圓
 第一款 舊御便殿保存費 金四千七百七拾貳圓
 第七款 灌漑所費 金千九百八拾五圓
 第一款 灌漑所費 金千九百八拾五圓
 第八款 米穀倉庫敷地費 金參萬五千九百參拾四圓
 第一款 米穀倉庫敷地費 金參萬五千九百參拾四圓
 臨時部計金四拾貳萬九千七百參拾壹圓
 歳出合計金四拾貳萬九千七百參拾壹圓
 歳入出引残金ナシ

◇尾道都計の工場地域を擴張 (尾道市)

尾道都市計畫街路のうち東御所町本町一丁目から御調郡吉和村字才の原に至る驛前福地海岸線幅員十五米の道路は港灣修築による附屬設備である貯木場設置の關係から北側に二十米よることになりこのほど内務大臣から都市計畫廣島地方委員會に附議して來たので近く委員會を召集して答申案を可決するはずであることは尾道市として相當有利となるわけである。

◇日本一の豪華な電車 (京都市)

阪神乗り入れ阪急進出計畫などの郊外電車の侵入と圓タク、バスの乗客の侵蝕に對し神戸市電氣局では今後の對策につき種々考慮してゐるが、賃金引上げ區間制度等による消極策現狀より到底不可能なので積極的に乗客吸收策に全力を注ぐこととし新設線にトロリーカーの使用、または乗客サーヴイスとして女車掌の採用、市電全線にわたるスピードアップなど着々實現してゐる。

常に車體改良では神戸市電は全國他都市をリードしてゐるがさらに積極的な乗客サーヴイス乗客吸收策として目下市電で計畫されてゐる電車は思ひ切り贅澤なもので、外觀は曲線を自由に用ひた流線型、内部は細心な照明装置、窓の改良によるオートマチックな換氣法を施し、そ

◇赤字を蹴飛ばして (横濱市)

増収
 多年赤字受難を救じて居た横濱市電に明らかな更生の春が訪れんとして居る。昨年四月一日から本年三月一日までの乗客收入統計を見ると電車二百四十五萬三千五百一圓、バス六十八萬四千二百七十圓となつて、これを前年同期に比較すると電車で九萬五千三百三十二、バスで一萬六千五百二十四圓と何れも増額震災以來始めて見る増収を早した。

三月一日の如きも電車八千八百三十一圓、バス二千三百五十五圓の收入で前年同日に比べ電車一千二百二十四圓増、バス四百五十七圓増であつて今春は博覽會で乗客も増加するのでこの調子なら十年度豫算で電氣局は電車七萬七千四百三十一圓、バス七萬七千八百五圓のそれ、五分増収を見込んで居るが増収は大丈夫だと喜んで居り赤字克服

昭和十年度廣島市天満町外七箇町歳入出豫算

歳入

第一款 雑 收 入 金千四圓

第二款 貨 地 料 金千參圓

第三款 尿尿賣拂代 金壹圓

歳入合計金千四圓

第一款 財産管理諸費 出 金千四圓

第二款 財産管理諸費 出 金千四圓

歳出合計金千四圓

歳入出差引殘金アレハ積立金トス

●廣島市告示乙第二號
廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市元字品町歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

昭和十年度廣島市元字品町歳入出豫算

歳入

第一款 雑 收 入 金參拾八圓

第二款 貨 地 料 金參拾八圓

歳入合計金參拾八圓

第一款 財産管理諸費 出 金參拾八圓

第二款 財産管理諸費 出 金參拾八圓

歳出合計金參拾八圓

歳入出差引殘金アレハ積立金トス

●廣島市告示乙第三號
廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市江波町歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

昭和十年度廣島市江波町歳入出豫算

歳入

第一款 雑 收 入 金拾五圓

第二款 貨 地 料 金拾五圓

歳入合計金拾五圓

第一款 諸稅及負擔 出 金貳圓

第二款 諸稅及負擔 出 金貳圓

歳出合計金貳圓

歳入出差引殘金ナシ

備考 以上ノ告示ハ公布ノ日掲示場ニ掲示濟

●廣島市告示乙第四號
廣島市會ノ議決ヲ經タル昭和十年度廣島市古田町歳入出豫算ノ要領左ノ如シ但シ本豫算ハ即日執行ス

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

昭和十年度廣島市古田町歳入出豫算

歳入

第一款 雑 收 入 金貳圓

第二款 貨 地 料 金貳圓

歳入合計金貳圓

第一款 諸稅及負擔 出 金貳圓

第二款 諸稅及負擔 出 金貳圓

歳出合計金貳圓

歳入出差引殘金ナシ

備考 以上ノ告示ハ公布ノ日掲示場ニ掲示濟

も出來やうと樂觀してゐる。

◆米子市の公園計畫 (米子市)

米子市公園調査會實行委員會は三月十一日午後三時から同市役所で開會西尾市長より右計畫案を提示して委員の意見を徴したが右計畫案の内容は錦公園と城山とを結ぶ自動車車道を設け後藤グラウンドを擴張して野球場テニスコートその他の運動施設をなすほか海水浴場、児童遊び場、動物園、展望臺、休憩所、ボート・ハウスなど海陸兩方面の設備を完備し城内病院は適當の場所に移轉せんとするものでこの總豫算として七萬を計上されてゐる。

◆飛行場連絡道路計畫 (富山市)

富山飛行場と富山市間の自動車道路は富山東岩瀨間自動車道路から近く工事に着手されるが神通河口の菟浦橋を経て四方町の南裏を四方、新湊線に抜けて現在の打出濱地内の飛行場専用道路に結ぶことに縣當局の方針が決定したが經費がないので十年度には菟浦橋の架替と同時に富山、東岩瀨間道路から對岸草島村地内の富山、四方間道路までの工事を實施することになつた、なほこの道路は將來新湊町まで延長改修して東岩瀨、伏木兩港を結ぶ海岸の幹線自動車道路となるものである。

大正十年一月達甲第一號旅費規則中ニ規定ナキ吏員其ノ他ノ旅費額規程ハ之ヲ廢止ス

町正副總代就任認可ノ通 (自三月十六日 至三月三十一日)

西觀音町 副總代 小出宇三郎
二丁目 同 西田 繁雄
皆實町三丁目 同 友田和一郎

材木町 總代 綠 竹藏
同 副總代 木村 久吉
石見屋町 總代 明 藤次郎
竹屋町 副總代 香川卯三郎
同 副總代 平岡卯三郎
同 副總代 村岡初太郎
同 副總代 水野 貞造
大手町七丁目東通 總代 松本 寅吉
同 副總代 山口 榮造

見本市を通じて山東貿易の梗概と述ぶ (一)

●達甲第七號
廣島市旅費條例第十一條ニ依ル旅費規程左ノ通定ム

昭和十年四月一日

廣島市長 横山 金太郎

廣島市旅費條例第十一條ニ依ル旅費ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ支給ス

一、市醫ニハ主事ニ給スヘキ額

二、調理員、獸醫、衛生監督及産業技手ニハ書記ニ給スヘキ額

三、衛生巡視ニハ書記補ニ給スヘキ額

四、雇員ニハ日當及宿泊料ハ書記補ニ給スヘキ額ノ八割、鐵道賃及船賃ハ最下級運賃實費、車馬賃ハ書記補ニ給スヘキ額

五、傭人ニハ日當及宿泊料ハ書記補ニ給スヘキ額ノ六割、鐵道賃及船賃ハ最下級運賃實費、車馬賃ハ書記補ニ給スヘキ額

六、囑託員其ノ他ニハ其ノ都度定メタル額

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

見本市品供託者

靴下 同 市堺町一丁目 樟田 卓雄
ポンプ 同 市錦町 津田式ポンプ製作所
打綿 同 市廣瀬元町 西久製綿所
殺蟲劑 同 市廣瀬元町 戸田工業株式會社
三寸木地、松丸太 同 市京橋町 派遺員 竹宮 健一郎

見本市幹旋者

廣島市出張員 廣島市胡町 小田 政商店
上 市昭和町 中國ゴム株式會社
津 市觀音町 廣島濱物製造會社
山 市西引御堂町 大 藤 商店
野 市廣瀬北町 戶津川 榎工場
秀 市立町 本場 關戸帳會社
夫 市上流川町 櫻 屋 本店
勝 市石見屋町 廣島縣酒造組合
同 市外府中村 永 野 隆 支 部
同 市吉島本町 東洋工業株式會社
同 市鶴見町 中國アニリン染料製造所 木村 永進 堂

見本市參加者

業 種 住 所 氏 名

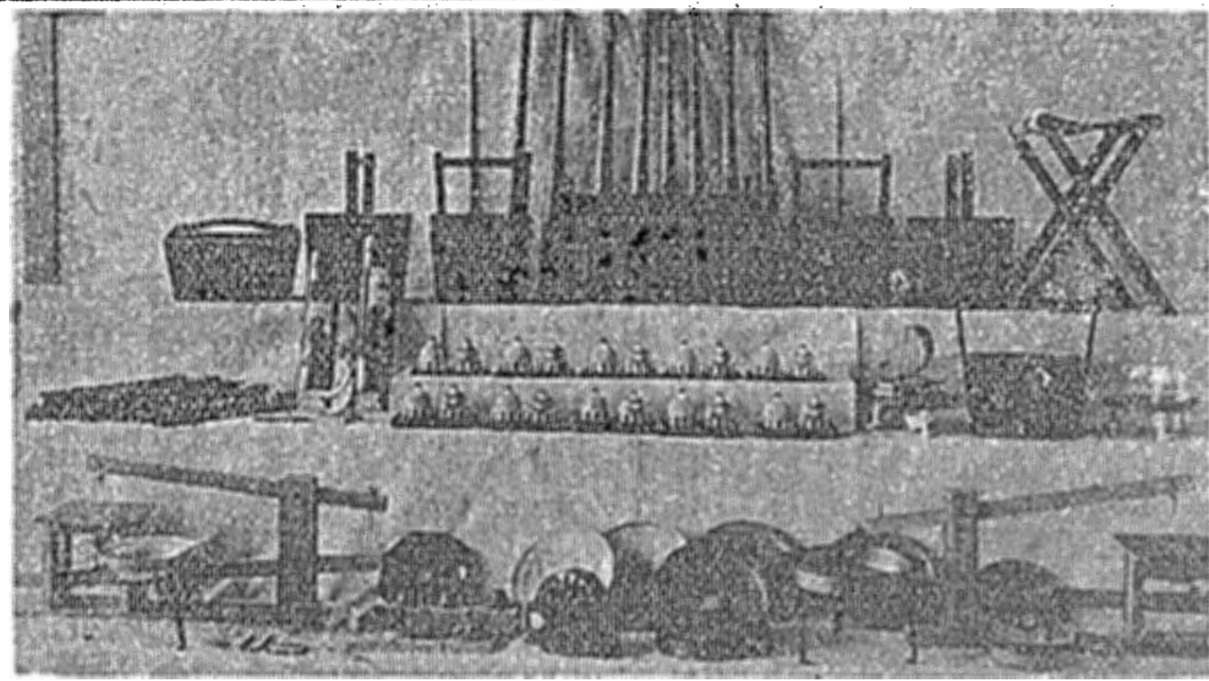
スポーツ服裝製造 廣島市水主町三四九 番匠徳合名會社 四郎

ゴム靴 同 市舟入川口町 長谷川ゴム製造所 要

製綿機械 同 市鷹匠町 柏木綿機商會 柏木 朔

◆近代大衆アパート (京都市)

アパート時代——住宅の拂底に悩む中産以下の近代大衆がアパートへ流れ込む数は實に驚くべきもので正にアパート全盛時代を現出せんとしてゐる、この傾向を見て最近幾出するアパートの中にはインキなものが多い小市民を苦しめてゐるものが多いので府警察部でもこれが取締方針につき協議を進めるともに府都市計課では大阪市内に法人團體經營のアパート網の確立をはかる事となつた、即ち府當局を中心に各種社會事業團體を一丸とするアパート經營の法人團體を組織し區劃整理、不良住宅整理などによつて市内各所に生れる空地を利用してアパートを建設しようといふもので資金は東京に於ける同調會と同様政府の低利資金を借りて市内各區に一箇所づゝ鐵筋コンクリートまたは木造二階乃至三階建のアパートを建設、四層半と六層の二間で十五圓程度の賃賃をする意向である、このアパートは設備の點では近代人の魅惑ともなるべき模範的な者とすべく同課でこれが基礎調査を行つてゐるが近く各種のアパート建築樣式の模型を作成、アパート展覽會を開く、猶從來のアパートの疵とされてゐた共同便所による不衛生を解消して一室に一個宛の洗滌式便所を備へつけ、また旅館取締と同様ときどき臨検をうけて住居者に與へてゐた不



第一高等小學校 卒業 兒童作品展覽會

非常な好評賞讃を博す

本市第一高等小學校に於ては去る四月廿五、六、七の三日間卒業記念行事として兒童作品大展覽會を開催した...

兒童作品の品

高小教育の眞使命を了解し本市教育の爲にも、將又高小兒童の爲にも眞に喜ばしきことであるとの感...

型内裏には、參觀者何れも「こゝまで出来れば、高等小學の教育は完成された」と云つて宜い等と激賞されたところそのスマートな近...

關於設備と、全校擧げての新與教育精神により着々高小教育眞使命の實踐を擧げ來り、本春第二回卒業生を出すに際し一高に於ける...

Table with 3 columns: 市立圖書館增加圖書 (Public Library Added Books), 一人想 (One Person's Thoughts), 漫歩 (Stroll). Lists various books and authors.

二十日 見本市 見本市 商店通訪 商店通訪 商店通訪...

仁保町消防出初式 三月二十一日舉行 仁保町消防出初式は三月二十一日午前八時から同町仁保小學校...

牛田町土地區劃整理組合 起工式三月三十一日舉行 昨午七月二十五日組合設立認可...

市内に流線型道路 (青森市) 都市計畫青森地方委員會ではいよ／＼新青森市街の都市計畫...

教賀町が市制施行 計畫 (教賀町) 工業都市として發展途上にある教賀町は東洋紡績人絹工場が...

發明獎勵費交付申請に就て

希望者は四月末日迄に申出のこと

産業發達に資すべき發明其の他有益なる發明に關し、昭和十年度に於て發明獎勵費交付規則に定むる所に依り、有益なる發明の研究に於て獎勵費交付に依り發明完成の見込充分なるもの、又は有益なる發明の見本製作並に試験に於て適當なるものに資金補助の目的を以て獎勵費交付相成るべきに付、該當者は大正六年十月十三日附農商務省令第二十八號發明獎勵費交付規則參照の上、左記發明獎勵費交付申請書様式並に記載事項に依り、申請書三通調製の上四月末日迄提出せられたい。尚同一人にして二種以上の研究事項等ある場合は一種類を一件の研究事項とし、夫々記載し一件の申請書としなければならぬ。本件申請書は四月末日迄に提出せられない時は該當者なきものとして處理する等である。

記載事項

- 一、發明ノ名稱
- 二、發明ノ性質及目的ノ要領
- 三、本件發明ト他ノ發明トノ關係
- 四、發明研究ノ經過
- 五、研究ノ計畫
- 六、研究ノ場所
- 七、補助ヲ受ケントスル金額
- 八、補助ヲ必要トスル理由
- 九、申請者
- 一〇、申請者ガ完成シタル發明

發明獎勵費交付申請書(様式)

別記事項ニ依リ：……
發明ニ關シ研究致度候間獎勵費交付被成下度發明獎勵費交付規則ニ依リ此段及申請候也
年月日
住所
氏名
宛 名 印

翠町土地區劃整理組合

第一回總會開催二月十八日

茲に組合設立認可申請中であつた翠町土地區劃整理組合は三月八日知事より組合設立認可があつたので三月十八日午後一時から皆實尋常高等小學校で役員選舉及起債の重要案件の爲め組合員總會を開會したが申請者の一人、坂本雅之助氏議長となり、先づ組合設立に至る經過を報告、異議なく承認し次で組合長、組合副長、評議員五名の選舉を求め、指名推薦の動議を可決し指名に依り組合長坂本雅之助、組合副長見玉義雄、評議員保田七兵衛、平岡外三郎、中西毅一、畑石兼吉、濱西淺一の五氏を指名、満場一致賛成當選し、次に整理施行費に充當する爲め金八萬圓を起債することを更に満場一致可決の上、午後五時無事閉會した。同組合地區は皆實町二、三丁目、翠町、旭町の各一部で總地積四十三町一反七畝三步、組合員數二百八十八人を算し本市に於ける最大の組合で約六ヶ月後工事に着手し一ヶ年を以て工事完了の豫定であると云ふ。

社會事業助成會評議員會

四月一日醫師會館に於て開催

社會事業助成會評議員會は四月一日午後一時半醫師會館に於て開催、左記議案の審議並事業報告あつて午後四時半散會した。
一、昭和十年年度歳入出豫算
一、昭和八年度決算の承認

北滿の新競技「打柁子」

二十三日宇品學園に競技場設置

本市宇品學園では中村藤太郎氏開を行つたが同競技は比較的狭い場所にて多人數が競技し得るのが特長である。

直流交流電氣機械實驗法	山本 勇
滿洲忠實記	佐々木常磐
美術・諧謔	小川 芋錢
俳畫ノ描キ方	滿洲國通信社
滿洲國概観	内藤藤一郎
飛鳥時代ノ美術	垣見宣修編
昭和國華	小西勝次郎
國産金物發達誌	門馬直衛編
世界樂全集	ピアノ協奏曲集
第六五卷	ピアノ協奏曲集
第六七卷	ヴァイオリン協奏曲集
第七一卷	ピアノ協奏曲集
第七四卷	交響曲集
産業・交通・通信	澤山 智
毛皮鞣製染色鑑定保存法	澤山 智
實用自給肥料	吉村 清尚
牧草飼育養豚秘訣	安田 格
青森縣第一回蠶桑多收穫競技會審査報告	東奥日報社編
通信統計要覽・昭和八年度	通信省
第三種郵便總覽補遺	通信省
冷蔵ノ冷凍	大島 正滿
原價計算	吉田 良三
鶏ノ疾病ト其治療法	板垣 四郎
郷土史料	小都勇二編
郡山御籠城日記	小泉來兵衛編
後雙鶴集	教育公報社編
廣島縣史蹟名勝寫真帳	教育公報社編
廣島市ノ發達ト其人文化現象ノ地域的考察	野澤 浩
安藝國昔話集	磯貝 勇
藝備郷土誌目錄	森元國松編

傳染病患者數月報 (二月二十八日現在)

病名	現患者數		本年初發		以來ノ累計	
	男	女	男	女	男	女
赤痢	1	5	2	7	5	12
疫痢	1	1	1	1	1	1
腸チフス	3	6	4	9	5	11
チフス	1	1	1	1	1	1
デブチフス	3	3	3	3	3	3
猩紅熱	1	5	1	5	1	5
流行性腦脊髄膜炎	1	1	1	1	1	1
痘瘡	1	1	1	1	1	1
コレラ	1	1	1	1	1	1
計	34	57	45	73	51	124

種別	現在患者ノ所在		收容不能
	船	陸	
赤痢	1	4	1
疫痢	1	0	0
腸チフス	3	3	0
チフス	1	0	0
デブチフス	3	0	0
猩紅熱	1	4	0
流行性腦脊髄膜炎	1	0	0
痘瘡	1	0	0
コレラ	1	0	0
計	20	34	1

上水道水質検査成績 (一月分)

採 酌 場 所	天 候		氣 温		水 温		濁 度		色 度		臭 味		反 應		硫 酸		硝 酸		亞 硝 酸		ア ン モ ニ ア		過 マ ン ガ ン		脱 色 カ リ ウ ム		固 形 物 總 量		硬 度		細 菌 落 数		備 考	
	晴	曇	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低				
太田川取水	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	
沈澱池	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	
濾過池	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	
濾過井	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	
淨水池	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	
給水栓	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六

上水道水質検査成績 (一月分)

中央職業紹介所事業成績 (二月分)

職 別	求 人 数		求 職 数		就 職 数		日 働 勤 勞
	男	女	男	女	男	女	
工業及鑛業	三二	二五	三二	二五	三二	二五	一
土木建築	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一
商 業	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一
農 林 業	一	一	一	一	一	一	一
水 産 業	一	一	一	一	一	一	一
通信運輸	四	三	四	三	四	三	一
戸内使用人	一三	一四	一三	一四	一三	一四	一
雜 業	三	三	三	三	三	三	一
合 計	三三	二八	三三	二八	三三	二八	一

中央職業紹介所事業成績 (二月分)

俸給生活者職業紹介成績 (二月分)

職 別	求 人 数		求 職 数		就 職 数	
	男	女	男	女	男	女
官公署	二	一	二	一	二	一
銀行	一	一	一	一	一	一
保險會社	一	一	一	一	一	一
商會社	一	一	一	一	一	一
工業會社	一	一	一	一	一	一
鑛業會社	一	一	一	一	一	一
個人商店	一	一	一	一	一	一
個人工場	一	一	一	一	一	一
學 校	一	一	一	一	一	一
新聞雜誌社	一	一	一	一	一	一
其 他	一	一	一	一	一	一
計	二	一	二	一	二	一

俸給生活者職業紹介成績 (二月分)

隣保館事業成績 (二月分)

事業別	區 別	館 別	日 數	利 用 状 況	
				男	女
託 兒	西 東	西 東	二五	一〇〇〇	一〇〇〇
				一〇〇〇	一〇〇〇
圖 書 閱 覽	西 東	西 東	二五	三〇〇	三〇〇
				三〇〇	三〇〇
諸 集 會	西 東	西 東	二五	二〇〇	二〇〇
				二〇〇	二〇〇
兒 童 關 係	西 東	西 東	二五	一〇〇	一〇〇
				一〇〇	一〇〇
講 演 講 習	西 東	西 東	二五	一〇〇	一〇〇
				一〇〇	一〇〇
保 健 衛 生	西 東	西 東	二五	一〇〇	一〇〇
				一〇〇	一〇〇
慰 安 娛 樂	西 東	西 東	二五	一〇〇	一〇〇
				一〇〇	一〇〇
人 事 相 談	西 東	西 東	二五	一〇〇	一〇〇
				一〇〇	一〇〇
其 他	西 東	西 東	二五	一〇〇	一〇〇
				一〇〇	一〇〇
合 計	西 東	西 東	二五	一〇〇〇	一〇〇〇
				一〇〇〇	一〇〇〇
助 成 事 業	西 東	西 東	二五	一〇〇	一〇〇
				一〇〇	一〇〇

隣保館事業成績 (二月分)

託兒事業成績 (二月分)

Table showing childcare performance by district (草津, 仁保, 廣瀬, 江波, 楠那, 三條) with columns for gender, age group, and staff counts.

昭和十年戶籍事件表 (二月分)

Table of household registration events including birth, death, marriage, divorce, and migration, with counts for each category.

昭和十年寄留事件表 (二月分)

Table of household registration events including birth, death, marriage, divorce, and migration, with counts for each category.

昭和十年戶籍表 (二月分)

Table of household registration statistics showing population counts by gender and status (本籍人, 非本籍人).

納税は國民の義務

忘れぬ様是非お納め下さい

四月に納めるのは

▲ 地 租 附 加 税 前半期三十日限り

▲ 特別地税同附加税 前半期三十日限り

▲ 都市計畫税地租割 前半期三十日限り

五月に納めるのは

▲ 田 租 第四期二十八日限り

廣島市役所税務課

廣島市報

號一十六第

刷印日三十二月四年十和昭
行發日五十二月四年十和昭
錢拾七金部一價定
錢拾七金部一價定

所役市島廣 所行發
人行發
所版活弟兄出地社株 所刷印
地番一目丁七町手大市島廣
雄計田増省刷印
地番一目丁七町手大市島廣

草沿の町

猿樂町 は昔能役者猿樂師の
類が多く住んで居たによる。

【目次】

- ◇ 江波公園 二九
- ◇ 條 例 三〇
- ◇ 告 示 三〇
- ◇ 彙報・通牒 三〇
- ◇ 新聞經濟記事の學習 三三
- ◇ 事業報告書、決算豫算を附議せる觀光協會總會 三三
- ◇ 第二回中國四國市長會 三三
- ◇ 高小兒童の選職指導 三四
- ◇ 有熱兒の發見及其の處置 三五
- ◇ 第三回中國四國市會議長會議 三六
- ◇ 生活改善會第三回花嫁學校開設 三七
- ◇ 各種統計 三九

△日本醫學會△全國結核療養所長會議開
催△第三回全國公立傳染病院長會議開催
△市立淺野圖書館增加圖書△公役市場小
賣值段



江 波 公 園

廣島の史蹟と名勝(其の七)

江波公園

江波公園は江波町の南端の小丘に在つて元國有林であつたのを明治三十一年の八月に許可を得て本市の公園となしたもので其の面積は三町歩餘である、明治三十六年六月から市民の遊覽を許したのであるが東西南の三方は海を以て圍まれ満山古松鬱茂し殊に山嶺の眺望は爽快極まりない。北は廣島市街の全景を瞰下し東は廣島港、比治山を展望し西南は風光明媚な廣島灣に望んで小富士、嚴島等烟波の間に縹渺し遠く白帆の島かげに出没するのが望むことが出来る。

江波層波 林 春齋

一場西海濱 層浪洗烟塵
水與乾坤接 客從南北臻
橐籥將滿市 櫓楫不迷津
匪是高岡地 自無壟斷人

【條例】

廣島市會ノ議決ヲ經内務大臣大藏大臣及廣島縣知事ノ許可ヲ得テ大正七年八月廣島市條例第四號廣島市水道使用條例中左ノ通改正ス

廣島市條例第二號 廣島市水道使用條例中 改正條例

第六十條 左記各號ノ一ニ該當スル者ニ付テハ市長ニ於テ使用料及手数料ヲ減免スルコトヲ得

一、慈善又ハ公益事業經營者 二、貧困ノ爲負擔ニ堪ヘズト認ムル者

【告示】

廣島市告示甲第四三號

昭和八年十一月一日内務省告示第三百七十七號廣島都市計畫土地區劃整理中左ノ區域ヲ都市計畫事業トシテ本市ニ於テ之ヲ施行シ受命ノ日ヨリ二年以内ニ工事ヲ完了ス

第四號

中廣町ノ一部及上天滿町ノ一部

廣島市告示甲第四十四號

廣島市土木工事執行細則左ノ通定ム

昭和十年四月十八日

廣島市長 横山金太郎

廣島市土木工事執行細則

市費ヲ以テ支辨スル工事ノ執行ニ付テハ昭和十年二月廣島市告示甲第六號道路工事執行細則ノ規定ヲ準用ス

附則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際現ニ入札手續ヲ爲シ又ハ契約中ニ屬スルモノハ仍從前ノ例ニ依ル

廣島市告示甲第四五號

廣島市告示甲第四五號

左記ノ通土地立入ノ件廣島逓信局ヨリ通知アリタリ

昭和十年四月十八日

廣島市長 横山金太郎

廣島市告示甲第四五號

左記ノ通土地立入ノ件廣島逓信局ヨリ通知アリタリ

昭和十年四月十八日

廣島市長 横山金太郎

廣島市告示甲第四五號

左記ノ通土地立入ノ件廣島逓信局ヨリ通知アリタリ

昭和十年四月十八日

廣島市長 横山金太郎

廣島市告示甲第四五號

左記ノ通土地立入ノ件廣島逓信局ヨリ通知アリタリ

昭和十年四月十八日

廣島市長 横山金太郎

廣島市告示甲第四五號

左記ノ通土地立入ノ件廣島逓信局ヨリ通知アリタリ

昭和十年四月十八日

廣島市長 横山金太郎

給規程左ノ通定ム

昭和十年四月二十日

廣島市長 横山金太郎

水道部吏員特別勤務手當支給規程

水道部所屬吏員ニシテ工事材料受渡並工場監督ノ爲午前七時迄ニ出勤シ引續キ午後五時迄勤務シタルトキハ日額金拾五錢ノ手當金ヲ支給ス

町正副總代就任認可

(自昭和十年四月一日起至昭和十年四月十五日)

大町町 副總代 藤田 哲二

八丁町 副總代 爲本元太郎

本町區 副總代 田部三太郎

同 副總代 藤田 嘉一

同 副總代 米澤次良造

同 副總代 佐々木九兵衛

同 副總代 山本幾三郎

同 副總代 宗像 健一

同 副總代 新川 浪登

同 副總代 土井 卯一

同 副總代 伴谷 薫藏

同 副總代 上河内徳一

同 副總代 川本 精一

同 副總代 小出 謙造

同 副總代 長谷川米吉

同 副總代 柳田寅次郎

同 副總代 大年 助市

同 副總代 熊谷孝兵衛

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

同 副總代 芥川勘太郎

【通牒】

法令勵行ニ付左記ノ通牒アリタリ

河第一五九號

昭和十年四月四日

廣島縣土木部長

沿海各市町村長宛

公有水面埋立並使用ニ關スル法令勵行方ニ關スル件

公有水面ノ埋立ハ公有水面埋立法ニ依リ地方官ノ免許ヲ受クルル要シ又公有水面使用並土木工事ハ明治四十年十二月縣令第五十八號公有水面埋立法ニ依リ自然消滅ハ並明治四十一年二月縣令第八號土木工事出願規則ニ依リ許可ヲ要シ候處近時之等法令ニ違反シ免許又ハ許可ヲ受ケズシテ埋立ヲ爲シ又ハ使用並土木工事施行セルモノヲ往々發見致シ取締上甚タ遺憾ニ存シ候ノミナラス其ノ結果之等違反者モ行政處分其ノ他ニ依リ著シク苦境ニ陥ルモノ亦尠カラズ存セラレ候ニ付テハ爾今之等工事並使用ヲ爲サムトスル者ハ必ス事前ニ必ス法令ニ依リ手續履行セシメ違反行為無之様之方法令ノ周知並勵行方ニ關シ一層徹底力ヲ煩シ度及照會候也

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

追テ違反行為者ヲ發見相成リタル場合ハ速ニ其ノ要領ヲ御報告相成度候

各市

川崎市では昭和九年度豫算に市財政の緩和を計るため製鐵業奨励法により日本鋼管、日本製鐵、富士製鐵三會社に對し免除された營業收益税、所得税、家屋税の附加税に代る特別税「製鐵業税」を設定し約八萬四千圓の財源を得るため、かねて内務、大藏兩省に申請中であつたが、同税は既に室蘭市においても許可されてゐるので特に川崎市の向ふ五ヶ年間賦課に對し取りおへず一年度分を限り認めることに決し、左記附帯條件並に税率更生の上内務、大藏兩省から三月二十二日日本縣知事宛許可の指令を發した。

一、免除部分に相當する地方税、家屋税の算出方法及び家屋税免除額を標準として賦課するもの、賦課期日についてはその定めなきを以て條例中に定めしむること

二、本税中營業收益税免除額及び所得税免除額を標準として賦課するものについて

は、昭和九年度中に事業年度の終了する部分につき之を適用し、家屋税免除額を標準とし賦課するものにつき適用すること

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

税率の更正

めであるから、経済記事の理解に熟達するには、これらの障碍を克服すべきことを系統的に解説する。即ち前掲「経済記事への入門」なる項目の下に記述せし所を詳述することとなる。(續)

事業報告書、決算、豫算と附議せる観光協會總會

廣島観光協會總會は四月二十三日午後一時から市廳參事會室に開催、大要左の如き昭和九年度事業報告書、同決算、昭和十年度豫算案等を審議し、夫々可決又は承認して議事を終り、會員の希望意見の開陳や體験談等があつて午後四時散會した。

1、昭和九年度事業報告書

昭和八年度は協會創立の年にして事務を開始したるは十月、從つて事業意の如く抄らず補助金の交付亦年度末なりしため、遂に七百餘圓を本年度に繰越すの止むなきに至れり。然して本年度に於いては觀光客最も多き陽春の候殊に港灣協會總會の開催もあり、勞々本市紹介宣傳のため新年度に入るや直ちに觀光案内圖繪其他を作製各方面に配布せり。然して十年春期を迎へては本市に國防と産業の大博覽會及び同時に各種全國的大會が開催せられ、本市に於いても亦酒造大會等あり、本市史蹟名勝其他各般の紹介宣傳上絶好の機会たるを認め、九年度事業獎勵金の交付を俟ちて第二回目的印刷物を發行し、海田市驛附近に大立看板を建設すると共に他面旅館従業員を集めてサービス講習會を實施せ

濟記事への入門	一八圓
神戸観光博覽會參加費	一〇〇圓
日本旅行協會會費	五〇圓
合計	一、五六六圓六三
註	
1、ホ項展覽會とは廣島縣産業獎勵館主催縣下史蹟名勝寫眞展及大阪商船主催瀬戸内海及紀州展(京都大丸、大阪三越に於いて開催)	
2、リ項海田市驛附近設置の立看板は建設費、地代合して二百圓なるも東西旅館業組合百圓を負担せり。	
3、案内所費	七六圓八〇
觀光案内所は經費の關係上廣島商工會議所と協力し廣島驛前廣島特産館二階及三階を使用して十二月一日開設せり。	
4、土産品展覽會費	一〇〇圓
廣島市農會、同畜産組合、同水産會と共同主催の下に十二月廣島縣産業獎勵館に於いて開催し本會百圓を負担せるものなり。	
事業費支出總額	一、七四三圓四三
2、昭和九年度決算	
收 入	
一、會費	三〇〇圓
二、補助金	九五〇圓
三、雜收入	八圓九七
四、繰越金	七四九圓三四
合計	一、〇〇八圓三一
支 出	
一、事務費	一一二圓四四
二、會議費	二圓五〇
三、事業費	一、七四三圓四三
合計	一、八五八圓三七
差 引	一、八六八圓三七
翌年度繰越金	一三九圓九四
3、昭和十年度豫算	
收 入	
一、會費	八五五圓
二、補助金	八五〇圓
三、市補助金	一、五〇〇圓
四、會議所補助金	三〇〇圓
五、雜收入	一圓
六、雜支出	一圓
七、繰越金	一四〇圓
合計	二、七九六圓
支 出	
一、事務費	三四一圓
二、備品費	一〇圓
三、消耗品費	五〇圓
四、通信運搬費	五〇圓
五、圖書費	三〇圓
六、旅費	一〇圓
七、雜費	一〇圓
八、會議諸費	一〇圓
九、宣傳費	一〇圓
一〇、案内所費	一、五〇〇圓
一一、事業費	一、五〇〇圓
一二、歡迎諸費	八〇圓
一三、講習會費	一〇〇圓
一四、土産品展覽會費	一〇〇圓
一五、雜支出	一〇〇圓
一六、雜支出	一〇〇圓
一七、豫備費	一三五圓
合計	二、七九六圓

◆教員講習會開催

市内教員研究會では四月十日午後一時から袋町校に於て算術、十一、十二兩日午後一時半から帆町校に於て修身、四月十一日午後一時半から竹屋校に於てそれ〳〵開催した。

◆日本醫學會

四月一日から京大、阪大で開催

昭和十年度の日本醫學會は四月一日を期し各々分科に分れ大抵多数は京大、阪大で開催、全國醫學者の集まるものと極めて盛會裡に終始した。講演の主なるものを擧げると、内科學會で血液疾患の診断及治療法、結核病學會では「肺結核の活動性診断」、傳染病學會は「發疹熱に就て」等の詳細に涉る新所見が發表せられたが、家庭で直ちに取入れられるものや、一般に興味あるものがあつた。其の二三を擧げると、結核疾患及貧血に肝油「〇グラム」乃至「一五グラム」を「トマト」果汁を七十から九十「グラム」(約半合)と共に一日に飲用することが効果ありと推賞せられた。これは肝油飲用者には無論よい事である。又ひどい貧血に對して肝臓を食ふ療法が近來推奨されて居るが肝臓の種

第二回中國四國市長會

四月十一日から三日間

吳市々會議事堂で開催

第二回中國四國市長會は四月十一日から三日間吳市々會議事堂に於て開催、第一日は午前十時十五分開會、渡邊吳市長の挨拶、内務大臣(代議)鈴木知事(代議)後藤都府研究會長(代議)水野吳市會議長、三宅吳商工會議所會頭等の祝辭、各市代表(岡山市長)の挨拶などあつて渡邊吳市長を會長に推薦し、次いで滿洲國皇帝陛下歡迎文起草動議を滿場一致可決、一旦休憩したのち午前十一時再會、吳鎮守府長官に敬意表白の動議を可決、第一回中國四國市長會決議事項の経過報告あつて提出問題の審議に入り、第一問を可決後、殘餘問題全部を委員會附託となし正午近く本會議を閉會、午後一時から國防と産業大博覽會第一會場を視察し午後六時岩越樓の吳市長招待晩餐會に一同參列した。

第二日

午前九時から委員會を開會、同十一時委員會終了、直に本會議開會、各部各委員長の報告あつて各問題につき議決、同十一時半本會議を終了し、午後一時より國防と産業大博覽會第二會場を視察し、午後六時半吉川樓に於ける吳商工會議所會頭招待晩餐會に一同參列した。

第三日

午前八時から一同吳海軍航空隊

- 一、市制第九條市公民ノ要件中ニ市税ノ納付ヲ追加シ尙市税滞納處分中其ノ公民權ヲ停止スル旨ヲ規定スル様市制ノ改正ヲ其ノ筋ニ建議スルコト(可決)
- 二、市制第八十三條第二項中「市長ノ推薦ニ依リ市會之ヲ定ム」トアルヲ「市長之ヲ定ム」ト改正スル様其ノ筋ニ建議スルコト(保留)
- 三、納稅施設ニ對シ國、縣ヨリ相當ノ納稅獎勵金ヲ交付セラルベク要請スルコト(修正可決)
- 四、特別稅戶數割算力算定ニ關シ關係法規改正方其ノ筋ニ建議スルコト(可決)
- 五、地方稅ニ關スル法律施行ニ關スル件第二十五條第二項但書「賦課後」ノ解釋取扱ニ付テハ各其ノ徵收期ノ徵稅令書ヲ發付シタル後ノ義ナリト解シ取扱ヲ爲スコトニ協定スルコト(保留)
- 六、内務、大藏兩大臣ノ許可ヲ要スル市制限外課稅ハ總テ地方長官ノ許可權限トセラル、コトニ關係法令ヲ改正セラレムコトヲ其ノ筋ニ建議スルコト(可決)
- 七、都市計畫ニ伴フ風致地區ニ對シ免稅其ノ他ノ特典附與方其ノ筋ニ建議スルコト(可決)

- 八、市町村稅以外ノ公法收入ノ滯納者ニ對シ延滞金ヲ徵收スル様法規改正方其ノ筋ニ建議スルコト(可決)
- 九、市ニ於テ都市計畫事業トシテ道路ノ新設改築ヲ爲ス場合原則的ニ補助規定ヲ制定セラレムコトヲ其ノ筋ニ建議スルコト(可決)
- 一〇、徵兵旅費中即日歸郷ヲ命ゼラレタル者ノ旅費ハ歸郷スヘキ事實ノ生シタル地ノ市町村又ハ之ニ準スヘキモノニ於テ一時線替支辨スヘキ勅令ノ規定ハ之ヲ改正セラレムコトヲ其ノ筋ニ建議スルコト(可決)
- 一一、滿洲、朝鮮、臺灣等駐屯部隊ニ入營ヲ命ゼラレタル者ノ旅費ハ内地ニ於ケル集合地迄ノ旅費ヲ市町村ニ於テ線替支給シ集合地ヨリ駐屯地迄ノ旅費ハ入營兵受領員ニ於テ之ヲ支給セラルル様法ノ改正ヲ要望スルコト(撤回)
- 一二、毎年調製ノ陪審員資格者名簿ニ基キ抽籤ヲ以テ候補者ヲ選定シ居レラ市長ノ内申ニ依リ選定スルコトニ陪審法ノ改正方其ノ筋ニ要望スルコト(保留)
- 一三、行旅病人及行旅死亡人ノ救護取扱並精神病者ノ監護ニ要シタル費用ハ被救護者ノ所持セル財産ヲ以テ辨償セシメ仍足ラサルトキハ總テ府縣ニ於テ其ノ費用ヲ負擔スル様該法改正方其ノ筋ニ要望スルコト(保留)
- 一四、市ハ市民公共ノ利益ノ爲保險事業ヲ經營シ得ルコトニ關係法令ヲ改正スルカ或ハ特別法ヲ

- 制定スル様其ノ筋ニ建議スルコト(可決)
- 一五、軌道敷内ノ道路トシテノ施設、維持、修繕ニ關シ道路管理セラル、其ノ筋ニ建議スルコト(可決)
- 一六、國立工藝指導所ヲ關西地方ニ一ヶ所増設方商工省ニ要望スルコト(修正可決)
- 一七、國立工藝指導所増設方其ノ筋ニ陳情スルコト(可決)
- 一八、國立園藝試驗場分場設置方其ノ筋ニ陳情スルコト(可決)
- 一九、塵芥處理ニ對シ補助金交付方其ノ筋ニ申請スルコト(可決)
- 二〇、基本財産及特別基本財産(特別法ニ依リモノヲ除ク)ノ處分ニ付テハ監督官廳ノ許可ヲ要セサルコトニ法ヲ改正シ其ノ筋ニ建議スルコト(可決)
- 二一、公債償還期限ノ延長ハ不要許可債トスル様其ノ筋ニ建議スルコト(修正可決)
- 二二、昭和七年九月三十日以前ニ融通ヲ受ケタル預金部地方資金ハ更ニ利率引下ヲ爲スカ又ハ經由貸ヲ廢止セラレムコトヲ要望スルコト(可決)
- 二三、低利資金ノ利率引下以前ニ供給ヲ受ケタル資金ノ利率ヲ現行ノ利率ニ引下方ヲ要望スルコト(可決)
- 二四、所得稅附加稅制限緩和ノ件
- 二五、市會議員補充當選擴張ノ件
- 二六、義務教育費國庫負擔金並尋常小學校臨時補助金増額ニ關スル件(可決)

◆全國結核療養所長會議開催

四月三、四の兩日第十三回公立療養所長會議を大阪府立實業會館に於て内務省高野豫防課長濱野技師臨席のもとに全國二十五名出席、主催者加々美大阪市長の開會の辭に開會、内務大臣の諮問(結核療養所と結核、豫防相談所との連繫)に對して答申次で高野豫防課長より本年諮問事項結核療養所退所患者保護に就て詳細説明の後各所長提出の議案一七件に就て二日間に互に審議、四日午後二時開會、後大阪府立療養所(刀根山病院)補助健康相談所を視察した。

◆第三回全國公立傳染病院長會議開催

四月四日大阪市中之島中央公會堂に於て内務省衛生局防疫官加藤源三氏出席の下に第三回全國公立傳染病院長會議を開催せられたが出席都市三十四、提出案件は合計十九件で慎重討議し極めて有意義に終始した。

高小兒童の選職指導 (二)

第一高等小學校 松葉與一

職業個性と適性

在來の適性判斷は多くは常識の域を脱せず健康、學業成績、性質の良否により適性の可否を決定し、從つてそれらの良きは凡て職業に可とされ、悪しきは適職無きが如く考へられる實情に在り最近の能力テストに於ても往々に末梢的能力テストに於ても往々に人との具體的合理的一致は行はれず、かくて轉職の弊は今日も尙多く見られるのである。

かゝる欠陥を解消するには職業の個性と求職者の能力とを科學的に研究調査し職業個性から要求される適性と、求職者の適性能力との合理的な一致を計るべきである。かくしてこそ具體的に生きた職業と人との契合が見出され職業を通じて實現の文化活動がなされ天職に就き得て轉職の弊も除かれ産業の根本的合理化ともなるのである。

例へば職業個性から要求される適性は夫々異なり飛行家に於ては健康、智能、判斷、注意、共應動作沈着、膽力が必要であるに對し銀行員に於ては健康、智能、珠算、習字、作業速度、正確、根氣、綿密、社交性が必要とされその同一性質に於ても職業如何によつて輕重があり、しかも一職業の適性間

將來ある職業を選べ 將來見込み少く職業は假へ適職たるも選ぶべきでない、例へば

社會情勢の考察

上述の如く合理的に選職せし適材適所の理想的希望職業も其の實際就職に當つて經濟界の情勢、勞働市場の求人狀況如何によつて制約せられ且極端なる求職者と實際求人との不均衡例へば男子の職工女子の給付、事務見習希望者が求人數に十倍、男子の小店員、女子の女工、女中が沸底し勞働市場の需給關係が一致せず高卒兒童には今日尙就職難の状態が現存して居る。

されば勞働力の需給關係の調節を計り適性の許す限り就職可能な職業を選ばしむることが最も現實的である、唯一絶対の希望職業は理想であつても現實性之なきものなれば共通性を有する數種の職業を選び、第一、二、三希望となし多方面に互ることが就職可能な選職である。

職業精神の涵養 前述の如く理想的に合理的に選職せしめることが教育的職業指導として肝要であるが實際問題として家庭の境遇、社會の情勢により適材適所の理想的職業に就くことが不可能の場合も多くなるとなれば如何なる職業に就き如何なる境遇に陥るとも刻苦勉勵、難關突破の旺盛なる生命力を涵養し堅忍不拔の職業精神を陶冶することが高小職業指導の主眼であり同時に選職指導の根幹をなすものである。(完)

消化器病研究會第九回總會開催

四月五、六兩日京都市京都帝國大學醫學部解剖學教室講堂に於て消化器病研究會第九回總會を開催せられた多數の研究演題の發表があつたが就中京都府立醫科大學教授塚直彦博士の特別講演「糖尿病の病理並に治療に關する一考察」は非常に興味深い參考資料であつた。

第七回聯合衛生學會總會 四月一日より三日迄大阪帝國大學部内に於て連日午前九時より午後四時迄研究發表並に討論が行はれ甚だ盛況を呈した。主要なる研究發表は北海道帝國大學衛生學部研究室の過去數年間の研究になる「空氣イオンの生體に及ぼす影響」臺灣總督府中央研究所の「赤外線の衛生學的的研究」及び京都帝國大學衛生學部研究室の「衣服氣候に關する研究」等であつて其の他九十六題に互の研究發表があつた。

第八回都市衛生試驗所所管會 本會加盟都市は從來六大都市に限られて居たが本年度から全國都市を包含し、四月四、五兩日神戸市主催で同市醫師會館で開催、各市よりの出席者十四名勝田神戸市長の挨拶あつてのち議事に入り 各市より提出したる問題十八題、本市よりのもの四題を夫々

有熱兒の發見及其の處置 (一)

楠那校 辻 政 人

一、緒言 二、有熱兒發見方法 三、有熱兒に對する處置 四、實施成績 五、總括

兒童の疾患に對し本人、保護者並教師の何れも之を知らず學習運動其の他日常生活に疾患増長の機會を作り重患に陥らしむる實例は世間では少くない、教育上重大なる問題と思ふ。

本校で昭和六年以降繼續的施設として兒童の身體的異常を早期に發見し發病の防止に努めて來たが以下其の方法を述べよう。

Table with 5 columns: 第一時限, 第二時限, 第三時限, 第四時限, 第五時限. Rows include 木, 水, 火, 月, 第一表, 第二表, 第三表, 第四表, 第五表.

Table with 4 columns: 項目, 有熱兒, 無熱兒, 備考. Rows include 睡眠時間を充分ならしめた, 夕食後の間食を禁止, 食事の咀嚼を充分にすること, 日光浴を奨勵, 打診音低下, 甲狀腺肥大, 氣管枝カタル, 脊柱骨第三四打痛, 肩胛間水泡音聽取, 鎖骨窩水泡音, 口角糜爛, 心音不純, 咽喉カタル, 血管透視, 筋肉薄弱, 扁桃腺肥大, 以上の結果を考察するに學校職員のみでなし得る範圍の本施設が全職員の繼續的努力によりて兒童の健康恢復は勿論、生命の危機を未然に防止するを得るのは誠に欣快と思ふ。

Table with 3 columns: 書名, 著者名, 備考. Rows include 討論し東京市提出の「殺菌力試驗法」を一ヶ月間宿題とし各市で研究する事となし、他は議して東京市ほか二市よりの業績及調査報告二件は時間の都合で閉會書を以て報告する事にして閉會議題及報告中には都市衛生上重要なるもの多く協議事項中「工場施設及従業員衛生改善に就て試験所より指導すべき事項」及「學校給食の指導及實施に就て」等は各市より實況の報告意見の開陳あり熱心に討議せられた。

高	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一	八二	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	一〇〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

第十一回千田祭々典

四月二十三日盛大に舉行

第十一回千田祭々典は祥月命日一十三丁目男爵銅像横に造営された四月廿三日午前十時から宇品町一御靈安置所で横山市長祭典委員長となり池田神田神社々掌司祭のもとに諸神事を終了したが東京よりわざわざ来廣せる千田家當主嘉平男爵を始め小磯師團長、田島部附少將、荻洲旅團長、河田運輸部長、松瀬廣島郷軍聯合分會長、松本貴族院議員、宇品校児童並市民多数の参加があり非常に盛大であった、午前十一時からは廣慶中学校講堂に於て祝宴を開催、午後は角力銃術、萬歳などの餘興あり附近は終日賑ひを呈した



第十一回千田祭々典は祥月命日一十三丁目男爵銅像横に造営された四月廿三日午前十時から宇品町一御靈安置所で横山市長祭典委員長となり池田神田神社々掌司祭のもとに諸神事を終了したが東京よりわざわざ来廣せる千田家當主嘉平男爵を始め小磯師團長、田島部附少將、荻洲旅團長、河田運輸部長、松瀬廣島郷軍聯合分會長、松本貴族院議員、宇品校児童並市民多数の参加があり非常に盛大であった、午前十一時からは廣慶中学校講堂に於て祝宴を開催、午後は角力銃術、萬歳などの餘興あり附近は終日賑ひを呈した

體温の上昇に伴ひ脈搏も亦増加することは周知のことであるが本材料に於ても同様で持続的有熱兒は一般に脈搏多い、但し稀には健康兒中にも脈搏多いものもあつた、第三表は有熱兒及健康兒の昭和八年度一ヶ年間の體温及脈搏數の平均數値である。
一、有熱兒と體温増加
二、有熱兒の體温増加は健康兒に比して少ない、健康兒に於いては夏季體温増加を見るも有熱兒に於いては其の増量少なきか又は減少するものが普通である。(未完)

第三回中國四國市會議長會議

四月九、十兩日吳市に於て開催

第三回中國四國市會議長會議は市長會に先立つて四月九、十の兩日午前九時から吳市々會議事堂に於いて開催されたが第一日は午前中は會議をなし午後は國防と産業博覽會を視察して午後六時岩越樓に於ける吳市會議長の招宴に一同列席、第二日は午前中は會議、午後は吳海軍航空隊、吳海軍工廠、吳海軍々需部を視察して午後六時吉川樓に於ける吳市長の招宴に參與した。
〔提出問題〕
一、都市計畫ニ伴フ風致區ニ對シ免稅其ノ他ノ特典附與方其ノ筋ハ建議スルコト
二、市町村立實費診療所補助ノ件市町村立實費診療所ニ對シテ其ノ經營費ノ三分ノ一以上ヲ國庫ヨリ補助セラレムコトヲ建議スルコト
三、地方財政救済ニ關スル件
四、大正九年四月勅令第八十二號ニ依リ國ヨリ地元團體ニ下付セラルコト
五、次回ノ會合ヨリ自治行政上又ハ人格修養ニ關シ有力ナル人士ヲ招待シ其ノ講演ヲ聽ク様ニ「プログラム」ヲ編成ヲ爲スコト
但シ其ノ人選其ノ他ハ一切開催地ニ一任スルコト(研究案)
六、市會傍聽人取締ノ爲傍聽券發行ノ可否如何
七、中國四國各市ノ市會々議規則及傍聽人取締規則ヲ統一スルノ可否如何(研究案)
第二回中國四國市會議長會議ニ於テ保留トナリタル問題
一、選舉資格ニ關スル件
確定名簿ニ登録セラレタルモノハ犯罪ニ依リ失格スルモノノ外投票ヲナシ得ルコトニ規定改正其ノ筋ニ要望スルコト

全國高等女學校實科高等女學校ニ關スル諸調査・昭和八年十月現在
東帝國大學一覽(昭和十年度)
教育ノ地方主義
東帝國大學
教育學講義
現代作家ノ人及作風
川島益太郎
朝鮮語ノ先生
支那語獨習全書
和文佛譯ノ根底ヨリ
佛蘭西語文法講義
佛文解釋法
初等獨逸語獨習書
獨逸文法講義
獨習佛蘭西語新講
和文獨譯ノ秘訣
獨逸語發音辭典
東遊雜詠詩集
新釋十訓抄
新釋奧ノ細道附芭蕉文集
文章讀本
新英和大辭典
英文法研究ノ力
第六十七回帝國議會ニ於ケル廣田外務大臣演說
一、歴史・地誌
新義西洋史
地學辭典
義經記詳解
坂本龍馬
推理的日本地理學提要
文藝復興史ノ研究
朝日
融溪

紀州	最新東京市全圖	鐵道省
	大阪城悲劇ノ真相	小林芳馬
	朝鮮事情・昭和十年	朝鮮總督府
	詳解蒙求	阿本優太郎
	菊池九郎先生小傳	谷川虎次郎
	人文地理學研究	小川琢治
	河村瑞賢傳	國立正吳編
	遊於處々	中里介山
	新露西亞風土記	大竹博吉
	歷史上ヨリ觀タル臨終ノ心境	澤田順次郎
	世界地名大辭典	小林房太郎
	一、法制・經濟・社會	
	經濟風土記	大阪毎日新聞社編
	東海關東ノ卷	
	東北ノ卷	
	四、國ノ卷	
	武家時代社會ノ研究	牧野信之助
	憲法ノ歴史的研究	鈴木安藏
	サガレンノ思ヒ出	露・ロバース
	生命保險ニ於ケル疑疾特典	中村喜代嗣
	出生出生死産及乳兒死亡統計	恩賜財團愛育會
	國勢調査報告・昭和五年	內閣統計局
	日滿兩國ノ特殊關係ニ就テ	筑紫熊七
	二宮尊徳研究	佐々井信太郎
	財務行政ノ下卷	松隈秀雄
	風俗史ノ研究	櫻井秀
	第十次農林省統計表・昭和八年	農林省
	一、理學・醫學	
	動物學辭典	谷津直秀編
	科學ト應説	佛・ポアンカレ

生活改善會

第三回花嫁學校五月から開設

本年は書道華道の二科目を増設大いに新味を加ふ

廣島社會事業婦人會生活改善部では一昨年時代の要求に應じて花嫁學校を開設、結婚適齡期の令嬢達の爲に新時代の花嫁として必要な科目の講習をなし、市民より多大の歡迎を受け豫期以上の成果を収めて居るが、本年は十一月に亘り書道華道の二科目の講習をなし今迄一般家庭で非常な費用と多くの時間をかけて居たのを除き更に隨時科外としての家庭法律、時事經濟、文學(俳句其他)衛生講座と常識講座を加へたが共に非常な好評を得ることと思ふ。
尙講座の日割を示せば次の如くである。

(各月共第一・二・三・四の日曜日)

月	時別	科目	準備品	講師	場所
五月	午前八時	華道	筆、墨汁	大内秀山先生	大手町小學校
	午後二時	華道	鉢、新田行太先生	大手町小學校	
	午後四時	料理(和食)	エプロン、試験食用皿、箸	和氣清先生	大手町小學校
六月	同	華道	同	同	同
	同	華道	同	同	同
	同	華道	同	同	同
七月	同	華道	同	同	同
	同	華道	同	同	同
	同	華道	同	同	同

戶籍研究會

四月四日吳市に於いて開催

廣島地方裁判所管内市町村戶籍事務取扱者の戶籍研究會は第一回は四月四日午前十時から吳市東本通小學校に於て開催、參會者約四百二十名で定刻竹内區裁判所監督判事の開會の辭に次いで淺沼廣

紀州	最新東京市全圖	鐵道省
	大阪城悲劇ノ真相	小林芳馬
	朝鮮事情・昭和十年	朝鮮總督府
	詳解蒙求	阿本優太郎
	菊池九郎先生小傳	谷川虎次郎
	人文地理學研究	小川琢治
	河村瑞賢傳	國立正吳編
	遊於處々	中里介山
	新露西亞風土記	大竹博吉
	歷史上ヨリ觀タル臨終ノ心境	澤田順次郎
	世界地名大辭典	小林房太郎
	一、法制・經濟・社會	
	經濟風土記	大阪毎日新聞社編
	東海關東ノ卷	
	東北ノ卷	
	四、國ノ卷	
	武家時代社會ノ研究	牧野信之助
	憲法ノ歴史的研究	鈴木安藏
	サガレンノ思ヒ出	露・ロバース
	生命保險ニ於ケル疑疾特典	中村喜代嗣
	出生出生死産及乳兒死亡統計	恩賜財團愛育會
	國勢調査報告・昭和五年	內閣統計局
	日滿兩國ノ特殊關係ニ就テ	筑紫熊七
	二宮尊徳研究	佐々井信太郎
	財務行政ノ下卷	松隈秀雄
	風俗史ノ研究	櫻井秀
	第十次農林省統計表・昭和八年	農林省
	一、理學・醫學	
	動物學辭典	谷津直秀編
	科學ト應説	佛・ポアンカレ

職業紹介所長事務打合せ

四月十四、十五の兩日吳市で開催

岡山地方職業紹介事務局管内職集に関する件「海軍工廠見習職夫業紹介所長事務打合せは四月十四、十五の兩日午前十時から吳職業紹介所に於て開催「海軍工廠職夫業紹介所長事務打合せは四月十四、十五の兩日午前十時から吳職業紹介所に於て開催」

廣聯管内市町村兵事係

兵事研究会開催

縣下市町村の兵事係の兵事研究会 小學校に於て開催したが出席者は四月二、三の兩日、吳市若方 縣兵事課員、廣島聯隊區司令部職



迄日一十月六らか日六月四は痘種期定の市本期定の年本がゝるらせ行施り互に間日六十六大は員係の名數で名餘千三萬二は者當該痘種るゐてけ續を闘奮の童

員廣島聯隊區管内市町村並警察署兵事主任者百八十六名で第一日は動員召集兵籍關係事務、第二日は徴兵關係事務の研究並本年實施せ

第二十九回縣下産業組合大會

四月八日吳市に於て開催

第二十九回縣下産業組合大會は四月八日午前十時から吳市五番町小學校に於て開催したが、定刻國歌斉唱、詔書奉讀、開會の辭、告辭、表彰式、祝辭、縣下の辭、午後四時散會した。

縣稅事務主任者會

四月十三日縣廳に於て開催

廣島縣主催縣稅事務主任者會は四月十三日午前十時から縣廳に於て開催したが今回廣島縣下各市の稅務從事者並廣島縣稅務課員を以つて廣島縣市部稅務協會を組織し、直ちに會則の制定並司者の昭和十年度歳入出豫算の議決あつた後上六、財產差押調査ニ關スル件、七、縣稅臨時検査ニ關スル件があつて午後四時散會した。

第五師團吳市共同主催

第五師團管内都市青訓振興協議會開催

第五師團吳市共同主催の第五師團管内都市青訓振興協議會は四月十、十一の兩日午前八時から吳市岩方尋常小學校に於て開催されたが青年訓練所主任並指導員等約二百名出席 定刻田島少將、渡邊吳市長の挨拶あつて吳市青年訓練の紹介、各

進化思想 高等數學概要 分析化學 一般細胞學 物理學計算法學と方考へ方解キ 臨牀骨折及脱臼ノ處理 仙家秘訣無病長生法 川合 清丸

建築施工法 小形 政一 機械工作法講話 藤野 準等 日露戰役三十年非常時ニ對スル我等國民ノ覺悟 陸軍省 國際情勢ト海軍々縮會議 農村ト電氣 海軍省 寫眞日本軍艦史 福田一郎編 帝國及列國ノ陸軍 陸軍省 美術諸藝 小田平義編 人形讀本 日本人形研究會 音樂ノ鳥獸 堀内 敬三 銃獵ト犬 小林 信三 ヲアトローボール 川口 英明 ランニング 佐々木 等 高木立體圖學 高木 剛三 彫塑ノ手ホドキ 長谷川榮作 圖案文字ト圖案資料 島田正夫編

産業・交通・通信 水産製造學 木村金太郎 宣傳販賣術 清水 正巳 原色日本海藻圖譜 東 道太郎

批杷栽培法 池田 憲司 多肉植物ノ培養 長岡 行夫 理論實際園藝食品加工法 古市 誠 林業簿記及收益評定論 島田 錦藏 金屬及合金ノ腐蝕ト防蝕法 加瀬 勉 趣味ト實用蔬菜ノ研究 喜田茂一郎

傳染病患者數月報 (三月三十一日現在)

Table showing the number of infectious disease patients by month and gender. Columns include disease names (e.g., 赤痢, 疫痢, 腸チフス), current patients, deaths, and cumulative totals.

Table showing the location of patients (e.g., 船廣, 船衛, 船其, 船自). Columns include location names and patient counts.

Table listing various commodities and their prices. Items include rice, flour, oil, and other goods. Columns include item names, grades, and prices.

託兒事業成績 (三月分) table with columns for district (草津, 仁保, 廣瀬, 江波, 楠那, 三條, 合計), sex (男, 女), and various staff categories (職員, 入所人員, etc.).

隣保館事業成績 (三月分) table with columns for district (西東), category (圖書, 兒童, etc.), date, and utilization status (利用状況).

上水道水質検査成績 (二月分) table listing water quality metrics such as temperature, pH, and various chemical indicators.

廣島港出入船舶數並乗降客員數表 (昭和十年) table showing monthly shipping statistics, including ship types and passenger counts.

Market price list table with columns for commodity name (e.g., 鹽, 干鰯), unit, and price.

甲口副議長宅電話開通 電話二、三〇四番

託兒事業成績 (三月份)

所別	區別	性別	人員	入所人員	退所人員	現在人員	出席幼兒	延席幼兒	延席幼兒		
										計	女
草津託兒所			一五	一	一	一七	一四	一	一		
仁保託兒所			四一	一	一	四一	三九	二	二		
廣瀨託兒所			三三	一	一	三三	三二	一	一		
江波託兒所			三三	一	一	三三	三二	一	一		
楠那託兒所			三三	一	一	三三	三二	一	一		
三條託兒所			一八	一	一	一八	一七	一	一		
合計			一五	一	一	一五	一四	一	一		

隣保館事業成績 (三月份)

事業別	區別	館別	日數	利用狀況	
				男	女
託兒		西東	七元	一、〇七三	一、〇七三
圖書閱覽		西東	七元	一、〇七三	一、〇七三
兒童關係		西東	七元	一、〇七三	一、〇七三
講演講習		西東	七元	一、〇七三	一、〇七三
保健衛生		西東	七元	一、〇七三	一、〇七三
慰安娛樂		西東	七元	一、〇七三	一、〇七三
人事相談		西東	七元	一、〇七三	一、〇七三
其他		西東	七元	一、〇七三	一、〇七三
合計		西東	七元	一、〇七三	一、〇七三

上水道水質検査成績 (二月份)

採驗場所	候雨		晴		曇		雪	
	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低
太田川取水口	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七
沈澱池	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七
濾過池	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七
濾過井	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七
淨水池	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七
市給水栓	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七	一三・七

廣島港出入船舶數並乘降客員數表 (昭和十年)

種類	出港		入港		乗客	降客
	汽船	帆船	汽船	帆船		
汽船大	二、六三三	八六六	二、六三三	八六六	二、七九三	二、七九三
汽船小	五、七七八	一、六三三	五、七七八	一、六三三	五、〇七六	五、〇七六
合計	八、四一一	二、五〇〇	八、四一一	二、五〇〇	七、八六九	七、八六九

平均労働賃銀表 (昭和八年)

種類	賃銀
製糸女工	七三
製糸紡績女工	六六
製糸紡績男工	六六
織針製造工	三、七四
縫紉製造工	三、七四
仕盤製造工	三、七四
施盤製造工	三、七四
製革製造工	一、五五
縫製製造工	一、五五
製針製造工	一、五五
漆器製造工	一、五五
洋紙製造工	一、五五
和紙製造工	一、五五
煉瓦製造工	一、五五
硝子製造工	一、五五
金工製造工	一、五五
靴製造工	一、五五
下駄製造工	一、五五
指物製造工	一、五五
煉瓦製造工	一、五五
左官製造工	一、五五
大工製造工	一、五五
雨傘製造工	一、五五
活版製造工	一、五五
製材製造工	一、五五
飲料水製造工	一、五五
罐詰製造工	一、五五
鑄造工	一、五五
鍛冶工	一、五五
鑄造工	一、五五

電話 二、三〇四番
甲口副議長宅電話開通

衛生試験の依頼に應ず

◎ 試験概目

- 咯痰 肺結核は早期に検査して治療を受ければ全治します
- 黴毒の有無 結婚に重大の関係あり血液検査するのが安全であります
- 尿 糖尿病、腎臓病、淋病等が判ります
- 腸チフス及パラチフスの診断 血液、発泡液、糞便、尿等に就いて各時期の検査が必要であります
- 糞便 十二指腸蟲、蟯蟲、蛔蟲卵等の有無が判ります
- 堀井水 飲用、汽罐用等の適否判定
- 鑛泉 療養泉適否判定
- セメント 良否検査
- 牛乳清涼飲料 良否検査
- 酒類其他飲食物 有害品の鑑別證明封緘

廣島市衛生試験所

(電話四九九〇番)

中央職業紹介所事業成績 (三月分)

職別	求人數		求職數		就職數		日傭勞 就職
	男	女	男	女	男	女	
工業及鑛業	一四	三五	一六	七三	七	一九	三六
土木建築	七	一七	三	一三	六	一	六
商業	二五	三五	四	三	二七	三〇	八元
農林業	一	一	一	一	一	一	一
水産業	一	一	一	一	一	一	一
通信運輸	三	一	三	元	二	三	五
戸内使用人	一八	四四	四三	元	一三	一九	四一
雑業	九〇	五二	四	九	一七	七	四六
合計	五三	一〇七	四五	七四	六九	二六	一五

俸給生活者職業紹介成績 (三月分)

勤務先	求人		求職		就職
	男	女	男	女	
官公署	一	一	一	一	一
銀行	一	一	一	一	一
保險會社	一	一	一	一	一
商會社	二	二	二	二	二
工業會社	二	二	二	二	二
鑛業會社	一	一	一	一	一
個人商店	四	四	四	四	四
個人工場	二	二	二	二	二
學校	一	一	一	一	一
新聞雜誌社	一	一	一	一	一
其他	一	一	一	一	一
計	一四	一四	一〇	一三	一五

第九回全國兒童愛護週間

六歳以下乳幼児などはたも受診出来す

趣旨
五月五日を中心とする一週間は全國兒童愛護週間であり、従来は乳幼児愛護週間のみでありましたが、本年からは秋行はれてゐました兒童營養週間、其他兒童保護に關する各種運動を包含した兒童愛護週間となりました。
本會は、永年兒童保護事業に携り、鶴見町には乳幼児保育所を經營し、傍ら此の愛護思想の普及宣傳に専ら努めて居るに鑑み、此の週間は一層有効適切な事業を行はんと茲に前年同様六歳以下のお子様の健康診断をし、醫學的な立場より色々とお相談なり御指導なり致し、度々計畫致しました何卒本會の趣旨のある所に江湖の御贊助を御願ひ致して歎みません。

無料巡回診療

一、期間 自五月二日 約二ヶ月間
至七月二日

二、場所

市内を十五方面區に頒ち各區毎に一至四ヶ所の診療場を設置し詳細は近所の町總代、方面委員、本會役員にお尋ね下さい

三、診療醫

縣病院小兒科 部長 小 山 祐氏
同 同 鉦 村 弘氏
同 同 水 入 た ま の 氏
元 同 久 保 博 昭氏

四、牛乳贈呈

病兒、營養不良兒あるときは必要期間中無料にて牛乳贈呈す

主催 廣島社會事業婦人會
後援 廣島縣・市・社會課

六歳以下乳幼児健康診断日割表

診療期間	受診區域	決定期日	及場所	摘 要
五月一日より	磯町方面	五月二日(木)	磯町小學校	一、日曜日ハ休診
五月四日	仁保方面	五月六日(火)	仁保小學校	一、上記決定ノ外
五月九日	三篠方面	五月八日(水)	大青河崎小學校	其ノ狀況ニ應ジ
五月十日	天満方面	五月十一日(土)	三篠小學校外託兒所	テ場所ヲ増加シ
五月十三日	舟入方面	五月十三日(土)	大青河崎小學校	マス
五月十四日	十日市方面	五月十四日(日)	西隣保館	一、満六歳以下ノ
五月十八日	中島方面	五月十六日(水)	天満小學校	乳幼児ヲ健康診
五月廿二日	宇品方面	五月十八日(土)	神波小學校外託兒所	斷シ榮養不良兒
五月廿七日	己斐方面	五月廿一日(火)	江波小學校外託兒所	ニ牛乳ヲ給與ス
五月三十日	岩鼻方面	五月廿五日(水)	南江波小學校外託兒所	ルニ付受持區域
六月三日	神田橋方面	五月廿九日(日)	廣瀬小學校外託兒所	内ノ該當者ヲ當
六月四日	荒神方面	六月一日(金)	廣瀬小學校	日診察場所ニ集
六月七日	比治山方面	六月三日(土)	宇品小學校	合セシムル様御
六月八日	比治山方面	六月四日(日)	宇品小學校	助力ヲ願ヒマス
六月十一日	比治山方面	六月六日(水)	似島小學校	一、時間 當日午
六月十二日	比治山方面	六月七日(木)	草津小學校	後一時ヨリ診察
六月十五日	比治山方面	六月十日(日)	東隣保館	ヲナス
六月十七日	比治山方面	六月十一日(火)	東隣保館	診察場所ニ集マ
六月二十日	比治山方面	六月十四日(木)	白鳥小學校	ル満六歳以下ノ
六月廿一日	比治山方面	六月十五日(土)	白鳥小學校	乳幼児ニ菓子ヲ
六月廿四日	比治山方面	六月十八日(火)	荒神小學校	増與ス
六月廿五日	比治山方面	六月二十日(木)	尾長小學校	一、婦人會幹事ハ
六月廿八日	比治山方面	六月廿三日(日)	比治山小學校	各受持區域内ノ
六月廿九日	比治山方面	六月廿四日(月)	大田小學校	診察場ニ是非御
七月二日	比治山方面	六月廿七日(木)	千手小學校	手傳下サイ
	竹屋方面	六月廿九日(土)	竹屋小學校	

廣島市報

號二十六第

刷印日八月五年十和昭
行發日十月五年十和昭
號發部一價定
號拾七金年一

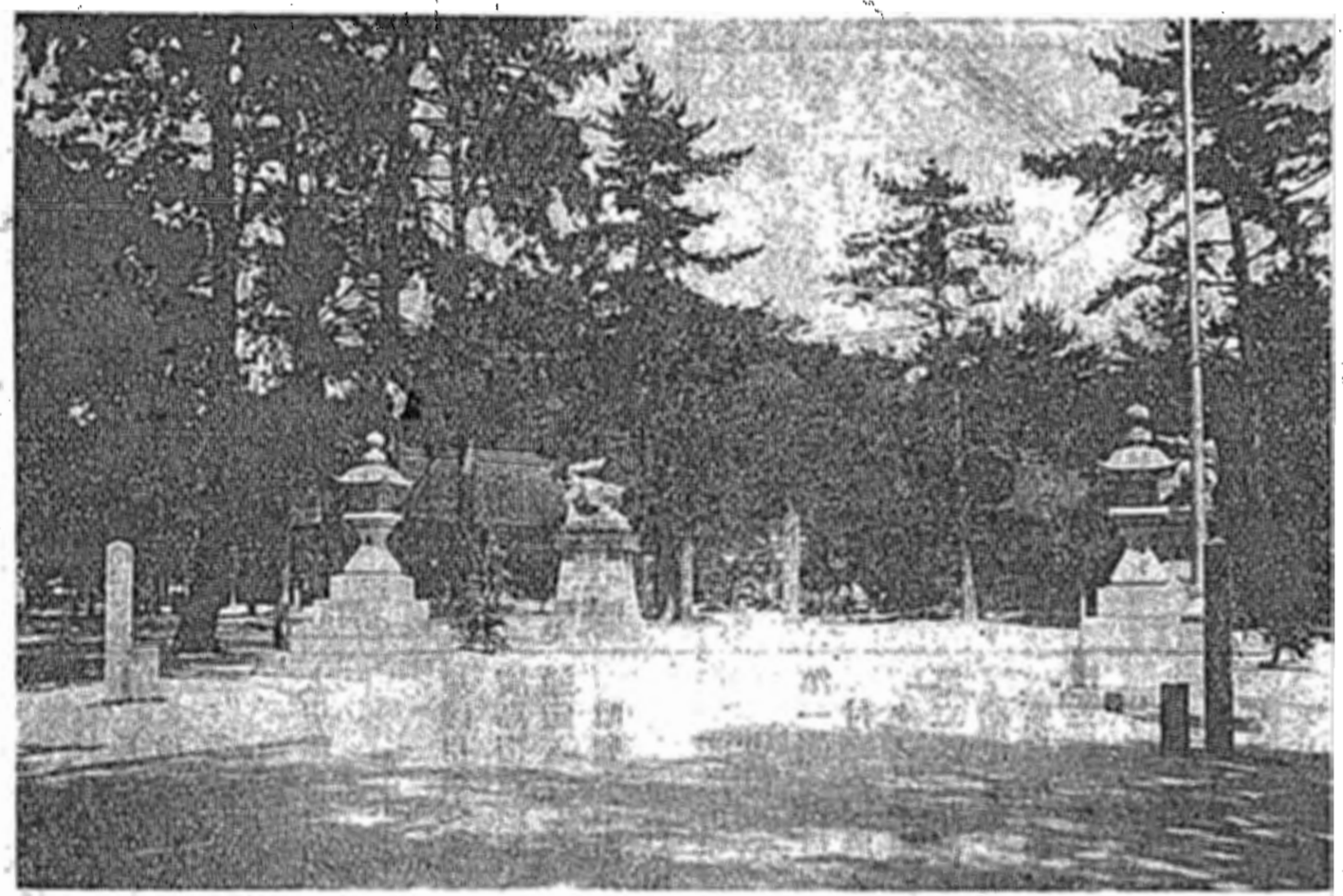
所役市島廣 所行發
人行發
所版活弟兄田増社株 所刷印
地番一日丁七町手大市島廣
雄 計 田 増 哲 刷印
地番一日丁七町手大市島廣

革沿の町

天神町は昔船町と云ひ、河舟海船の繫留の地であつたが毛利氏の開府の後、天神社を吉田から移して此の地に勧請し因つて今の名としたものである。

【目次】

- ◇ 多家神社 一三五
- ◇ 告 示 一三六
- ◇ 公 告 一四〇
- ◇ 彙 報 一四〇
- ◇ 第八回廣島縣方面委員總會 一四一
- ◇ 見本市を通じて山東貿易の梗概を述べ 一四二
- ◇ 第七回全國都市農會聯合會總會 一四三
- ◇ 第四回水道協會中國支部會 一四三
- ◇ 中國四國七縣下職業紹介事務打合會 一四四
- ◇ 縣下公益質屋事務打合會 一四四
- ◇ 縣下市町村縣稅主者會 一四四
- ◇ 廣島縣市部稅務協會第一回總會 一四四
- ◇ 各種統計 一四四
- △ 新裝道路網計畫へ泉都の都市計畫成る
- △ 琵琶湖岸に國立水上飛行場△緑の工場公園と美觀地區△春季廳内庭球大會△炭都を中心の都市計畫



社 神 家 多

廣島の史蹟と名勝(其の八)

多家神社

三月三十一日から四月三日迄四日間皇祖 神武天皇御駐蹕二千六百年記念大祭を厳そかに盛大に執行されたが多家神社は式内の舊社で祭神は三宅大吞氏の祖神であらう新撰姓氏録には天道尼命の裔を大家首といひ諸國に居り屯倉を掌るとある、社は久しく廢してその所を失して居たが明治七年廣島城内稻荷祠の社殿を誰曾遜森に移し建て總社と松崎八幡神社と併せ神武天皇を主神として新たに多家神社と稱し縣社に列るのである。

此の地はその昔 神武天皇東征の行宮で筑紫岡田宮から此處に移り更に吉備高島宮に進みたまつたのである。之を埃宮といふは日本書記の傳であつて古事記には多祁理の宮とある。

【告示】

廣島市告示甲第四六號
道路工事受益者負擔規程第十三條
ニ依り受益者負擔金ヲ賦課スヘキ
工事名及工事施行箇所等左ノ通定

昭和十年五月三日
廣島市長 横山金太郎

昭和七年五月十一日 第三負擔區
昭和七年九月二日 第一、第二負擔區(特別鋪裝ヲ除ク)

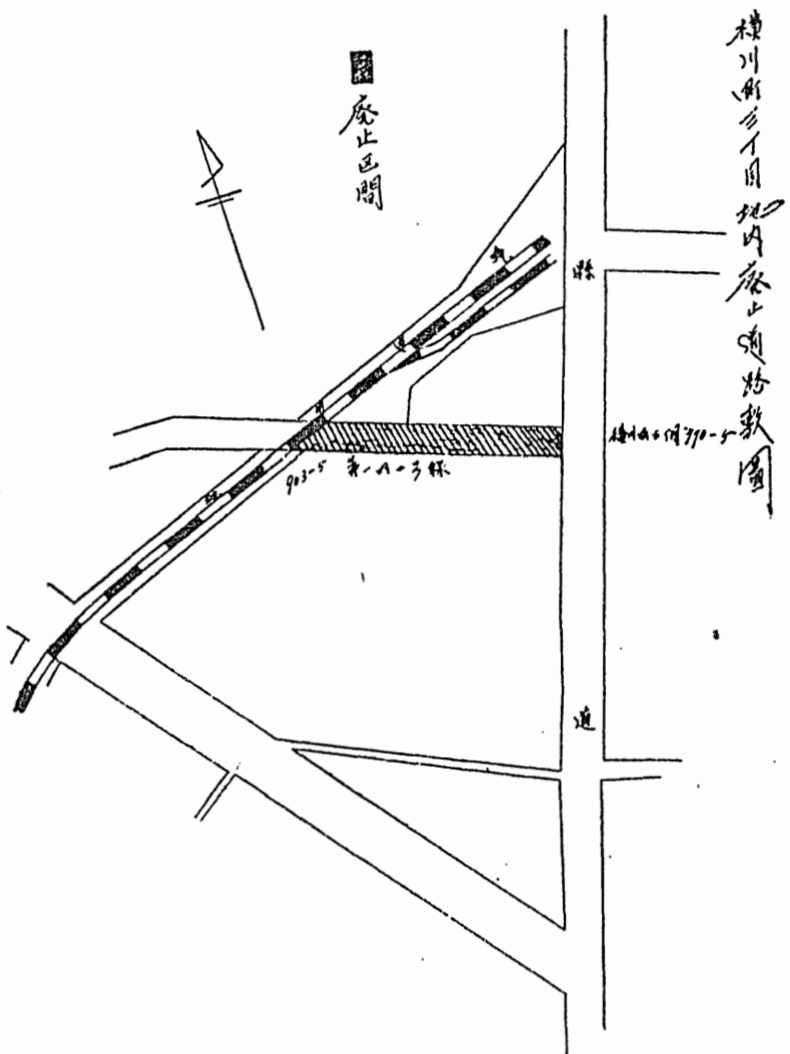
第一負擔區 塚本町四十番地ノ一及四十一番地地先
第二負擔區 塚本町四十七番地地先ヨリ河原町官有五番地(一部)地先ニ至ル間

廣島市告示甲第四七號

左記市道路線ハ一部之ヲ廢止ス
昭和十年五月六日

廣島市長 横山金太郎

Table with columns: 線路名, 起點, 止點, 廢止區間, 延長. Row 1: 第一四二號線, 府縣道廣島松江線廣島市三ノ五地先, 廣島市横川町三丁目迄, 三ノ五地先, 三三〇

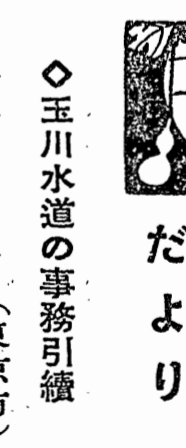


達甲第八號

廣島市雇員傭人ノ範圍ニ關スル件
昭和十年四月二十六日
廣島市長 横山金太郎

時保婦、助手、工手、衛生巡視員、看護婦長、看護婦
守衛、使丁、給仕、電氣工、機關工、運轉手、運轉手助手

各市だより



玉川水道の事務引續

市移管に決定した玉川水道は
會社並株主側の猛烈な反對運動
に拘らず、三月廿三日午

達甲第九號
廣島市雇員傭人給料支給規程左ノ通定
昭和十年四月二十六日
廣島市長 横山金太郎

觀客誘致に努めてゐる金剛山
協會では一箇年一萬五千圓を目
標として會員會費の募集中であ

廣島市財産臺帳並同財産表調製取扱規程

二回以上ニ分テテ支給スルコトヲ得
前項ノ給料支給日休日ニ當ルトキハ順次繰下ク

廣島市財産臺帳並同財産表調製取扱規程

第一條 市有財産(備品臺帳登載ノモノヲ除ク)ハ基本財産ト普通財産トニ區分シ各別ニ財産臺帳(第一號様式)ヲ備ヘ之ニ登載スルモノトス

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
大正九年十二月達甲第十六號臨時
雇其ノ他年末年始給料支給ノ件ハ之ヲ廢止ス

第一號様式丙ノ一(用紙美濃紙)
(但シ本表ノ外ニ本表ニ連續スル分ヲ調製シ丙ノ二トス)

達甲第一〇號
廣島市財産臺帳並同財産表調製取扱規程左ノ通定
昭和十年五月一日
廣島市長 横山金太郎

第一號様式甲ノ一(用紙美濃紙)
(但シ本表ノ外ニ本表ニ連續スル分ヲ製シ甲ノ二トス)

Table for land assets with columns: 所在地, 用途, 字名, 地番, 地目, 面積, 取得年月日, 及原因等事由, 価格, 摘要

Table for work assets with columns: 所在地, 名稱, 構造及用途, 数量, 建築年月日, 及原因等事由, 價格, 摘要

飯塚市 六三、八九五
二瀬町 二〇、三九九
幸袋町 九、九七九
穂波村 三二、〇一六

第一號様式丙ノ一(用紙美濃紙)
(但シ本表ノ外ニ本表ニ連續スル分ヲ調製シ丙ノ二トス)

第一號様式乙ノ一(用紙美濃紙)
(但シ本表ノ外ニ本表ニ連續スル分ヲ調製シ乙ノ二トス)

Table for building assets with columns: 所在地, 名稱, 構造及用途, 棟數, 面積, 建築年月日, 及原因等事由, 價格, 摘要

第一號様式乙ノ一(用紙美濃紙)
(但シ本表ノ外ニ本表ニ連續スル分ヲ調製シ乙ノ二トス)

新築道路網計畫

觀客誘致に努めてゐる金剛山
協會では一箇年一萬五千圓を目
標として會員會費の募集中であ

三月十五日午前十時から福岡
縣廳で都市計畫福岡地方委員會
を開き飯塚市、二瀬町、幸袋町、
穂波村の一市二町一村を一丸と

Table with columns for '第一號様式丁(用紙美濃紙)', '種別', '記帳', '額面', '利率', '及償還', '行取', '取得', '格', '摘要'. Includes sub-tables for '金' and '現' with monthly columns.

備考
一、土地、土地ハ其ノ用途毎ニ別紙トシ地番別ニ区分シ地目及面積ハ土地帳副本ニ登載ノ地目及面積ヲ記載シ併セテ實測面積ニ括弧ヲ附シ記載スヘシ
二、建物、建物ハ一構内毎ニ別紙トシ石造、煉瓦造、鐵筋コンクリート造、木造、二階建、平家建及廊舎、校舎、講堂、倉庫、物置、便所、渡廊下等ノ構造並用途区分ニ別紙トシ面積ハ建坪數ヲ記載シ二階建以上ニ在リテハ併セテ延坪數ヲ括弧ヲ附シ記載スヘシ
三、工作物、工作物ハ土地建物以外ノ工作施設又ハ同物件ヲ指稱シ一構内毎ニ別紙トシ構造及用途区分ニ別紙記載スヘシ但シ軌道、鐵管、鐵柵等所在廣汎ニ互ルモノニ在リテハ其ノ起點ノ所在地ノ外記載ヲ要セス
四、現金又ハ有價證券、現金又ハ有價證券ハ其ノ財產名稱ノ異ルモノニ別紙トシ何レモ相當記載ノ餘裕ヲ存置シ且金員ハ現金、銀行預金、郵便貯金等ニ内譯シ有價證券ニ在リテハ其ノ證券種類毎ニ区分シ且本規程ニ依リ記載ハ昭和九年四月一日現在ニ依リ之ヲ記載シ其ノ起點(沿革)ヲ移記シ置クヘシ
五、各財產ノ價格ハ買取ノモノニ在リテハ其ノ買取價格、建築及建設ノモノニ在リテハ其ノ建築又ハ建設工費、購入物件ニ在リテハ購入價格、債券等乘替ノモノニ在リテハ乘替價格ヲ記載シ市制施行以前ヨリ引續キ所有シ又ハ爾後ノ所有ト雖其ノ買取、購入、建築及建設價格等判明シ難キモノニ在リテハ總テ最近ノ調査價格ヲ記載スヘシ
六、各財產ノ摘要ハ從來ノ沿革及將來ノ參考事項ヲ記載シ尙土地ニ在リテハ賃貸價格、地位等級、公課、免租地成年月日等ヲ、現金及有價證券ニ在リテハ其ノ取得原因及收支ノ事由ヲ附記スヘシ
第二號様式(用紙半紙)
市會(又ハ縣報告)提出財產表調製様式
基本財産ノ部(又ハ普通財産ノ部) 昭和 年 月 日現在
一、土地

委員は三月七日の市會協議會で各派協議の結果市長指名で委員十五氏を決定、これに正副議長を加へて十七名の委員會を設置した。同委員會は三月八日午後一時から第一回委員會を開會、村別交渉委員の額を決定、自動車に分乘して安室、高岡、荒川、手柄、城南各村役場を訪問、正式に合併交渉を申入れられた。
◆京都の都計成る (別府市)
大京都の百年の大計を畫する別府市の都計畫は内務省に申請中のところいよいよ正式に決定したが三月七日別府市當局の發表によれば
海岸地帯に商業地(旅館、商店街)北部方面に工業地、山の手に住宅地のほかエロ街の特別風紀區域などを設け、特に自然の風光を保存することに留意してある都計畫の根幹をなす街路網は一等大路二線(幅員廿二米)二等大路(第一類)三線(幅員廿一米)同(二類)六線(同十六米)二等(第三類)十七線(同十二米)のほか一等小路幅員九米乃至八米になつてゐる。道路網の重なるものは一等大路別府驛道、東別府驛的ヶ濱間をはじめ、別府驛中津留線、北町野口原線、北町西部橋線、錦町境川線、音羽町上野口線、富士見通線、別府驛境川線、海南寺境川線、妙見山、朝見川線その他廿餘線に上りまゐる。基盤の目的やうな整然たる道路網を實現する

Table with columns for '第一號様式(用紙美濃紙)', '種別', '記帳', '額面', '利率', '及償還', '行取', '取得', '格', '摘要'. Includes sub-tables for '金' and '現' with monthly columns.

備考
一、本表ハ基本財産及普通財産並各種備品毎ニ各別ニ調製スヘシ
二、本表ハ昭和八年本市事務報告書並財產表ニ記載セルモノニ準シ調製スヘシ
三、本表摘要欄ニハ各財産ニ付其ノ管理概況ヲ記載シ追加報告ノ際ハ追加報告ヲ要スル事由ヲ附記スヘシ
ハ追加報告ヲ要スル事由ヲ附記スヘシ
●達甲第一一號
昭和九年七月達甲第七號廣島市旅費減額支給規程中左ノ通改正ス
昭和十年五月四日
廣島市長 横山金太郎
第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
三、本市ト畑質病院間ヲ往復スル者ニ支給スヘキ旅費ハ鐵道賃ノミトシ吏員ニ在リテハ二等運賃實費、雇員及傭人ニ在リテハ三等運賃實費トス
附 則
本規程ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
●達甲第一二號
昭和六年九月達甲第八號助役以下代決事項中左ノ通改正ス
昭和十年五月七日
廣島市長 横山金太郎
第一條中「及課長」ヲ「課長及宇品出張所長」ニ改ム
第六條第二號ヲ「二、所屬職員ノ市内出張並畑質病院へ出張ノ件」ニ改メ第五號ノ次ニ「六、公簿閱覽ニ關スル件」ヲ加ヘ「六」ヲ「七」ニ「七」ヲ「八」ニ「八」ヲ「九」ニ改ム第七條中「四、海難證明ノ件」ヲ削リ「五」ヲ「四」ニ「六」ヲ「五」ニ改ム第十二條 戶籍兵事課長ノ代決事項左ノ如シ
一、戶籍及除籍謄本、抄本交付ノ件
備考
一、寄留謄本、抄本交付ノ件
二、戶籍及除籍謄本送付ノ件
四、戶籍法違反事件通知ニ關スル件
五、印鑑届及印鑑照査ニ關スル件
六、徵兵検査告示ノ件
七、寄留地徵兵受檢者ニ關スル件
八、陸海軍演習點呼ニ關スル件
九、馬籍ニ關スル件
一〇、陸海軍下士卒現役免除並休暇ニ關スル件
一一、軍人結婚ニ關スル件
一二、軍事救護ニ關スル件
一三、現役軍人陸海軍生徒並兵役志願者身上ニ關スル件
一四、徵兵旅費續替支給並拂戻請求ニ關スル件
第二十一條 宇品出張所長ノ代決事項左ノ如シ
一、船員ニ關スル件
二、海難ニ關スル件
附 則
本規程ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
●達甲第一二號
昭和六年九月達甲第八號助役以下代決事項中左ノ通改正ス
昭和十年五月七日
廣島市長 横山金太郎

これが經費は一千万圓を突破するものといはれ市當局では將來都市計畫にもとづき事業を遂行する方針である。
◆琵琶湖岸に 國立水上飛行場(彦根町)
彦根町地先の琵琶湖岸は氣象上その他あらゆる方面から見て水上飛行場の最適地といはれ、さきに民間飛行學校設立を計畫されたともあつたが資金難のためお流れとなつてゐたところ今回一歩進んで彦根地先を中心に松原、北青柳、磯田の各村に跨がる廣大な湖岸に國立水上飛行場を設立要望の機運熟したので三月四日から再開の町會に附議の上町會の決議をもつて貴衆兩院へ請願運動を開始するとともに海軍大臣および帝國飛行協會へも陳情書を提出して實現促進に奔走すべく準備工作が進められてゐる。同湖岸を國立水上飛行場の最適地とする主なる點は國際交通上から見、東亞各國へ最短距離にあり國內的には京都大阪、名古屋三大都府の中間にあつて東海本線をもつて三大都市と僅か二三時間で連絡が出来るなどあたかも東京、横濱、霞ヶ浦の關係と同様である。
また軍事的關係においては三大都市防空上最も重要な中心地點であり、敵襲を防ぐに四面が山であるため高射照明などの設備作戦に適し、八日市陸上機との連絡も便利である。さらに波浪が比較的穏やかだから離着水容易なばかりでなく、淡水であ

ル者愈々カラムトス 吾等任方面委員ノ重責ニ受ケ...

見本市を通じて

山東貿易の梗概を述べ(二)

擬舊正明けの青島は何となく市中をわくとして和やかな気分が...

日本側 富士紡、鐘紡、長崎紡 大日本紡、内外紡、日清紡(既設會社)...

一部事業の着手を見るに至つたが大防湖堤の構築は堺市と海...

第七回全國都市農會聯合會總會

四月二十五日から三日間 吳市に於て開催

第七回全國都市農會聯合會總會は四月二十五日から三日間吳市五...

第四回水道協會中國支部會

四月二十五、六兩日吳市に於て開催

第四回水道協會中國支部會は四月二十五、六の兩日吳市々會議事...

二班に分れて視察、A班は本庄海軍水源地及平原浄水池を、B班...

日本度量衡協會 廣島縣支部總會 日本度量衡協會廣島縣支部第二...

大富山を意義づける 富岩運河の利用 (富山市) 明春の日滿博はグレート、ト...

工場等の會員約二百名召集、來賓として渡邊吳市長、月形同市助、三宅商工會議所會頭、定刺櫻井支部長の挨拶、九年度事業報告、同収入決算承認、支部定款の一部改正其の他會員の意見發表等あり午後五時盛會裡に散會した。

中國四國七縣下職業紹介事務打合會

四月二十五日松江に於て開催

- 四月二十五日午後一時から松江市職業紹介所に於て職業紹介事業協會岡山地方支部理事會を主催、昭和九年度職務報告あつて職業紹介事業關係職員表彰内規等の審議をしたが四月二十六日午前十時から松江市公會堂に於て中國四國七縣下職業紹介事務打合會開催、定刺松江市長の挨拶、岡山地方職業紹介事務局長の訓辭、來賓の祝辭、議長選舉あつて協議題研究に移り終つて事業協會評議員會を開き第一日を終了、第二日は午前八時から職業紹介事業協會總會を開いたのも各協議題研究意見發表などあつて閉會、市内を視察散會した。
- 〔諮問事項〕
 - 一、少年職業紹介に關し聯絡小學校ノ聯絡提携上一層其ノ實ヲ學ブ方法如何(岡山地方職業紹介事務局提出)
 - 〔聽取事項〕
 - 一、女工募集難ノ現況ニ鑑ミ各所ニ於ケル之ガ求職開拓狀況承リタシ
 - 〔各職業紹介所提出案件〕
 - 一、紹介事業ノ國營運動強化徹底ヲ期スルノ方策如何

縣下公益質屋事務打合會開催

廣島縣下公益質屋事務打合會は四月二十三日午前九時から吳市々溝邊社會課長並縣下公益質屋事務關係者三十餘名で縣より左記事項の指示或は注意のあつた後左記事項に就き協議散會した。

- 一、公益質屋ノ趣旨宣傳ニ關スル件
 - 二、入質者ニ對スル應接ニ關スル件
 - 三、質物ノ評價ニ關スル件
 - 四、豫算編成ニ關スル件
 - 五、會計並業務監督ニ關スル件
- 〔注意事項〕

- 一、質屋取締法第六條ニ依ル事項
- 〔揭示ニ關スル件〕
 - 一、利子計算ニ關スル件
 - 二、流質期限ニ關スル件
 - 三、質屋ニ於ケル現金出納ニ關スル件
 - 四、質物整理及保管ニ關スル件
 - 五、資金前渡規程ニ關スル件
 - 六、歲計現金ニ關スル件
- 〔協議事項〕
 - 一、入質者破産其他ノ事情ニ依リ第三者入質物件ヲ差押ヘラナスコト(可決)
 - 二、公益質屋法第五條第二項中但書ノ削除方ヲ要望スルコト(保留)
 - 三、第六條ノ利子ニ一錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨ツトアルヲ端數ハ之ヲ錢位ニ之ヲ繰上クト改正要望ノコト(保留)
 - 四、流質物ノ公賣方法ニ就テ承リタシ
 - 1、質屋ニ於テ實施スルヤ
 - 2、競争入札ナリヤ
 - 3、入札者ノ資格
 - 4、公賣ノ時期
 - 5、缺損補填方法
 - イ、缺損ノ都度補填スルヤ
 - 又ハ年度末ニ於テ補填スルヤ
 - ロ、缺損金ノ種類元利金ハ勿論手數料ヲモ之ニ包含セシムルヤ

野音と塵の中で働く労働者や女工さん達へ題ひのオアシス 縣都計課では縣下ではまだ例のない工場公園新設を計畫してゐる、今迄大きな工場ではその場内の空地にテニスコートなどを設け従業員の健康に注意はして来たが、この設備はどちらかと云へば工場に働く男女工に十分な慰安を與へてゐない嫌ひがある、都計課では先づ最初にあるので、都計課では先づ最初に大きな工場二、三を選び工場内の空地を利用し芝生や緑樹を植ゑ、その中に機械體操や其他の運動器具を配備、職工さんや女工さんの休憩時間や退出時間などを利用して適當に運動も

緑の工場公園と美觀地區(横濱市)

建設の主旨は大分港は東九州最大最良の港灣ですでに港灣施設として縣營で大正四年百四十二萬圓の工費をもつて施工し昭和二年政府は瀬戸内海ならびに豊後水道に臨む海岸唯一の第二種重要港灣として指定、昭和七年五月内務省直轄で總工費百九十九萬圓八箇年繼續工事として着工中のもので久大、豊肥、日豊各線の集中點を占め、滿洲國、支那、南洋に對する商港として開港の必要があるといふにある。

第八回全國衛生主任會

四月十七日横濱市に開催

第八回全國衛生主任會は四月十七日午前十時から横濱市で開催されたが定刺山内横濱市衛生課長の開會の辭、梅津市助の挨拶あつて梅津市助の推薦、終つて山内衛生課長會務並前日(十六日)開會した幹事會の狀況及佐賀市の追加提案を報告して議案の審議に入り次回の協議より内務省の係官の派遣方を内務省に要求することに決定

静岡、福岡、岡山、甲府、京都、大阪、下關、高知、名古屋、奈良、金澤、横濱、八王子

縣下市町村縣稅主者會

四月二十三、四の兩日吳市に於て開催

縣下市町村縣稅主者會は四月二十三、四の兩日午前九時から吳市東本通小學校に於て開催されたが市町村の稅務取扱者等約四百名列席、第一日は定刺谷本吳市稅務課長開會の辭を述べ月形吳市助役の祝辭、上塚庶務課長(安岡總務部長代理)の訓示あつて左記事項の指示に移り午後は國防と産業博覽會を視察、第二日は午前九時から前日に引續き指示事項の

第三十四回全國各市小學校聯合會

四月十五日から三日間 吳市東本通小學校に於て開催

第三十四回全國各市小學校聯合會は四月十五日から三日間吳市東本通小學校講堂に於て全國各市教育課長、視學、小學校長等二百三十五名列席のもとに開催されたが第一日は午前九時三十分開會、開會式後直に議事に入り會務の報告、文部省諮問案の附議あつて建

廣島縣市部稅務協會第一回總會

五月四、五の兩日吳市に於て開催

廣島縣市部稅務協會第一回總會は五月四、五の兩日吳市に於て開催されたが四日は午前十一時開會、谷本吳市稅務課長を座長に推薦、會則並役員決定、次いで會長上塚縣庶務課長、渡邊吳市長、谷本吳

小學教員の珠算講習會

五月七日から商業專修學校に於て開催

小學教員の珠算講習會は五月七日から六月八日迄毎週火木土商業專修學校に於て開催して居るがその要項を示せば次の如くである。

▲會期 第一期昭和十年 自五月七日(火)至六月八日(土)

▲講習員 男教員五十名

▲講師 川島良平 同 玉村清一

▲講習時間 (火) 自午後七時四十分至同 九時十分 (木) 自午後六時五十分至同 八時二十分 (土) 自午後八時二十分至同 九時十分

傳染病患者數月報 (四月三十日現在)

Table showing infectious disease statistics for April. Columns include disease names (e.g., 痘疹, 流行性腦脊髄膜炎), patient counts (present, total, deaths), and hospitalization status.

Table showing patient locations and hospitalization status. Columns include hospital type (e.g., 入院, 船場), patient count, and hospital name.

春季廳内庭球大會
本年度春季廳内庭球大會は春風薫る四月二十日午後一時廳内後庭コートに於て出場二十チームに依て幾多のフアインプレー...

昭和十年寄留事件表 (三月份)

Table showing immigration and emigration statistics for March. Columns include categories like 寄留, 退去, 抹消, and counts for various regions.

診療所事業成績 (四月分)

Table showing clinic performance by department for April. Columns include medical specialties (e.g., 内科, 外科, 小兒科) and patient counts.

海軍生徒募集ニ關スル件

昭和十一年度海軍生徒募集 海軍省

	海軍兵學校	海軍機關學校	海軍經理學校
採用員數	二百四十名	八十名	二十五名
年 齡	大正六年四月二日ヨリ大正九年四月一日迄ノ出生者 但シ海軍下士官兵タル志願者ニシテ昭和九年六月廿九日以前入團者ハ大正二年四月二日以後出生者	同 上	大正四年四月二日ヨリ大正九年四月一日迄ノ出生者 但シ海軍下士官兵タル志願者ニシテ昭和九年六月二十九日以前入團者ハ大正二年四月二日以後出生ノ者
學 歴	制 限 ナ シ	同 上	同 上
試驗日期	身體檢查	昭和十年七月下旬乃至八月上旬	同 上
	學術試驗	昭和十年十二月下旬	昭和十年十二月下旬
學術試驗程度	概ネ中學校第四學年第二學期終了	同 上	同 上
出願締切期日	昭和十年六月二十日	同 上	同 上
志願校ノ選擇	海軍兵學校志願者ハ別ニ海軍機關學校ヲ志願スルヲ得	海軍機關學校志願者ハ別ニ海軍兵學校又ハ海軍經理學校ヲ志願スルヲ得	海軍經理學校志願者ハ別ニ海軍機關學校ヲ志願スルヲ得

注 意

- 學術試驗科目
代數、幾何、英語、國語、漢文、作文、日本歷史、化學、物理、口頭試驗
- 志願書類ハ當該志願校ノ海軍生徒採用委員ヨリ交付スルニ付左記宛請求スベシ（郵送ノ場合ハ二錢切手封入ノコト）海軍兵學校生徒志願者ハ廣島縣江田島海軍兵學校海軍生徒採用試験委員、海軍機關學校志願者ハ京都府下中舞鶴海軍機關學校海軍生徒採用試験委員、海軍經理學校志願者ハ東京市京橋區小田原町三丁目海軍經理學校生徒採用試験委員
- 詳細ハ志願書類請求ノ際別ニ印刷シタルモノヲ交付ス

昭和十年戶籍事件表（三月分）

印鑑證明	人民召喚	往復文書	諸屆書返戻	寄留簿謄抄本	戶籍謄抄本	寄留簿其他有手數料	閱分證明	受分證明	寄留留告	抗留留告	錯誤遺漏通知	屆出違反通知	催出抹消	入籍通知	戶籍通知
二、六八	一、五八	一、七四	一、七〇	二、七〇	二、七〇	三、三五	二、三五	一、二五	一、二五	一、二五	九	九	一、六二	一、三〇	二、五〇
手數料五、三〇〇		返受戻理	寄留諸屆	無手數料	有手數料	無手數料	無手數料	無手數料	無手數料	無手數料	無手數料	非本籍人	非本籍人	非本籍人	非本籍人
		一、四四	一、七〇	一、〇〇	四、二〇	八、〇〇	無手數料	無手數料	無手數料	無手數料	無手數料	無手數料	無手數料	無手數料	無手數料

計	其國籍	就籍	戶名	氏名	失及族	廢除	分家	籍轉	後推	家督	隱生	私生子	養子	離縁	死亡	出生																	
																他喪	正更	籍正	籍正	籍正	籍正	籍正	籍正	籍正	籍正	籍正	籍正	籍正	籍正	出生			
																														出生			
二、二四	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	

昭和十年戶籍表（三月分）

滿洲農業移民募集

政府ニ於テハ昭和七年ヨリ九年迄滿洲國へ農業移民トシテ既ニ千三百名ヲ送ツテ居ルガ本年度ニ於テモ全國ヨリ五百名ヲ募集シ本縣ニ對シテハ十名ヲ割當ラレテ居ル其ノ要項ハ次ヲ通りデアルカラ希望者ハ便宜ノ場所ニ出頭考查ヲ受ケラレタシ

一、考查日時及場所

五月二十四日正午 縣廳社會課

五月二十五日正午 福山市役所

五月二十七日正午 雙三郡十日市町役場

二、應募資格

イ、年 齡

徵兵検査終了後滿三十三才迄ノ者

ロ、職 業

現在自ラ農耕ニ従事スルモノ

但シ大工、左官、石工等移住地建設ニ必要ナル

特技ヲ有スルモノハ例外トス

ハ、健康状態

身體強壯ニシテ殊ニ呼吸器病、神経系疾患並ニ

脚氣等既往症ナキ者

ニ、家族關係

成ルベク既婚者ヲ可トス、但シ其ノ家族ヲ招致

スル迄約一ケ年間單獨生活ヲナシ得ルモノタル

コト

ホ、供託金其他

渡滿ニ際シ供託金トシテ一戸ニ付金參拾圓ヲ又

入地後約一ケ年間ノ小遣金ヲ準備シ得ルモノ

移住後郷里ニ送金ノ必要ナキモノ

網 要

廣島市報

號三十六第

刷印日三十二月五年十和昭
行發日五十二月五年十和昭
號三六第
錢拾七金 部一 價定
年一

所役市島廣 所行發
人行發
所設話弟見田増社株 所刷印
地番一丁目七町手大市島廣
堆計田増者刷印
地番一丁目七町手大市島廣

革沿の町

斜屋町 は昔斜屋某が住んで居つたが爲めである。

【目次】

- ◇ 横川新橋 一五
- ◇ 告 示 一五
- ◇ 叢 報 一五
- ◇ 新聞經濟記事の學習 一五
- ◇ 見本市を通じて山東貿易の梗概を述べ 一五
- ◇ 第六回全國方面委員大會 一五
- ◇ 有熱兒の發見及其の處置 一五
- ◇ 昭和十年度海軍志願兵採用者決定 一五
- ◇ 第九回兒童愛護詢問 一五
- ◇ 中央職業紹介所婦人部雜感 一五
- ◇ 聯合婦人會並聯合女子青年團聯合大會 一五
- ◇ 各種統計 一六
- ◇ 臺灣義捐金 一六

△社會局職業課で露天商人を調査△西宮の下水道計畫△大津市の塵埃を推肥に△觀光客の誘致計畫△瀕死の東京市電△公設市場小賣值段表



橋新川横るせ工竣

横川新橋

本橋は廣島市都市計畫事業路線十日市横川線中天満川上流に架せる電車併用橋で工費金五萬二千八百圓、昭和九年九月二十一日着手、同十年三月三十一日竣工したもので設計概要を示せば次の如くである。

- 橋長 六十米
- 幅員 二十米
- 内 軌道 五米六〇(複線)
- 車道 十五米五〇
- 歩道各側共二米二五
- 橋臺 地形杭打の上混凝土造
- 橋脚 六組橋脚杭長十二米防腐蚀注入松丸太一組十二本打滿潮面以下混凝土管にて根卷
- 桁 七連軌道下I形鋼鐵桁其他防腐蚀注入米松角材
- 敷板 米松材全材防腐蚀塗布
- 橋面 シートアスファルト鋪裝
- 高欄 鑄鐵製親柱徳山産花崗石

【告示】
●廣島市告示甲第四八號
廣島市會ノ議決ヲ經廣島市臨時保健事業調査委員設置規程左ノ通定
昭和十年五月二十一日
廣島市長 横山金太郎
廣島市臨時保健事業調査委員設置規程

- 第一條 市制第八十三條ニ依リ臨時保健事業調査委員及囑託員ヲ置ク
- 第二條 委員會ノ組織左ノ如シ
一、市會議員 十一名
二、市長ノ囑託シタル學識經驗ヲ有スル囑託員 若干名
三、農林ノ處理ニ關スル事項
四、衛生ノ處理ニ關スル事項
五、其ノ他保健衛生上ノ施設ニ關スル事項
- 第四條 市長ハ委員會ノ事務ヲ準備セシムル爲幹事若干名ヲ置クコトヲ得
- 幹事ハ市吏員中ヨリ之ヲ任命ス
- 附則
本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 【彙報】**
●町正副總代就任認可左ノ通
(自昭和十年五月十五日)
(至同 五月十五日)
- | | |
|--------|------------|
| 西魚屋町 | 總代 光保熊次郎 |
| 同 | 副總代 橋本正次郎 |
| 上天満町 | 總代 十倉藤四郎 |
| 同 | 副總代 岡本喜代太郎 |
| 木挽町 | 總代 日下 幹一 |
| 同 | 副總代 江南 又一 |
| 横川町二丁目 | 副總代 堀田 才吉 |
| 大洲町 | 總代 水野 辰一 |
| 同 | 副總代 石本孝太郎 |
| 同 | 副總代 徳田 道芳 |
| 胡町 | 總代 尼子 勝吉 |
| 同 | 副總代 小田政次郎 |
| 鐵砲町上組 | 總代 田坂 戒三 |
| 同 | 副總代 今田 壽盛 |
| 藥研堀 | 總代 芦矢 武男 |
| 同 | 副總代 小林爲次郎 |
| 若草町 | 總代 有野前三郎 |
| 同 | 副總代 山高卯太郎 |
| 同 | 副總代 大津久太郎 |
| 比治山町 | 總代 嵐 數一 |
| 同 | 副總代 三村 藤吉 |
| 南觀音町 | 總代 平賀 若次 |
| 一丁目組 | 總代 住村 正造 |
| 同 | 副總代 小田 五一 |
| 山手町 | 總代 大村己之助 |

中國五縣下 國勢調査事務打合せ

中國五縣下の國勢調査事務打合會は五月二十三日午前九時から商工會議所に於て開催されたが定刻島根縣統計課長開會の辭を述べ、内閣統計局松田統計官の國勢調査に關する諸注意並質問應答、左記打合せなどあり午後四時三十分終了、終つて一同商品陳列所、松江城を視察した。

(提出事項)
一、昭和十年國勢調査施行ハ偶々時期ヲ同フシテ縣會議員ノ選舉

縣下職業紹介事務打合せ

五月二十三日午前十時より御郡糸崎町役場樓上に於て第二回廣島縣下職業紹介事務打合會を開催、當日は岡山地方職業紹介事務所より岸廣、第五師團司令部柳屋少佐、吉岡三原町長、吳、福山、廣島、三原、三次、高田郡北部、竹原、糸崎等の各紹介所長及主任、貳拾餘名參集、東糸崎町長座席に着き各紹介所提出の事項につき協議し午後四時散會した。當日決定した廣島市に關係あるもの左の如くである。

各市 だより

◇市電、バス、地下鐵は 期か (大阪市)

大阪市電、市バス、地下鐵とも、數年來五千人の大世帯をかへて赤字にあへいでゐたが、この三月末で總決算する九年度の収入豫算では一躍黒字へといふ躍進ぶりを市民に示すことになつた。

何しろ、その収入超過は最少限度に見ても五十餘萬圓といふのだから期かだ。お話を聞いたらなかつた地下鐵も心齋橋中央部へのデビューと阪急、松竹などの連帶運輸が効を奏し、すでに去る十五日で九年度の収入豫算四十八萬七千四百五十七圓を突破すること一萬圓、月末までは収入超過五萬七千圓(一日の収入見込み約千四百圓)を突破する見込み、市電もスピードアップ、運轉車輛の増加などに皮肉なことは風水害によつて減収と見られたのが逆におびたらしい人が動き、収入豫算千八百六十六萬五千三百圓に對し同日附で千六百七十七萬三千四百五十五圓と迫り残すところ僅かに約十九萬二千圓、市バスは馬鹿にして市内で使ひ古した車のみを廻してゐた新線の市周圍部乗客激増その他で三百四十萬九百三十圓の収入豫算に對し三百三十

新聞經濟記事の學習 (三)
廣島市商業學校商業調査室

三、特設時間における學習(續)
(一)經濟記事に關する特殊知識
經濟記事に關する基礎知識として上述せしところは、經濟記事に關する序論的豫備知識であるが、更に進んで經濟記事乃至經濟面に即した經濟記事學習上、より直接的にその理解を必要とする諸事項を、經濟記事に關する特殊知識として次に解説することとする。

イ、經濟諸統計
經濟界の觀察には統計的觀測が絕對的に必要である。従つて新聞には極めて頻繁に經濟諸統計が引用掲載されてゐる。すべて數學的表示は一見無味乾燥のやうに思はれるならば、決して意味を理解するならば、決して無味どころではなく、知識を正確明瞭にし大に興味を加へるものである。本校に於ては新聞に定期的に掲載される數多の統計中、特に次のものを選んで、その見方を説明してゐる。(括弧内は調査所を示す)

1、毎日掲載されるもの
日銀帳尻(日銀)
市中金利(大阪市場)
手形交換高(大阪交換所)
爲替相場(正金、紐育、上海)
金塊相場(内地、倫敦、紐育)
銀塊相場(内地、倫敦、紐育)
證券相場(大株、廣株、紐育)

重要商品相場
米穀(大阪堂島取引所)
棉花(大阪三品取引所)
綿糸(大阪三品取引所)
生絲(廣瀨取引所)
人絹(大阪三品取引所)
砂糖(大阪砂糖取引所)
豆粕(神戸穀肥取引所)

2、各週掲載されるもの
日銀週報(日銀)
若濱石炭運賃(海運集會所)
太平洋米材運賃(海運集會所)

3、毎月掲載されるもの
對外貿易旬報(大藏省)
4、月二回掲載されるもの
預金部狀況(大藏省)
5、月一回掲載されるもの
全國銀行勘定(大藏省)
全國手形交換高(東京交換所)
全國不渡手形(東京交換所)
郵便貯金現在高(逓信省)
信託財産(信託協會)
國庫現計(大藏省)
國債現在高(大藏省)
事業計畫資本金(日銀)
證券拂込金(日銀)
公社債發行高(興銀)
全國有價證券時價總額(東株)
各種債券利廻(日銀)
主要株式利廻(日銀)
東京卸賣物價指數(日銀)

東京小賣物價指數(日銀)
生計費指數(大朝)
勞働人員指數(日銀)
勞働賃銀指數(日銀)
重要商品生産指數(三麥)
全國倉庫在貨高(倉庫協會)
國有鐵道貨物發送噸數(鐵道省)

ロ、經濟關係諸官廳
經濟界の動きは政府の政策によつて影響されることが多く特に近來の如く國家的統制の色彩濃厚な時勢においては尙更である。そこで經濟記事學習に當つては、如何なる官廳が如何なる經濟部門に關係を有するかについて豫め心得ておくことが便宜である。誠に經濟關係官廳とその關係經濟部門とを列記すれば次の如くである。

大藏省— 銀行の理財、主税、外國爲替、造幣、專賣、預金部等
商工省— 商業、工業、鑛山、貿易等
農林省— 農業、林業、水産、養蠶等
逓信省— 通信、船舶、航空、電氣等
鐵道省— 鐵道
外務省— 通商
拓務省— 外地の殖産事業
ハ、會社、財界人、經濟團體

經濟記事には屢々會社、財界人又は經濟團體の固有名稱が出てくるが、それらについて造詣を持たないならば記事に對する興味を著しく失ふのみならず、場合によつては記事の理解を妨げることさへあるのである。従つて豫め會社、財界人、經濟團體についてその由來、歴史又は經濟界における地位等について一應の解説を與へておくならば經濟記事の學習上大に役立つものである。

1、會社
例へば五大電力會社、六大銀行、或は五大生命保險會社等の如く、各經濟部門における代表的會社についてその營業狀態、資本關係及び重役等について解説する。尙特に資本關係を述べると當つては各會社の財源に對する關係にまで言及しなければならぬ。

2、財界人
財界の元老、重鎮、中堅或は新進と呼ばれてゐる著名實業家について、その經歷、關係事業、財界における地位勢力等に關し解説する。尙進んでその背景をなす閣僚、又は學問關係等について言及するならば一層興味深いものである。

3、經濟團體
例へば紡績業における大日本紡績聯合會又は砂糖業における糖業聯合會の如く各經濟部門にはそれぞれ經濟團體が組織されており、又全國産業團體聯合會或は日本商工會議所等の如く全經濟部門に關聯する經濟團體も存在するのであるが、今日の經濟界における諸活動はこれら經濟團體を通じて決定されることが多

◇東京市商工相談所開設
多年懸案であつた東京市商工相談所は愈々開設の準備が出来て東京市産業局商工課内に於て其の事務を開始することとなつたが近時社會經濟の發達に伴ひ生産配給並金融の各面に涉つて或は經營技術上或は經營組織上に絶えざる進歩發展が遂げられると共に他方各國間の經濟的取引は益々多岐となり一般商工業經營者は廣汎で且つ專

いのであるから、これら團體の組織及び機能について豫め熟知することは、尙經濟學學習上必要である。尙經濟學學習を必要とするに當つては、セメント聯合會に對する小野田セメント、或は燐酸肥料工業組合に對する多木肥料の如く、有力なるアウトサイダーについて、も言及すべきである。

二、商況面の定型性と相場用語

經濟記事の中で最も親しみにくいのは商況面即ち相場面であると思はれるが、商況面こそ實は經濟記事のエッセンスであつて、今日の價格經濟の生きた鏡ともいふべきものであるから、直接投機取引に關してゐない者でも、此の面の記事には關心を拂ふべきである。併し乍ら此の商況面に親しむためには、その基本的豫備知識として取引所取引の理論と専門語との素養が必要であつて、これについては商業學科の正規の授業時間に於て學習するのではあるが、それだけでは一般に未だ商況面は讀みにくいものである。そこで幾分でも商況面への接近を容易ならしめるために此の特設時間において、更に加へて次の諸點を解説するのである。

ち形式の單純性を會得するならば商況面を頭から複雑難解視して徒に嫌惡忌避する誤つた先入主は相當緩和しようと思ふのである。而して商況面の記事の種類は何の新聞でも大體次の如く分つことが出來又その掲載位置は各新聞毎に一定してゐるものである。

見本市を通じて 山東貿易の梗概を述ぶ (其の三)

青島支那商は多年の商習慣に依りて専ら大阪川口の華商と取引して居る、そこで直接邦商とは常用買居る、若くは餘程採算上有利でない取引しない、乍併我が在留邦商に於て隱忍自重し銳意華商顧客の吸集に努めたる結果は今や相當牢固なる地盤を獲得するやうになつた。應て各實共に日支關係好轉すれば彼等邦商側の將來は茲に輝かしく約束せられることであらう。現狀から言ふならば内地より進出せる邦商が直接華商と取引を開始せんとすれば其處には言語不明に依り意志の疎通を缺き、土地の習慣に通ぜず市場氣配の機微に觸れず而して日々の銀價の變動詳かでないし且信用状態も不明である等

料の提供、例へば海外經濟電報等
(5) 將來の相場變動の豫測
(6) 市場見聞雜觀
2、相場用語
大體取引所關係の用語には法規上又は學問上の用語と取引市場に於て支人筋で傳統的に慣用されてゐる特殊の相場用語とがあるが、商況記事にはこの相場用語が相當に使用されるのであるから、この用語に通じておくことは大に便利であることは云ふ迄もない。(續)

種々なる障害なり危険が伴ふから何うしても居留邦商を通じて取引するのが最も安全である様に考察せられる、最も邦商側と雖も信用薄弱なる者なきにしも非ずであるが其點は色々に關係機關もあることであるから調査せられるならばつきりすること、推ふ。
茲に特に注意すべきは内地邦商中には折角在留邦商を介して稍々華商筋への賣込みに目鼻が付け等々を調べて直接内地側へ呼び掛けるのことも知らないが、之が仲介を排して直接華商と取引を開始する風潮がある、然るに在留邦商としては尠く共一の商品を發賣して華商筋へ相當の地盤を扶殖する迄

には其間少く共三年間位は宣傳其の他に多大なる犠牲を必要とする、然るに其の漸くにして獲得せる地盤を之が直接取引に依り喪失するとするならば、これは獨り商業道德上の問題たる己ならず又以て邦家の爲悲むべき現象と謂はねばならぬ、事實之が結果在留邦商は勿論の事、内地側商人も次第に賣行渉らざるに至り遂には取引の絶の憂目に遭遇する實例多々ある様に見受けられる、之、内地側の海外進出に當り深く戒心すべき事項と推ふ、斯く觀するならば在留邦商は内地進出の安全策であること斷ざるを得ない。但し在留邦商と雖も當初より華々しき取引を開始することはどうかと推ふ、矢張取引は健實第一主義を採り徐々に進めて行くことが肝要である。
商内は普通青島沖渡價段に依り荷爲替取組とサイド七日が標準となつて居る、而て表示價格は金建に依り輸入者側に於て銀相場の有利なる時機に於て引取る譯である、爲替相場は上海市場を標準とし大連市場を參照して建てられる、恰度我々の滞在中彼の爲替平衝稅の微塵説流布されて市場一齊硬化し銀の暴騰を見たので商内は一般に見送り状態であつた。概して取引は爲替の高底如何に係らず其の最も安定せる時期に於て順調に行はれる様である
現在青島には十六行の銀行がある
日本側 正金銀行、朝鮮銀行、正隆銀行、濟南銀行、支那側 中國銀行、交通銀行、

門的な知識を必要とするのであが多くの専門家の人材を抱擁し完備した調査機關を有する少數の大規模經營者はいざ知らず一般多數の商工業經營者殊に中小工業者にはかゝる情勢に適應し得る知識と頭腦とを準備する餘裕を持つものは少く勢ひ同業者間の激化する競争に會つてひたまりなく經濟戰の敗者となるのである。よつて東京市はかかる現狀に鑑み夙に一般商工業者を指導し諸種の相談に應ずる機關整備の緊要なるを痛感し今回開設するに至つたのである。
なほ開設の商工相談所は從來市事務として取扱つて來た商取引上の斡旋紹介の外に貿易關係、金融關係の相談並指導にも應じ得られる様各種の専門家を囑託して之が人員整備を期して居る。

社会局職業課で露天商人を調査 (東京市)

登錄日傭労働者の更生策を樹つる資料を得るため今度社会局職業課で「市内露天商人の調査」を行ふことになつた。
これは市内に於ける平日の露天商人の推定數を五千名と見て豫め全市の警察七十二署を通じて出店區域、營業時間、組合、組合長等を調査しこれによつて組合長を通じて各組合員に關し詳細なる調査を行ふものである。
調査項目としては組合員の住所、組合名、出店場所、開業年月日、開業資本、取扱品目、手持商品高、賣上高、純益金、

山左銀行、大陸銀行、明華商業貯蓄銀行、金城銀行、中央銀行、中魯銀行、中國實業銀行
其他外國側 滙業銀行、チャーター銀行、德華銀行
其の内紙幣發行銀行は正金、中國交通、中國實業、中央の五銀行にして外國爲替銀行は正金、朝鮮、滙業、チャーターの四行であつて其の他は地方銀行としての業務即ち内國爲替、預金、貸出及割引を主體として經營して居る、又支那在來の銀行業に錢莊がある、專ら貨幣の買賣及兩替を本業とする等諸機關以外に青島居留民團金融部に於いて日本政府より貸下せられたる低利資金三百萬圓の内二百萬圓を以て土地家屋の不動産及確實なる倉庫會社寄託の貨物證券等を主體として貸出を行つて居る。

青島の銀行は大體爲替の取組を主とし一般貸付は特殊關係を除いては行つて居ない、一般日本人側の爲替取組には主として正金銀行が利用せられる様である。
而て現在青島に於ては在銀缺乏し爲に金融極度に硬塞して居る、即ち從來各決濟期に一旦奥地へ流入せる現銀は自然的に再び青島市場へ環元せられるを定石としたものであるが本年は中國市場が彼の米政府の銀政策に恣に翻弄せられたる結果茲に銀に對する一般の不安と思惑が作用して、之等奥地への流入銀が死藏せられて居るに依る、之が爲青島に於ては昨年クリスマス前に於て在銀高二千三百萬元と稱されたものが、クリスマス後に於ては一千八百萬元に減じ更に舊正決濟後は只の八百萬元に減退せりと謂はれて居る。

第五回廳内野球大會

一、方面委員取扱事件ニ關スル事項
イ、一般取扱事件ニ關スル事項
ロ、生業扶助ニ關スル事項
二、近隣ノ狀況ニ鑑ミ方面委員トシテ特ニ發達ヲ促セル社会事業ニ關スル事項
應内スポーツの人氣の焦點たる各課對抗野球大會は五月一日午後四時各課精銳九チーム出場、岡太助役、小田野球部長列席前年度優勝土木課チームの優勝旗並に優勝カップの返還、岡太助役の訓示あつて、始球式を行ひ直ちに水道工務課對土木課の第一回戦より火蓋を切つた。最初より猛烈なる打撃戦を展開し痛快なる彌次も交つて面白く、練習不足の工務課惜しくも破れた。爾後六日間各課の應援物凄しく選手の奮闘目覚しく争覇を續け、大優勝旗、獲得の榮冠、目指しての優勝戦はチームワークの充實した打撃を誇る猛者連を擁したる税務課Aと大會一の名聲ある投手佐々木君を持つ戸籍兵事課との間に十日午後四時半決勝戦を行つた。兩軍共よく闘ひ補回戦に入り、益々熱叫し投手の一投、打者の一振共に片唾を呑みブレヤリも全身に汗し應援團も手に汗を握りての好試合、俄然十一回の貴重なる勝負の一點を先取し其の

第六回全國方面委員大會

四月二十五日から三日間 熊本市に於て開催

第六回全國方面委員大會は四月二十五日から三日間熊本市に於て開催されたが三千名の方面委員を集、非常な盛會であつた。
二十五日午前九時全日本方面委員聯誼事務理事原泰一氏開會の辭を述べ物故方面委員並方面事業關係者慰靈祭あつて宣揚式に移り、國歌齊唱、教育勅語奉讀、宣言、決議、報告、方面事業功勞者表彰、式辭、告辭、祝辭などあり午後三時より社会事業施設を自由視察、

二十六日は午前九時開會、直に協談に入り午後三時から前日同様社会事業施設の自由視察をなし二十七日は前日同様午前九時開會、協談に入り午後二時終了閉會した。
〔協議事項〕
一、方面委員制度ノ徹底強化ニ關スル件
二、方面委員助成事業ノ普及發達ニ關スル件
〔研究事項〕



式與授旗勝優

裏戸籍の攻撃打順に恵まれず、遂に六―五の大接戦を演じ税務課に凱歌高く揚つた。
兩チーム集合榮ある優勝旗并に優勝カップは岡太助役より税務課主將渡部君の手に渡され中國藝備兩社寄贈のメダル并にマルヤス寄贈の賞品の授與を行ひ此處に第五回廳内野球大會を拍手裡に終了した。

(兩軍メンバー)

戸籍	木田本橋橋部森安村
一	0000000000
二	0000000000
三	0000000000
四	0000000000
五	0000000000
六	0000000000
七	0000000000
八	0000000000
九	0000000000
十	0000000000
十一	0000000000
十二	0000000000
十三	0000000000
十四	0000000000
十五	0000000000
十六	0000000000
十七	0000000000
十八	0000000000
十九	0000000000
二十	0000000000
二十一	0000000000
二十二	0000000000
二十三	0000000000
二十四	0000000000
二十五	0000000000
二十六	0000000000
二十七	0000000000
二十八	0000000000
二十九	0000000000
三十	0000000000
三十一	0000000000
三十二	0000000000
三十三	0000000000
三十四	0000000000
三十五	0000000000
三十六	0000000000
三十七	0000000000
三十八	0000000000
三十九	0000000000
四十	0000000000
四十一	0000000000
四十二	0000000000
四十三	0000000000
四十四	0000000000
四十五	0000000000
四十六	0000000000
四十七	0000000000
四十八	0000000000
四十九	0000000000
五十	0000000000
五十一	0000000000
五十二	0000000000
五十三	0000000000
五十四	0000000000
五十五	0000000000
五十六	0000000000
五十七	0000000000
五十八	0000000000
五十九	0000000000
六十	0000000000
六十一	0000000000
六十二	0000000000
六十三	0000000000
六十四	0000000000
六十五	0000000000
六十六	0000000000
六十七	0000000000
六十八	0000000000
六十九	0000000000
七十	0000000000
七十一	0000000000
七十二	0000000000
七十三	0000000000
七十四	0000000000
七十五	0000000000
七十六	0000000000
七十七	0000000000
七十八	0000000000
七十九	0000000000
八十	0000000000
八十一	0000000000
八十二	0000000000
八十三	0000000000
八十四	0000000000
八十五	0000000000
八十六	0000000000
八十七	0000000000
八十八	0000000000
八十九	0000000000
九十	0000000000
九十一	0000000000
九十二	0000000000
九十三	0000000000
九十四	0000000000
九十五	0000000000
九十六	0000000000
九十七	0000000000
九十八	0000000000
九十九	0000000000
一百	0000000000

西宮市の本年度土木事業中には市内の中央西宮神社前から濱脇橋手を經て港灣附近までの下水道事業が計畫されてをり、市當局ではさきに中山土木課長が上京、主務省に對して經費九萬圓餘の起債と工事認可を申請中であつたが政府の方針は全市の計畫がなく單に一、二線のみでは認可せぬので市當局では全市の同事業設計實測を行ふことになつた。
計畫内容 從來の調査を參考として全市に八九本の幹線路南北に通じて東西は道路を利用してそれ、支線を實現するもので完全な計畫をすればは總工費は百七、八十萬圓乃至二百萬圓を要する見込みであると、なほ西宮市は國道を中心にして北山手は地勢的關係上工事も問題はなほ國道以南の舊市内は海岸線と國道附近の高低に大差がないので地下十尺からの暗渠にする工事は相當困難と見られ

有熱兒の發見及其の處置(其の一)

楠那校 辻 政 人

三、有熱兒と榮養
有熱兒は健康兒に比して榮養状態不良で皮膚の蒼白な者が多い...

五、糞體重量と有熱兒
過去三ヶ年間継続した本施設に於て八ヶ月間以上の有熱者をAとし一ヶ年間無熱なる者をBとし...

Table with columns for grade (高一年度 to 高二年度), sex (男, 女), and weight gain (調査糞體重量, 人員平均). Includes data for 昭和六年度, 七年度, and 八年度.

六、學業成績と有熱兒
有熱兒は頭腦明晰な或は學業成績優良なる者は過度の勉強により身體的異常を誘發し有熱兒となりたるかその點不明であり教育上...

Table with columns for grade (高一年度 to 高二年度), sex (男, 女), and health status (健康兒, 有熱兒). Includes data for 昭和六年度, 七年度, and 八年度.

七、睡眠状態と有熱兒
睡眠時間の長短は健康兒と有熱兒の間に差異を認めない、然し就眠姿勢に就て調査したる結果は、有熱兒には伏臥する者多く、健康兒は一般に仰臥の者が多い...

Table with columns for grade (高一年度 to 高二年度), sex (男, 女), and sleep status (健康兒, 有熱兒). Includes data for 昭和六年度, 七年度, and 八年度.

八、運動能力と有熱兒
有熱兒は健康兒に比し一般に敏捷である、有熱兒は運動に對しても若干の無理は押通す傾向がある...

Table with columns for grade (高一年度 to 高二年度), sex (男, 女), and physical ability (健康兒, 有熱兒). Includes data for 昭和六年度, 七年度, and 八年度.

九、有熱兒の發生及治療と季節との關係
有熱兒發生の最大なるは五月、六月の梅雨期と九、十、十一月頃で、有熱兒の減少するのは十二月、一月、二月頃が最大である...

Table with columns for month (一月 to 十二月) and number of cases (有熱兒發生人員, 回復人員, 全人員).

第十表
有熱兒の發生及治療と季節との關係 (續)

Table with columns for month (一月 to 十二月) and number of cases (有熱兒發生人員, 回復人員, 全人員).

第十一表
學年別發見回復人員

右表により三ヶ年を通覧する時本校一ヶ年間の有熱兒重数は六十名内外で全兒童の六分の一に相當して居る、然るに昭和六年度以降の調査によるに毎月有熱兒重数は學年始より次第に増加の傾向を示して居る、これから有熱兒調査は繼續的なるべきを痛感した、有熱兒の發生は秋季運動の季節、身體發育の旺盛な季節で過重なる負擔により發生するらしい、又梅雨季に發生の多いのは湿度、温度に關係するものと思はれる、回復者の最も多いのは十一月、一...

東京市學校齒科醫會並帝國學校衛生會、日本聯合學校齒科醫會等の共同主催による第五回全國學校齒科醫大會は五月十九、二十日の兩日九段第一東京市立中學校講堂に於て開催されたが出席者は全國各都市の學校齒科醫並東京市教育局長、體育課長以下學校衛生係員其他學校衛生關係者等約六百名で、第一日は午前十時に開會牛塚東京市長、文部大臣の挨拶(代讀)...

昭和十年海軍志願兵採用者決定
市内で合格者八七名、採用者三九名
本年二月十二、十三、十四日海軍志願兵徵集検査を施行したがその結果合格者八七名で更に五月一日三九名の採用者決定した。なほその内譯を示せば次の如くである。

豊橋市石塚、大山塚兩鐵道踏切改修は都市計畫第一期事業として完成を急いでいるがそのうち船町通りから石塚踏切に接する幅員十三間半の幹線道路は見事に出来上つた。市都市計畫課では近く街路樹プラタナスを植ゑるはずで、區間は延長三百間ばかりで大したことはないが豊橋市都市計畫街路網決定線中最初に實現したものである。

全國學校齒科醫大會開催

五月十九、二十の兩日
東京市に於て開催
東京市に於て開催
五月十九、二十の兩日、東京市に於て開催された第五回全國學校齒科醫大會の模様を報告する。

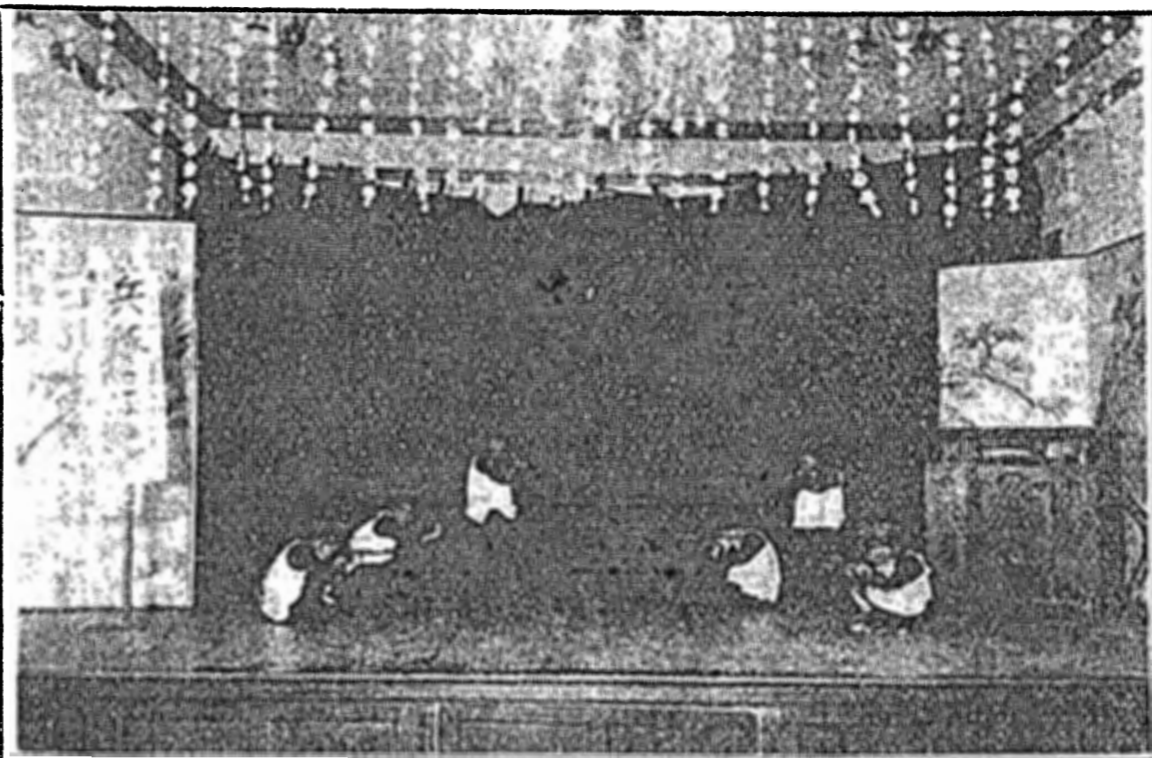
観光客の誘致計畫
(高松市)
瀬戸内海國立公園の支關である遊都香川縣高松市は高徳線的全通と今夏開通の土讃線等交通文化發展とともに内海遊覽觀光ルートの重要ポイントとなるので、これを機会に市觀光係では觀光客誘致計畫案を樹立して全國へ呼びかけることとなつたが、プランは高松市を美化表現したポスターを製作して全國鐵道、主要旅館、百貨店、旅行案内所その他適切な箇所へ配布、名所繪葉書や各種多様なパンフレット、リーフレットを作つて高松來遊の團體各種大會の出席者へ贈るほか本市を中心とする觀光産業、その他各種常識を記述し、高松觀光讀本を編纂し接客業者へ配布し觀光事業の認識とサーヴィスの向上改善に資し、宇野高松間の省線連絡船内においては旅客サーヴィスとして高松市を中心とした瀬戸内海國立公園の景観を説明した「レコード」をかけるなどあらゆる方法で旅客サーヴィスの改善につとめることになつた。

瀕死の東京市電
牛塚東京市長は五月一日朝内務省に岡田地方局長、永安財務課長、加藤地方債課長等を訪問、電氣局財政はどうしても一日も速に根本的立直案を樹立せねばならない。市でも委員會を設け

第九回全國兒童愛護週間

五月二日より八日迄開催

昭和二年五月五日中央社会事業協会主催のもとに全國一齊に第一回乳幼児愛護週間を舉行してから本年は既に九年目になるが本年からは乳幼児愛護週間と秋の兒童愛護週間とを一共になし第九回全國兒童愛護週間を五月二日から一週間開催したが、廣島社会事業婦人会、廣島方面事業助成會、廣島兒童愛護會、廣島修道院、廣島生活改善會、愛國婦人会廣島支部、宇品學園、廣島育兒院、廣島市産業會の協力を得て非常な盛況であつた。



乳幼児選奨會 五月四日此の日は朝来すが、五月四日此の日は朝来すが、高く掲揚され、日の盛況を思はしめた。 時刻にはまだ間があるに熱心な親達は三々五五と既に受付に詰めて居る、やがて時刻となるやラウドスピーカーで受付順に二階審査場に呼びあげられ、四十三名の産婆會員の手で審査表に住所、姓名、男女別、榮養別などが記入され更に三十五名の看護婦によつて頭圍、胸圍、身長、體重が測られて外部の審査が終了、次で小

山博士外十七名の諸醫の嚴密な審査を受けて親達は何れも育兒に對して大きな期待を抱いて歸つて行つた、かくて午前八時から午後三時迄の受付幼児は一四三二名の多數に達したが右のうちから一等二人、二等六名、三等十二名、四等二十名、佳良八十名計百二十名の優良兒が選奨されることになつてゐる。

慰安のために三條託兒所の託兒がレコード、ピアノなどの伴奏により唱歌舞踊をなしその退屈を救つてゐたがその巧みに親達を何れも感歎せしめた。

て交通統制、公債處置等につき研究、具體案を發見したいと思つてゐる。その成績により一般市財政についても委員會指導に努力を拂はれたることを希望し、近く實施される東京市監査に對する方針についても本省の意向を聴取して辭去した。

中央職業紹介所婦人部雜感

最近職業婦人の増加は顯著なる現象である、此は生活が世智辛くなつて女子も家計補助を餘儀なくされるに至つたのであらうが、一面精巧なる機械の現出により男子より寧ろ女子の方が適任である職業が續出したその事にも原因するのであらう。

Table with columns: 年別 (Year), 求職者數 (Job Seekers), 求職者數 (Job Seekers). Rows list years from 1929 to 1938 with corresponding numbers.

人並求職者が逐年増加しつゝあるが充分窺はれる。 大正九年 一、三三三 求職者數 三、三六六 同 十年 一、四六六 三、五九九 同 十一年 二、四六六 四、五九九 同 十二年 二、九六六 五、五九九 同 十三年 二、四六六 四、五九九 同 十四年 一、九六六 三、五九九 同 十五年 三、五九九 五、五九九 同 十六年 三、五九九 五、五九九 同 十七年 三、五九九 五、五九九 同 十八年 三、五九九 五、五九九 同 十九年 三、五九九 五、五九九

狀である、女中求職者も農繁期を除いては相當あるが年齢廿歳前後の者が一番多く其等求職者の希望條件たるや稍々一律の感がある、求人先の家族が少く、病人、乳幼児が無くて俸給取の家庭が良い、それに町に希望があり餘暇には裁縫作法等も習して戴きたい、給料も相當に欲しいとの希望が多い、然し女中の必要な家は、家族少人数で女中に餘暇を與へる様な先は僅少であるから女中の斡旋も容易でない、以前は婦人の職業の大部分は女中であつた様に思はれてゐたが現今では、女子の職業が増加したる關係上將來女中の沸底は益々其の度を極めるに相違ない。西洋では女中の勤務時間が定り尙週に一日休息日があるとか聞てゐるが、日本でも沸底に伴つて自然待遇も改善せられるかも知れないが目下の女中の希望としては、家族と同視して戴き、尙福利並指導保護に付ても相當考慮して戴きたい希望を有する様である。

女子に次で求職希望者の多いのは女工、店員、事務員、見習看護婦等である、其の内就職斡旋の最も困難なのは事務員である、此に該當する求職者は一ヶ月間に三、四十名の多數に昇るものに對する求人極めて少い、之が打開策として此等求職者に付ては特に學業前歴調査等をなし何時たりとも求人に對し適任者をなし得る様その準備は勿論紹介所員は街頭に進出して求人の開拓に努力を續けてゐる。

は男子のそれと同様就職の機會少く、幾多の求職者が之が吉報を一日千秋の思に鶴首してゐる。その反面女工、女中等の求職者は彼等の就職難を尻目に、多くの求職者の好層條件先を漁りつゝある現状である。 「弱き者よ、汝の名は女性なり」

との古語があるが現在では婦人は職業的には強者である、弱き者は女子のため蠶食せられた男子である、將來何等かの適當なる制限を附すにあらざれば一層男子の就職難が續し、婦人は産業的に一層重要な地位を占るに相違ない。(未完)

聯合婦人會並聯合女子青年團聯合大會

五月七日吳市に於て開催

第四回廣島聯合婦人會並第八回廣島縣聯合女子青年團聯合大會は午前十時開會、一同敬禮した後野平縣社會教育主事開會の辭を述べ神宮及皇居遙拜、國歌合唱、勸語奉讀、會長光田學務部長の挨拶、知事の訓辭(野平社會教育主事代理)來賓祝辭などあつて表彰式に移り左記團體を表彰、立花海軍大佐の講演の後閉會盛會裡に解散した。

吳市長迫女子青年團 吳市東本通女子青年團 青訓主事軍事講習會開催 市教育課並廣島縣隊區司令部の

第十四回市内小學校教員體操講習會開催 第十四回本市小學校教員體操講習會は五月十五日から十七日迄毎日午後一時半から三時間づつ開催したが小學校教員並看護婦等で非常に有意義に終了した。

Table with columns: 種類 (Type), 出港 (Departure), 入港 (Arrival), 乗客 (Passengers), 降客 (Disembarking). Rows list various types of ships and their routes.

廣島港出入船舶數並乗降客員數表(昭和十年)

Table with columns: 月別 (Monthly), 汽船(小汽船)(汽船)(汽船)(汽船)(汽船) (Steamships), 汽船(小汽船)(汽船)(汽船)(汽船)(汽船) (Steamships), 乗客 (Passengers), 降客 (Disembarking). Rows list months from April to April with corresponding numbers.

Table with columns: 白米内地 (White Rice Domestic), 朝鮮 (Korea), 臺灣 (Taiwan), 外米 (Foreign Rice), 糯米 (Glutinous Rice), 麥(丸麥) (Wheat), (改良麥) (Improved Wheat), 大豆(鶴ノ子) (Soybean), (黒) (Black), 菜豆(インゲン) (Bean), (金時鶏) (Chicken), 椎茸(込) (Mushroom), 寒天 (Agar), 小麥粉 (Wheat Flour), 乾海苔 (Dried Seaweed). Rows list various goods and their prices.

中央職業紹介所事業成績 (四月分)

Table showing job introduction statistics by industry (e.g., 工業及鑛業, 土木建築, 商業) and gender (男, 女). Columns include 職別, 求人數, 求職數, 就職數, 日備勞働就職.

俸給生活者職業紹介成績 (四月分)

Table showing job introduction statistics for wage earners across various sectors (e.g., 官公署, 銀行, 保險會社, 商業會社). Columns include 勤務先, 求人, 求職, 就職.

託兒事業成績 (四月分)

Table showing childcare statistics by district (e.g., 草津, 仁保, 廣瀨, 江波, 楠那, 三篠). Columns include 所別, 性別, 人員, 入所, 退所, 現在, 出席, 欠席.

公益質屋事業成績 (四月分)

Table showing public pawnshop statistics by district (東, 西) and category (貸付, 質物). Columns include 別質屋, 流動別, 債券, 業務用具, 家具, 裝身衣類, 其他, 計金額.

Table listing various goods and their prices (e.g., 昆布, 干飯, 素麵, 麵粉, 鹽, 茶, 醬油, 味噌, 砂糖, 清酒, 麥酒, 豆腐, 大豆, 牛蒡, 玉葱, 馬鈴薯, 玉菜, 鯛, 木炭, 薪). Columns include 品名, 單位, 價格.

臺灣義捐金

Table listing donors and amounts for Taiwan Relief Funds. Columns include names, amounts, and addresses. Donors include individuals and groups from various locations like 大手町八丁目, 紙清之助, etc.

●七月に納める税は

宅地租第一期二十八日限り

第三種所得税第一期二十八日限り

所得税附加税第一期二十八日限り

●八月に納める税は

營業收益税第一期二十八日限り

資本利子税第一期二十八日限り

營業收益税附加税第一期三十一日限り

都市計畫税營業收益税割第一期三十一日限り

廣島市役所

家政婦紹介幹旋開始!

中央職業紹介所女子部

電話二五二〇番
電鐵前下車

臨時女中や家事雑用

婦の御用は.....

是非とも安くて便利

な社会事業施設の職

業紹介所を御利用下

さい

炊事洗濯掃除其他御

世話致します

家政婦は年齢二十歳

以上の四十歳迄身元

確實.....

職をお求めの方は、人をお雇ひの方は

人をお雇ひの方は.....

▲電話、書面、口頭其の他便利な方法で

▲事務員、職工、店員、女中、子守、何

んでもお世話致します

職をお求めの方は.....

▲直接本人が紹介所へお出で下さい

▲紹介は一切無料で且つ全国的に連絡が

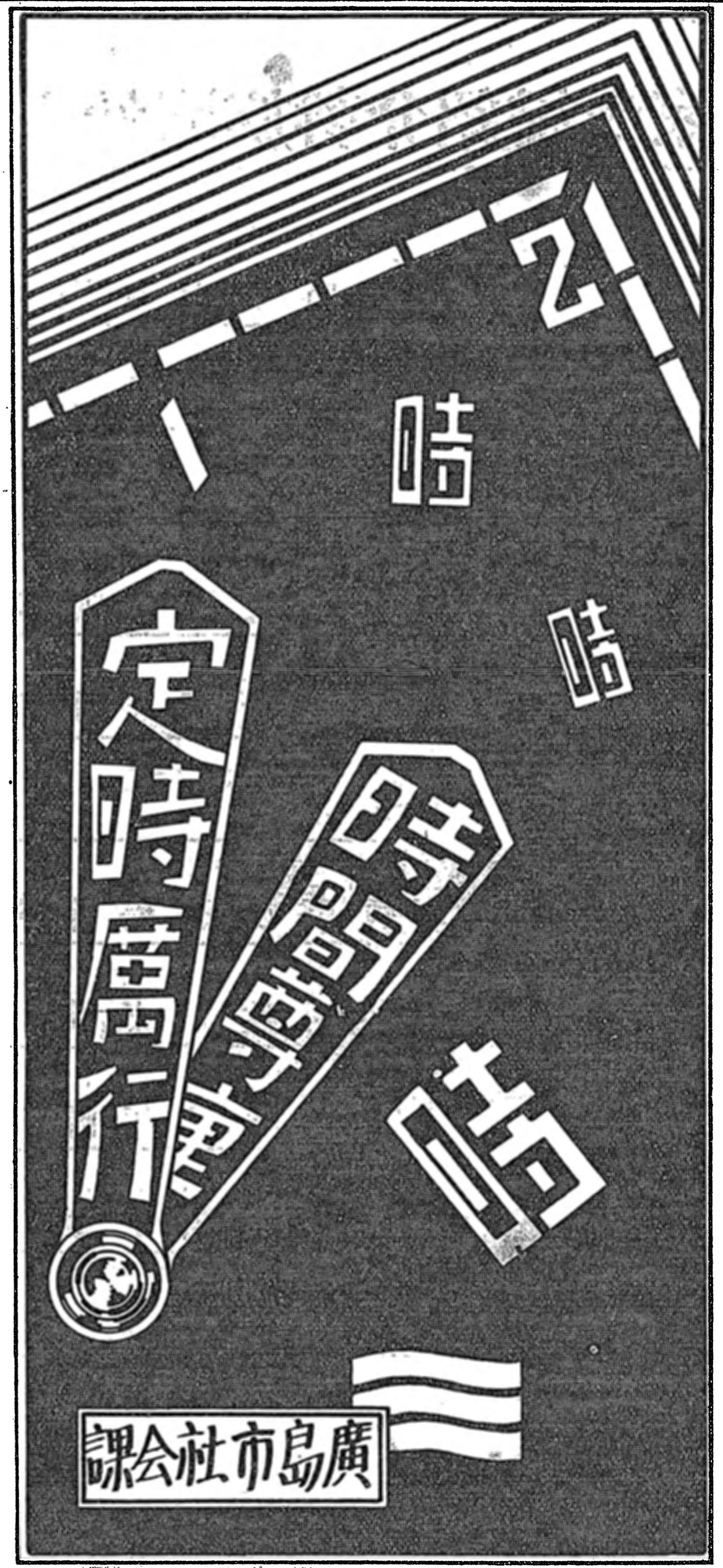
あります

廣島市中央職業紹介所
労働

(千田町電鐵前下車)
電話二五一〇・二五二〇番

職業紹介所へ

時の記念日 六月十日



廣島市役所社會課

山田様

廣島市報

號四十六第

創刊日八月六年十和昭
行發日十月六年十和昭
社 廣 島 市 報
社 廣 島 市 報
社 廣 島 市 報

所 役 市 島 廣 所 行 發
所 版 話 第 兄 田 増 式 株 所 刷 印
地 番 一 目 丁 七 町 手 大 市 島 廣
雄 計 田 増 省 刷 印
地 番 一 目 丁 七 町 手 大 市 島 廣

革沿の町

河原町 むかし瓦工に宅地を
與へて、こゝに居らしめたの
であるがその子孫が祖父の業
を継ぎ永く住したるにより瓦
焼の名が遂に地名となつたも
のである。

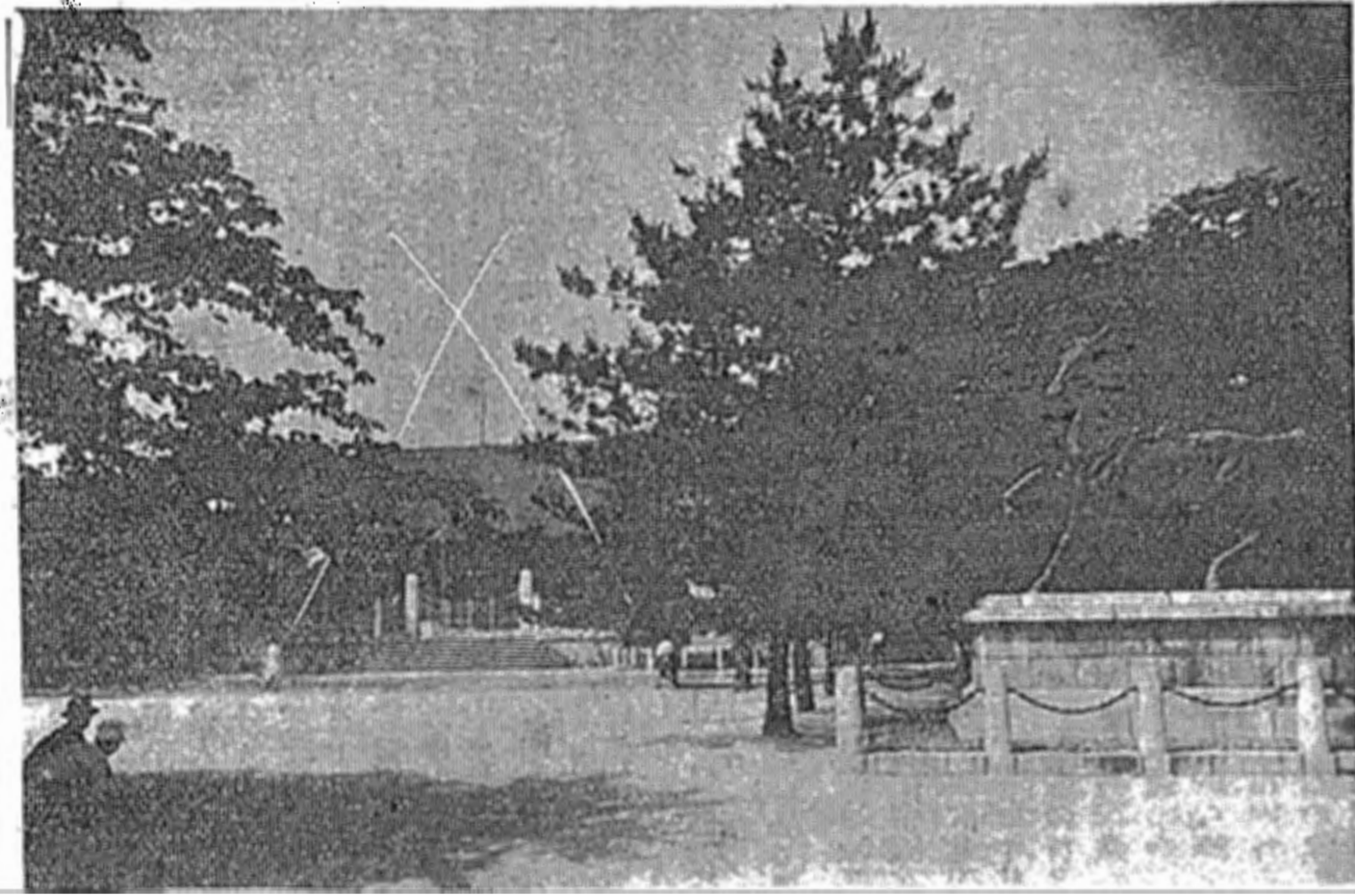
御便殿防火設備完成

聖蹟御便殿の保存をより完全に
するため御便殿防火設備は昨年十
一月下旬工事に着手、この程漸く
竣工したがその概要を述べるに京
橋川鶴見橋から約六十米下流の左
岸寄の河底に取水管を埋設して伏
流水を集め取水管を通じて同所河
岸に設置した唧筒所の唧筒井に導
き更に揚水管によつて比治山手砲
臺に設けた貯水池に揚水貯水、之
から水管によつて公園道路を経て
御便殿周圍に設けた消火栓に送水
するものであつて唧筒機は三相交
流誘導電動機直結型「タービン」
唧筒で其の揚水量は毎分五十三立
方尺(八石三斗)であり貯水池は鐵
筋コンクリート造方形で水量三、
六〇〇立尺(五六五石二斗)を貯水
することを得るものである。
尚消火栓は御便殿周圍に三箇あ
り、放水高は御便殿棟木上約二十
五尺餘で三ホースを全開するも貯
水池の水量のみにて一時間餘を放
水することが出来其れ以上放水の
必要ある時は揚水管と連絡した瓣
を開きて唧筒を運轉すれば直送が
出来、長時間の防火にも充分耐へ
得るのである。

【目次】

- ◇ 御便殿防火設備完成 一六七
- ◇ 告 示 一六六
- ◇ 彙 報 一六六
- ◇ 公 告 一六六
- ◇ 自治と修養 一六六
- ◇ 見本市を通じて山東貿易の梗概を述ぶ 一七三
- ◇ 日本觀光地聯合會大會 一七三
- ◇ 縣下各郡市農會幹事技師協議會 一七三
- ◇ 設備完備した畑質病院 一七四
- ◇ 女中紹介漫筆 一七四
- ◇ 産業課に應用化學技術員設置 一七六
- ◇ 方面委員月番會開催 一七六
- ◇ 各種統計 一七七

△市民講座近く開講△中滿地方へ商品の
販路開拓△政治教育選舉肅正のパンフレ
ット頒布△平面交叉を避け交通禍防止△
高層建築物に防火施設



備設火防の殿便御るせ工竣

【告示】

●達乙第三號
廣島市船入病院分院番人手當金支
給規程左ノ通定ム
昭和十年五月二十七日
廣島市長 横山金太郎

【彙報】

●町正副總代就任認可
(自五月十六日)
(至五月廿一日)
左官町 總代 佐伯辰次郎
副總代 眞名志龜助

●正副衛生組長就任認可

(自昭和十年五月十六日)
(至昭和十年五月廿一日)
宇品町南 衛生組長 安井 藤造
副組長 新見 藤吉

【公告】

左記物件拾得ノ旨届出有之候ニ付
心當リノモノハ當所社會課ニ届出
ツヘシ
昭和十年五月五日
廣島市役所

昭和十年五月二十七日

廣島市役所
一、傳馬船 一艘
廣島市袋町所在袋町小學校
一、木造瓦葺二階建校舎五百五平
方米壹參

記

一、入札及開札ノ日時 昭和十年
六月十一日午前十時即時開札ス
一、入札及開札ノ場所 廣島市役
所土木部地理課

各市

◆四國唯一を誇る觀光道
(香川縣)
本縣道路の王座に据わる觀光
道路線(國道二十二番線)は工費
六十二萬四千圓うち國庫補助四

海軍記念日三十周年記念式

五月二十七日の三十周年海軍記
念日には市は十二團體主催第五
師團、吳海軍鎮守府、陸軍運輸部
廣島縣當局の後援のもとに記念式
その他盛澤山の行事ありこの記念
すべき日を有意義に終了した。

市民講座近く開講

市教育局社會教育課主催の市
民講座は毎年五月から翌年二月
に亘り上野自治會館に開設され
るが本年は次の要項で會員を募
集し本月末開講式を舉げる豫定
である。

自治と修養

廣島市長 横山金太郎

日本放送協會が我が國文化の向
上進展に多大なる貢獻をして居ら
れますることは私共の夙に敬意を
表する所であります。今や之が
加入者二百萬人を突破するの盛況
を呈し、ラヂオ民衆化の曙光を認
むるに至りましたことは實に文運
隆昌の象徴でありまして誠に慶賀
の極みであります。今回これが記
念講演の行はるゝに方りまして、
不肖「自治と修養」の題下に聊か所
懷を述ぶるの機会を得ましたこと
は頗る欣快とする所であります。

然らば、それ程調法無比の法律
は如何にして生れ出づるのであり
ますかと云ふに其の手續も亦頗る
簡單明瞭であります。吾々國民が
選挙人の一人として國會議員を選
び貴衆兩院を以て成立する帝國
議會の中、衆議院に對して之を遂
げるのであります。送られたる國會議
員は民意を基調として法律案を
提出し若くは政府の提出に係る法
律案を論議検討し其の過半数の議
員が賛成すれば法律は可決せられ
貴族院の共鳴賛同を得れば成案とな
り、御裁可を得て公布施行とな

- 第一節 法律、經濟、社會問題、
國際問題、東京市政を中
心とする都市問題
第二節 倫理道德、日本文化史、
哲學、藝術論、宗教問題
女子部
第一節 法律、經濟、社會問題、
宗教問題、東京市政を市
心とする都市問題
第二節 倫理道德、日本文化史、
哲學、藝術論、兒童心理
◆中滿地方へ商品の
販路開拓 (東京市)

擇賦剛に待つこととして省略致し... 御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の

論議は議會の内外を通じて非常な熱心さを極めたものであつたのであり、遂に可決となり大正十四年四月法律として公布となつたのであります。昭和三年の春には

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

非國家的思想や運動が全然くつがへされて終つたのは實に自然の理路を辿つたのでありまして痛快至極であります。

宗敎の言葉に『三昧』といふのがあつた。人生の實生活に於ては歎歎嗚咽の最中に朗かな笑が段々欲しくなつて来るのが事實であります。

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

此の國家に於ては皇室は國民の宗家であり、されば國民相互は同じ始祖から流れ出た一大血縁民族であり、其の共同の祖先に...

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

對しては共通の崇敬と信仰とが存するものであります。此の民族は建國の始祖より天壤と共に窮りなき一系の天皇の、血縁紐帯に基き愛を基調とせられて御統制になり纏て、悠久三千年、生成發展をし

國家統治の體制が天壤無窮であります。我國に於ては忠孝が一致するものであります。忠孝一致の國民的生活、これが國民道徳の極致であり、日本國民としての本性の完成といふ事になるのであります。

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

依つて東京商品の品質、價格、包裝、意匠、取引方法の改善を圖る外、見本市を計畫し特約店代理店設置の斡旋、依頼による代金の取立並信用調査、更に當業者直接取引の補助及旅行上の便宜を與へるものである。近所長並役員を任命夫々の地に駐在して業務を開始する筈であるが其の成果は甚だ期待されて居る。

政治教育選挙正のパンフレット頒布 (内務省) 陸軍パンフレットが政界その他各方面にセンセーションを捲起したが今回は内務省が政治に關するパンフレット約六百萬部を印刷、六、七月頃を期し全國の有権者を目掛けて撒布するとの由である。

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

つての我であるといふ事を眞に知つたときに『死國の爲に報する』といふ大決心が湧くのであります。至尊あつての我であるといふ事を眞に認識した時に『笑つて君の馬前に』といふ大覺悟が起るのであります。

私は日本の國民が日本國家を知るためには國の歴史に親しむ事が非常に大切なことではないかと思ふのであります。

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

す、即ち大化の改新は『普天の下率土の濱王臣に非ざるなく王土に非ざるなし』の大方針に則つて天皇統治の主義が確立した時であります。而して建武の中興は長い間邪道に陥つて居た政治を『公家の古き御政』即ち延喜天曆の御代へ復へされること、とりもなほさず天皇御親政の古に復される事が大理想であつたのであります。又明治維新の大業は不合理極まる七百年の武門政治を打破して天皇御親政の統制原理を遠く神武の古に復されることであつたと云ふことは改めて申し上げる迄もありません。

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

か所謂『補氏論』なるものを讀んで日本魂を奮ひ起さなかつたものがあつた。私には山陽先生の鼓吹と共に山陽先生の日本外史を讀んで世に用ひしめたいと熱望致すものであります。先帝國會議に於て加藤政之助氏は幼學綱要の世に忘れられて居る事を慨嘆して演説されたのであります。私にはこれ共にとり深く同感であると共に併せて山陽先生の外史が今の日本國民によつて聲高らかに讀まれんことを念願致すのであります。我が廣島市が先に天下同志の援助によつて比治山山麓に山陽文徳殿を建設したのは先生永へに傳へて日本精神發揚の道場たらしめんと致すものであらうと信じて居る次第であります。日本國民が擧げて君國の恩を知り感謝の生活を致すことが出来るならば非常時局も何ぞ恐るゝに足らんやであります。

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

の教育者諸賢の御意見を拜聴していさゝか皇國日本の教育なるものを窺ひ得たことがあるからであります。此のことは私の一生を通じて實に尊き經驗であつたと存じて居るのであります。今此の機會を拜借して講演の序で私の此の間と存するものであります。率直に申し上げますれば私の感じましたところは明治、大正、昭和を通じて、その國家の教育は上は大學から下は小學に到る迄徹頭徹尾立身出世の言ふことが眼目となつて居たのではないかと思ふのであります。これは時勢が急轉して封建制度から四民平等といふことになり才能ある者は『立身出世出来る』といふことになつたのであります。故に誰しも地位と名譽と富貴とをつかんで、生き甲斐ある生活をして見やうといふ氣持になるのは當然であります。漸次明治が大正となり昭和の御代となるにつれて才能ある者も思ふ様に立身出世が出来なくなつたので、自然と激烈なる競争が行はれ、自己が拔んでゐないといふ惡風潮が生じて來たのであります。此の心理は親にも子にも、學校の先生にも浸潤して收拾すべからざるに至つたのであります。明治の初年の青年には同じ立身出世でも、どこか足が國家といふ大地について居ましたが、近頃の若い人になると足迄浮き上るといふ者が澤山出たのであります。嗚呼、言ふ次第でありますから

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

名士を職能別的に任命し選挙シズンになれば内務省パンフレットを土臺として、その府縣内に大遊説を行はしめることにより大々的な政治教育運動を全國的に捲越することとなつてゐる。しかもこの際内務省は選挙正運動を一層徹底させるため映画検閲役を動員しお手のもの、政治教育映画を撮影し全國に配布するなど、その積極的態度と照合して非常時に處する政府の指導精神を明瞭にする點で注目されてゐる。

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

御承知の如く、大正十二年二月の議會には治安維持法といふ法律案が提出せられ國家同愛の人々の...

大分港の開港を指定 (大分市) 大分市では東九州の玄關口たる大分港の開港指定の建議書を四月十日午後、縣經由大藏選信兩大臣に提出、同時に水野港灣協會長に促進助力方を陳情した。

市民待望の緑の道 (名古屋) 百萬市民待望の緑の道——名古屋東區、田代町、唐山の市

近頃の若い人にはどうも、君父の恩といふことを忘れ勝ちであつて、試験を受けて立身出世さへすれば友達も社會も家もあつたものでないといふ様な状態であり、教育といへば個人の能力を伸ばすことであるといふやうに考へて其の事にはかり工夫を凝らし家や國家の意識を種々つけること云ふことを忘却せられて居らるゝのではありますまいかと思ふのであります。併し若し之ありとせば修了した教育は極めて危険千萬な教育であつて速かに正せられなければならぬ、私は個人の能力を伸ばすことよりも、個人を國家意識に迄伸ばして戴きたい、さういふ教育をして

見本市を通じて 山東貿易の梗概を述ぶ (其の四)

二月十八日夜、青島を發して濟南へ向ふべく停車場へ乗附ける。發車時刻の十時四十五分迄には未だ二十分の餘裕がある、改札終つて歩廊に立てば既に列車は横付けとなり客待顔である、歩廊には綿袍を纏つた兵士が銃剣厳めしく列車の長さ程一間置きに整列して居る。此の時領事館を代表して山口館員、態々一行見送りの爲來車せられ恐縮する。窓外には青白い月が星稀な空に照り冴えて居る、千里に亘つて寒夜の驛頭明鏡懸る、遠く故山を想起する者、豈獨り仲麻呂己ならんやである。

歩廊の彼方からボーイが鈴を鳴らし、發車を告げるには少し修長過ぎると思つて居るとドカドカと武裝した兵士が數人宛各車へ乗込む、赤の腕章には鳥の兩翼に車輪を配し護車とある。皮張りの兩腰掛の間には小さな卓が窓際に設備せられ、ボーイが蒸タオルとお茶を此處へ持參する、却々行届いたサービスである、内地の汽車でも斯様にしたいものと思つた、チップは銀の卅錢もあれば宜敷い。車内は清潔で些かの不愉快も起らない。告示に曰く

請各位注意衛生
請各位勿隨地吐痰

日本製鋼所青年學校開校式

五月三日開催

青年學校令第四條に依る私設青年學校は四月一日古田第一印刷株式會社がそのトップを切つたが仁保町字延命日本製鋼所廣島工場に於ても五月三日午後五時半から青年學校開校式を舉行したが來賓と

隣席には支那紳商と見られる大人が護路軍の上官らしき者としきりに話込んで居る、定刻を告げるベルと共に列車は一路濟南へ向ふ。

茲で少し沿線其他の名所舊蹟に就いて御紹介致し度い、山東は中國文化發祥の地で名所舊蹟は數知れぬ程有る。濟南城の南、歷山は別名舜耕山と呼ばれ堯舜の耕したところである、終日直針を垂れて天下の名相賢人を求めたと謂はれる大公望釣魚の跡は山東のみで五ヶ所ある、又秦の始皇帝が遙かに東海を望み徐福を派して不老不死の藥を求めしめた古跡は青島背面の嶺岬たる嶗山であつて山麓には徐福船出の遺跡たる徐福島といふがある、徐福は二千餘人の童男童女を引具して出發し、我が紀州熊野に漂着、今尙紀州に徐姓を殘すと謂はれて居る、即墨は田單火牛の遺跡、青州は明朝發祥の地、又列車の中から齊の桓公管仲

柏崎市建設の計畫

(柏崎町)

柏崎町では上水道敷設工事の認可が近づいたので三箇年後の完成を待ち懸案の近村を合併し、柏崎市建設を目標に愈々都市計畫を樹立するため三井田助役が主任となり準備工作に取りかゝつた、同計畫區域は水道水源の鯉波村全部、西中通、村春日、悪田、北鱈石村長濱、新田加に及ぶものと観測され人口も一躍三萬數千人となる。

尙ほ都市計畫を實施すると負擔はかゝるが道路擴張その他種々特典があるので準備をはじめたが市制を急ぐ譯でなく、近村合併は無理するよりも水道完成を待つてやる考へである。鯉波の合併は順調に行かうし長濱は合併運動を起してゐる状態、春日、悪田も柏崎へ入れば負擔が軽減されるので賛成するものが多からう。

日本觀光地聯合會

五月二十二、二十三の兩日 仙臺市に開催

日本觀光地聯合會第四回大會は、五月二十二日、二十三日の兩日風蕪る深緑の青葉城下、仙臺市役所會議室に於て開催せられた。鐵道省の田國際觀光局長を始め同省の關係官、日本旅行協會の高久專務理事、宮城縣知事外在仙臺各官公衙長並に全國各觀光地からの出席者二百名に上り頗る盛況であつた。

第一日は午前九時開會、澁谷仙臺市長の挨拶、鐵道大臣の告辭、光局長の訓辭があつて、田國際觀光局長の訓辭があつて、澁谷市長議長席に就き議事に入る、聯合會の決算、豫算及び事務報告、第三回大會の陳情、建議に關する報告は文書を以てせられ、議題五十二件夫々提案者の説明があつて二十二名の委員に附託、鐵道省運輸局、國際觀光局の各關係官、ビューローの高久專務理事等から提出議題に基いて有益な話があり、午後三時より金屬材料研究所を始め市内觀光施設を視察して第一日の日程を終る。

第二日は午前八時から委員會、十時から本會議を開いて審議し、撤回或ひは保留となつたものもあつたが大部分を委員長報告通り可決更に日本觀光地聯合會々長は淺山京都市長重任、第五回大會開催地は名古屋と決定した。次でバスで仙臺を出發し、東北地方、海

縣下各郡市農會幹事技師協議會

五月二十二日沼隈郡 千年村役場に開催

縣下各郡市農會幹事技師協議會は五月二十二日午前八時から沼隈郡千年村役場に於て開催されたが左記事項に就き協議、午後四時散會した。

〔協議事項〕

- 一、郡農會の使命及町村農會の指導事項如何(沼隈郡)
- 一、郡農會の使命及町村農會の指導事項如何(沼隈郡)
- 一、郡市農會に於ける部落農區の獎勵並に指導狀況承り度(蘆品郡)
- 一、市町村農會に於ける農會費意納督促狀況(福山市)
- 一、郡市に於ける各種産業團體との聯絡及之に關して縣、國又は上級産業團體に對して要望すべき點なきや(沼隈郡)
- 一、農業と商工業との連絡方法如何(福山市)
- 一、郡市農會事務助成費交付を

統制や、中央地方を通じての若しくは官廳と民間を連ねての系統的組織については、今回の大會の議にも上つたが、鐵道當局に於ても折角考究中と云はれ近く何かの具體化を見る事と思はれた。此の問題と國際觀光事業については次の機會に陳べて見たいと思ふ。

都市計畫事業案變更理由 (金澤市)

(理由)

金澤市の都市計畫事業三百四十萬圓案は十年度から實施の豫定である三月十四日縣當局を經て内務大臣へ書類を進達方を求めたがその後縣當局において調査の結果五百萬圓案を三百四十萬圓に変更した理由、財政計畫及び事業上整備項目二十件を發見、去る二日附麻生總務部長から片岡市長あて附箋付きで書類を返戻した。その重なる理由は中橋線に對する縣費補助約十五萬圓を縣當局の諒解なしに計上してあること、縣當局では都市計畫事業に對し縣費補助をなすべきものでなく、また全國にも類例がないといひ五日末原經濟部長の名で片岡市長あて縣費補助は絶対出來ぬとつきつぱり拒絶の通牒を發した。なほこれがため来る五月ごろから着手の豫定である都市計畫道路工事は餘程着手期が遅れるものと見られてゐる。

平面交叉を避け交通禍防止 (島根縣)

(島根縣)

縣では自動車の異常な發達に伴つて恐るべき交通禍が激増の傾向にあるので、鐵道線路と道路の平面交叉を避け慘禍を出來るだけ少くするため縣下の國道および重要縣道について調査中であつたが、この平面交叉は五十二箇所におよんでゐることがわかつたので左のような改修計畫を立て財政が許せば明年度か

設備完備充實した

畑 賀 病 院

最新式優秀レントゲンを据付く

畑賀病院は大正八年十一月内務大臣より廣島市に結核療養所設置を命ぜられ直に敷地の選定に着手し市内各方面並近隣各町村十數ヶ所を候補地として鋭意之が調査...

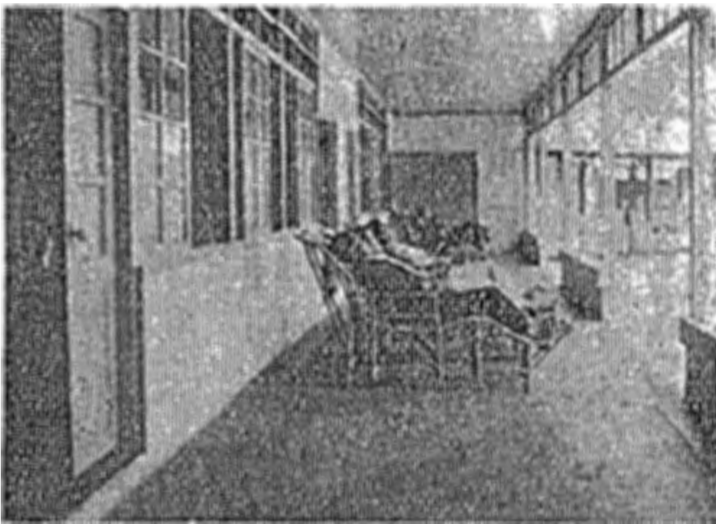


畑賀病院全景



レントゲン室

四月迄の入院延人数は四名で内死亡者二名退院患者四名で五月三十一日現在入院患者は三三名である。



日光浴場

寄宿舍、動物舎、祭祀室に分れ、この外給水タンク一個、汚物焼却所、エーラス室、汚水浄化装置がある、其の建設費は十六萬千二

百五圓四十一錢でその内敷地費は一萬九千四百十九圓八十四錢建築費は十一萬四千七百六十八圓十八錢設備費三萬三千三百九圓三十九錢で職員は院長一名、醫員三名、調理員一名、書記二名、その他二十名程である。

女 中 紹 介 漫 筆

中央職業紹介所女子部

近頃聞いた佳話の一つに、降しきる雨の日に紹介した女中を、自家用のタクシーで電車の停留所まで出迎へた雇主がある。四五日経つて早速か女中から、たどたどしい筆蹟の中にも、主家の温情的待遇に感謝の眞情を吐露した便りを受取つた。

ら實施する意向である。國道 四十五箇所のうち玉湯村地内と津和野町後田の二箇所を跨道橋にし三十五箇所を跨線橋また八箇所は道路をつけかへて交叉を避ける計畫で延長一三、八六〇メートル及至一七、五メートル總工費四八七、〇〇〇圓

危色の籬に身を沈め、淪落の淵に落ちこまんとした女がある。三、四倍もの手敷料で周旋された女中の名義が、固らずも第二號であつた、と涙ながらに訴へて来た若い娘さんもあつた。

然し、此處紹介所で正業を教へられ、しつかりと紹介状を握りしめながら、いそいそと立ち去る彼女達よ、しめやかな雨の日には窓外の電車の音を耳にしては、不圖更生の露に濡れた彼等の双眸を想ひ出す。

女中の體験が重大な花嫁資格の一つとされてゐる地方から、まだ肩場もとれない純な少女達が、得難い修業の道場を目ざして度々しく窓口を訪れるのは、我々に嬉しいことの一つである。

その飾らぬ身装と、質朴な心、そして又曇らぬ面貌は何と微笑ましい姿であらう。

電話の催促にも、女中の呼稱は種々様々であるが、近時女中沸底の聲につれて、所謂女中さんの職務の意義と尊厳が正しく認識されて、一般に従来の階級的賤視觀念を憤み、漸次苗圃な差別的冷遇も改善されて行きつゝあるのは、洵に喜ぶべき傾向であると思ふ。

理由は色々にあらうが、要するに女中修業の目的は、實際に他人の家庭で、あらゆる勞苦にいそしみながら、女性としての生きた修養を積み、將來一家に於ける、最もよき主婦として、又母としての素養を獲得せんが爲である。かゝる見地の下に、近時虚榮を捨てた女學校出の家事見習希望者も漸次増加して行く。

家庭の主婦のよき補助者となり、又時には其の代理者にも立つべき女中の良否は、忽ち一家の福の岐れ道とも考へられる如く、女中志望の少女達に於ても、主家の良否は、彼の女達の生涯により重大な意義を持つてゐる。こゝに心身共に成熟期にある未完成の少女達が、堅實な家庭で、温い主婦の行届いた訓練と、理解ある指導教育の下に、今後より善き女中への成長こそ、明け暮れ紹介に携はる者の私に祈る最も切實な念願である。

折角の輪旋先が不調に終つた場合、つまらぬ私一人の爲に、どんなにか紹介所の信用を落すことのできぬ。之が、無料で紹介して貰ふのですから、尙一層相濟まぬ氣持

が致します。と我々の手敷を繰返す丁寧な語り手、女中として不向きな缺點を赤裸々に指摘して貰つて、快く禮を述べた女中一人を求めると、立派な者も職を依頼に来る者も、共に公益の職業紹介所を、より善用せんとする心掛けの人が何よりも望ましい。

毎日扱ふ多くの女中紹介の中、最も所員の頭を憂鬱に悩ますのは、老いて三界に孤獨のお婆さんや、うら若い不具の娘さん達の求職であり、青白い家出女の涙で求める同情と哀願である。そんな者に限つて、身體の不健康は勿論のこと、就勢に必要な諸条件を具備した女は殆ど見當らない。聞けば宿所の便も、歸郷の旅費すらも持合せないといふ。

所謂、適材を適所に、そしてよく其の需給の調節融和を圖るのが、我々紹介所員の立場であつて見れば、彼の女達の就職難は難事、その難事は、こんな場合は唯々理解ある篤志家の開拓と依頼に狂奔する事のみが、せめてもの彼等に盡す我々のさゝやかな努力なのである。

白いものが肌に沁み入る頃には飢と寒さに戦ふ者にとつては、燃えるストーブのある紹介所の窓口に程懐しい處はないのだ、と言つて時には灯のとぼる頃まで、ぶらぶら過す女もあつたが、そろそろ陽春の風が立ちあめると、ばつたり姿を消してしまつた。

憂喜交々、日毎に聴き入る數々の話の中で、最も我々の胸を打つのは、或は早くから主人を失ひ、或は主人と離縁して、遺された愛兒の成長を唯一の便りに生きて行く極貧の中年女や、病弱の夫と多母親達の哀愁である。か弱い細胞に扶養の重荷をたつた一人で背負つて喘ぐ女達は、人の世の行樂の花の春の喜びは、何時の世にか味はひ知る事が出来よう。生死流轉の現實相に於て、其の暗い冷たい運命は、餘りにも悲惨性を帯びてゐる。

しかしながら、胸には萬斛の涙を秘めつつも、傷ましい其の生活苦難の征服に敢然立つて勇奮する眞摯、熱烈な彼等の心意氣に面接しては、今更ながらしみじみと母の強さを想はずには居られない、而して其の至純な母性愛の尊さに覺えず眼頭が熱くなつて来る。

今はもう多少の蓄財も使ひ果してしまつた彼の女達にとつて、今後の生活の保證は、蓋し自己の健康體の汗脂のみであつて見れば、一切の見栄を忘れ、恥を捨て、體の許す限りは働け続けねばならぬであらう。然し多くの場合、女工使用の年齢は比較的若い者に制限されてゐるし、時々の家政婦派遣を除いては、有利な内職の口も極めて乏しく、公設の授産場すらもない現状である。

働け口を依頼して、今日も空しく歸つて行く者の力ない溜息を見るとき、しみじみ、母性擁護の福利

都の消防施設も一度空襲や大地震の場合を假想して見ると戦慄を覚える程情ない状態だ、そこで内務省、警視廳、東京府、市の各關係當局では急速に非常時帝都防火施設をなすことになり各専門家を網羅した対策委員會を新設し、しきりに具體案をひねつてゐるが、いよいよ近く決定を見、劃期的な帝都防火施設に乗出すことになつた、その案によると先づ第一着手として帝都の心臓部麹町、日本橋、京橋を初め四谷區に掃比する高層建築物約三百餘を對象として防火施設の完備をなすこととなり、その方法として各高層建築物が個々に設置してゐる鑿泉または水道の消火栓を互に大鐵管をもつて聯絡させ、麹町、京橋兩區のそれ、十六ヶ所を筆頭に高層建築街に合計三十八ヶ所の連絡綜合防火栓を整備し、いざといふ場合最も被害を豫想される高層建築物の防火施設に對しては積極的態度をもつて臨むことに積り、近く建築物法その他の關係法規を改正し、高層建築物には警視廳消防部の認定した消火水道栓を施設すること、消火水道は各高層建築物間互に連絡装置をなすこと等の規定を設け強制的に防火施設をさせるはずである。

高層建築物の防火施設と相まつて更に關係當局では市内を圍繞する各大小河川、濠水を利用して全市に約千ヶ所以上の消火栓の施設をなし水道断水その他の場合にそなへることになつ

施設—たとへば公設の無料乳幼児預り所とか、身上相談所、或は授産場に無料宿泊所、養老院等の増設が緊要だと思ふ。

新興大廣島市の将来に、斯かる救貧諸事業の發達こそは、窮乏の女の達をして、尙一層勇躍生業に向上せしめるであらう。(完)



時七後午日六十二月五にともの授後體團教他催主課會社市
講がたし催開を會演講及普想思濟經て於に館會育教縣らか
七衆聽で授教學大同の張登、岡友、長總學大政法山小は師
たつあで況盛な常非百

産業課に

應用化學技術員を設置

關係業者の利用を期待

本市に於ける化學工業は逐年發達の道程を辿り殊にゴム工業は其の沿革古く現在の生産年額約四百圓に達し、尙逐年發達の傾向を示す。廣島縣ゴム工業組合技師として經

験を積んで来た河原畑卯一氏が就任した。今後一般化學工業の指導利用を望んでゐる。

女子上席訓導會

五月二十九日三篠小學校に於て開催

市内小學校女子上席訓導會は五月二十九日三篠小學校に於て開催されたが午後一時から授業參觀した後、日原三篠校長の講話、三宅、

方面委員月番會開催 (比治山方面區)

比治山方面區方面委員月番會は六月三日午後一時より段原小學校に於て開催されたが比治山區方面委員のほか全市の方面委員常務五時散會した。

男子上席訓導會

五月三十日比治山小學校に於て開催

男子上席訓導會は五月三十日比治山小學校に於て開催されたが市教育課よりは三宅中井兩視學も出席、午後一時から授業參觀、學校長の經營談、市當局の指示協議に散會した。

性病豫防講演と映畫の夕

二十五日本川小學校に於て開催

廣島縣性病豫防協會主催衛生課、市保健課、中國新聞社の後援のもとに五月二十五日午後四時から本川小學校に於て東京帝大教授

た、これは主要な各河川、濠に添つて約二百間隔に設けるもので殊に便利な橋下の流水利用のためには各橋面にホースを入れるマンホール式の穴を整備することになった。

◆勞務者輔導學級開設 (東京市)

東京市社會教育課では日本成人教育會應援を受け、左記要項に依り本年度第一期勞務者輔導學級を開設することとなつたが申込者の資格は一定の工場に勤務する満二十歳以上の勞務者とし學費は一切不用であり、所定の學科を修了した者には修了證書を授與する管科科目および講師は

- 日本國民精神(二回) 松尾 長造
- 文部成人教育課長
- 法律問題(三回) 大森 洪太
- 司法省民事局長
- 國際情勢(四回) 清澤 洵
- 報知新聞社
- 經濟問題(四回) 野崎 龍
- ダイアモンド主幹
- 自然科學(三回) 小泉 丹
- 醫學博士
- 文藝問題(三回) 廣津 和郎
- 科外講演(一回) 音 樂(九回) 紺野 五郎
- 王子尋高訓導
- 體育民謡(九回)
- その他論文演習、懇談會、修學旅行會、見學等を開催。

昭和十年寄留事件表 (四月分)

種別	寄入		寄出		市内寄留	更正及訂正	照會	回書	届書	注犯通知	謄抄本請求	總計
	件數	他縣男	他縣女	他郡男								
寄留	七五七	五〇八	四三三	四三三	一四三	三〇〇	三	九	一	一	一	二八四
轉寄	四四九	三二一	三六三	三六三	二四一	一〇一	一	一	一	一	一	一〇一
退去	四〇八	一四〇	一五五	一五五	一四三	一〇一	一	一	一	一	一	一〇一
抹消	一九	一五	二二	二二	一四	一〇	一	一	一	一	一	一〇
寄留	二七	一三三	一五〇	一五〇	一四三	一〇一	一	一	一	一	一	一〇一
復歸	七	一六	四	四	一四	一〇	一	一	一	一	一	一〇
轉寄	一四	一三	一三	一三	一四	一〇	一	一	一	一	一	一〇
第十一條用紙	五	一	三	三	一四	一〇	一	一	一	一	一	一〇
寄留	一四三	一〇一	一四三	一四三	一四三	一〇一	一	一	一	一	一	一〇一
更正及訂正	三〇〇	一	三	三	一四	一〇	一	一	一	一	一	一〇
照會	三	一	一	一	一四	一〇	一	一	一	一	一	一〇
回書	九	一	一	一	一四	一〇	一	一	一	一	一	一〇
届書	一	一	一	一	一四	一〇	一	一	一	一	一	一〇
注犯通知	一	一	一	一	一四	一〇	一	一	一	一	一	一〇
謄抄本請求	一	一	一	一	一四	一〇	一	一	一	一	一	一〇
總計	二八四	一〇一	二八四	二八四	二八四	二八四	一〇一	一	一	一	一	二八四

託兒事業成績 (五月分)

區別	所別	性別	人員	入所	退所	現在	出席幼兒	缺席幼兒
草津託兒所	計	女	五	一	一	五	一〇九七	三六三
		男	五	一	一	五	一〇九七	三六三
仁保託兒所	計	女	四	一	一	四	一〇九七	三六三
		男	四	一	一	四	一〇九七	三六三
廣瀬託兒所	計	女	三	一	一	三	一〇九七	三六三
		男	三	一	一	三	一〇九七	三六三
江波託兒所	計	女	五	一	一	五	一〇九七	三六三
		男	五	一	一	五	一〇九七	三六三
楠那託兒所	計	女	五	一	一	五	一〇九七	三六三
		男	五	一	一	五	一〇九七	三六三
三篠託兒所	計	女	五	一	一	五	一〇九七	三六三
		男	五	一	一	五	一〇九七	三六三
合	計	女	三六	一	一	三六	一〇九七	三六三
		男	三六	一	一	三六	一〇九七	三六三

傳染病患者數月報 (五月三十一日現在)

病名	現者數在		發生		本年初發		以來ノ		自果計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
赤痢	二二四	一一〇	二二	三	一	一	一	一	一	一
疫痢	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
腸チフス	二七九	九七	一七	七	一	一	一	一	一	一
チブス	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
テヂリヤフ	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
猩紅熱	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
流行性腦脊髄膜炎	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
痘瘡	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
コレラ	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	17,323	11,104	1,104	110	110	110	110	110	110	110

病名	現在患者ノ所在		種別	場所
	男	女		
赤痢	二二	一一	船場	收容不能
疫痢	一	一	船場	收容不能
腸チフス	七〇	二二	船場	收容不能
チブス	一	一	船場	收容不能
テヂリヤフ	一	一	船場	收容不能
猩紅熱	一	一	船場	收容不能
流行性腦脊髄膜炎	一	一	船場	收容不能
痘瘡	一	一	船場	收容不能
コレラ	一	一	船場	收容不能
合計	17,323	11,104		

昭和十年戶籍事件表 (四月分)

戶籍届出	二,一〇	本籍人	一,八六	非本籍人	二四
戶籍編製	二四	本籍人	二四	非本籍人	〇
戸籍抹消	一三	本籍人	一三	非本籍人	〇
届出違反通知	一	本籍人	一	非本籍人	〇
錯誤遺漏通知	〇	本籍人	〇	非本籍人	〇
寄附證明	〇	本籍人	〇	非本籍人	〇
身分證明	八三	本籍人	八三	非本籍人	〇
戸籍簿有手数料	六四	本籍人	六四	非本籍人	〇
寄留簿有手数料	三三	本籍人	三三	非本籍人	〇
寄留簿其他有手数料	三三	本籍人	三三	非本籍人	〇
戸籍簿抄本	四〇	本籍人	四〇	非本籍人	〇
寄留簿抄本	二六	本籍人	二六	非本籍人	〇
諸届書返戻	二六	本籍人	二六	非本籍人	〇
往復文書	二〇〇	本籍人	二〇〇	非本籍人	〇
人民召喚	四七	本籍人	四七	非本籍人	〇
印鑑證明	二八三	本籍人	二八三	非本籍人	〇
手数料	五,四六〇	本籍人	五,四六〇	非本籍人	〇

昭和十年戶籍表 (四月分)

種別	出生		死亡		結婚		離婚		養子		私生子		隱居		家督相續		推定家督相續		後見人及保佐人		轉入		轉出		籍及廢絶家再興		廢家及絶家		入籍離籍及復籍絶		失籍及族稱變更		氏名及族稱訂正		戶籍得喪		其計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
本籍人	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240	1,860	240		
非本籍人	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0	24	0
合計	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240	1,884	240		

昭和十年廣島市徵兵検査日割表

徵兵署ノ位置	検査月日	検査町名	受驗見込人員	計
--------	------	------	--------	---

徵兵署ノ位置	検査月日	検査町名	受驗見込人員	計
尾長町、二葉ノ里、大須賀町、松原町、若草町、愛宕町、猿橋町、荒神町、大州町	六月十三日		一四	八五
蟹屋一圓、東雲町、段原一圓、桐木町、的場町、土手町	六月十四日		一一	九八
比治山公園、比治山町、松川町、稻荷町、臺屋町、京橋町、金屋町、宇品一圓	六月十五日		九	九八
比治山本町、皆賀町一圓、出汐町、翠町、白鳥一圓、橋本町、銀山町、上柳町、石見屋町	六月十六日		一九	九一
斜屋町、山口町、東胡町、胡町、上流川町、八丁堀、鐵砲町、鐵砲町、堀川町、下柳町、彌生町、下流川町、藥研堀、田中町、平塚町	六月十七日		二一	八五
竹屋町、三川町、富士見町、南竹屋町、寶町、西鶴見町、昭和町、平野町、東魚屋町、基町、西魚屋町、立町、研屋町、平田屋町、播磨屋町、新川場町、鐵砲屋町	六月十八日		一九	九一
中町、下中町、袋町、草屋町、紙屋町、草津一圓、庚午町、猿樂町、尾道町	六月十九日		一〇	九七
細工町、塩屋町、横町、鳥屋町、大手町一圓、牛田町、仁保町ノ内、越堀、向洋一圓	六月二十日		二一	八八
仁保町(堀越、向洋一圓ヲ除ク)霞町、旭町	六月廿一日		一九	八六
似島町、國泰寺町、雜魚場町、千田一圓、小町、中島本町、天神町	六月廿三日		二〇	八八
材木町、元柳町、木挽町、中島新町、水主町、吉島一圓、寺町、空鞘町、西引御堂町、十日市町、左官町	六月廿四日		一四	九六
鷹匠町、油屋町、鍛冶屋町、西九軒町、廣瀬北町、廣瀬元町、北復町、錦町、横堀町、新市町	六月廿五日		一三	九八
西大工町、覆町、猫屋町、塚本町、堺町一圓	六月廿六日		一一	九〇
江波町、己斐町	六月廿七日		一一	九〇
西地方町、小網町、西新町、河原町、舟入一圓、古田町	六月廿七日		一一	一〇五
天満一圓、東觀音町一圓、西觀音町一圓、觀音本町、南觀音町、福島町、矢賀町	六月廿八日		一〇	一〇二
横川町一圓、楠木町一圓、三條本町一圓、新庄町、大芝町、三瀧町、打越町、中廣町、南三條町、山手町	六月廿九日		一三	九二
各町入寄留者	六月三十日		一	一五
各町入寄留者	七月一日		一	一〇
各町入寄留者	七月二日		一	一五
各町入寄留者	七月三日		一	一〇
計			二二七	一、四九〇

一、壯丁ノ出頭ハ毎日午前六時トス
 二、抽籤ハ九月十八日午前七時三十分ヨリ幟町尋常高等小學校ニ於テ施行ス

臺灣義捐金調査

五圓	新川場町總代 藤平
七圓拾七錢	市役所 教養
參圓五拾壹錢	同 營繕
參圓七拾八錢	同 地管理
五圓七拾五錢	同 都會計
五圓參拾錢	同 戶籍
七圓七拾六錢	同 同 產業
拾五圓七拾九錢	同 同 保健
八圓四拾八錢	同 同 土木
拾圓	三瀧町總代 石川隆造
拾圓八錢	市役所 文書課
拾八圓九拾錢	舟入善町西總代 脇田長市
貳圓九拾壹錢	市役所 兵事課
拾圓	東平田町總代 西川威徳
參圓	舟入川口町中總代 野村保吉
貳拾參圓九拾錢	大手町七丁目義組總代 松永房次郎
拾四圓拾錢	古田町田方組總代 小畑倉一
五圓	田中町總代 久保田保雄
五圓	荒神町甲組總代 榎田作藏

四拾六圓貳拾七錢	西觀音町二丁目總代 平山千秋
拾圓	中町總代 柳田寅次郎
拾圓	東白鳥町總代 塚本熊次郎
拾圓	水主町中組總代 佐久間豐次郎
拾圓	材木町總代 藤竹藏
拾圓	草津本町總代 吉本文左衛門
拾圓	平塚町一組總代 吉本芳太郎
五圓	舟入本町西組總代 中本英三
參圓	八丁堀中組總代 八幡爲吉
四圓	國泰寺町南組總代 高原作一
拾圓	下中町總代 河野壽一
拾圓	天神町總代 栗勝一
五圓貳拾錢	大手町七丁目義組總代 松永房次郎
參拾五圓拾參錢	下柳町總代 藤堂一
參圓	富士見町總代 砂入常吉
拾五圓	千田町二丁目總代 徳丸辨藏
拾五圓	舟入善町總代 堀田徳松
拾四圓	上流川上總代 木佐一
拾五圓九拾參錢	比治山本町總代 水海道
拾壹圓八拾七錢	空鞆町正副總代 濱田時治
拾圓	梁町三丁目總代 尾梅太郎
參圓	東雲町總代 二野川倉松

六月四日迄累計 貳千貳拾參圓拾壹錢也
 (前號七圓六拾錢額額町總代原坂市、川北士造下ル、拾七圓六拾錢ノ誤リニ付訂正)

家政婦紹介幹旋開始！

臨時女中や家事雑用婦の御用は……

▲是非安くて便利な職業紹介所へ——

▲炊事洗濯掃除その他御世話致します

▲家政婦は年齢二十歳以上四十歳迄

身元確實

お雇ひの方は……

▲電話、書面、口頭其他便利な方法で

御申込下さい

お雇ひの方は是非職業紹介所へ

廣島市中央職業紹介所女子部(千田町電鐵前下車) 電話二五〇・二五二〇番